Offirio

EPSON

LP-7900/LP-9100

ユーザーズガイド

プリンタドライバの機能説明やプリンタの操作方法、各種トラブルの解決方法について記載しています。

NPD0054-00

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

操作パネルからの設定

添付されているフォントについて

オプションと消耗品について

プリンタのメンテナンス

困ったときは

付録

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語 *1　用語の説明を記載していることを示しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面について

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 98 の画面を使用しています。

数値の表記について

本書では、寸法や重量などの数値を小数点以下で四捨五入しています。正確な数値については以下のページを参照してください。

☞ 本書 368 ページ「プリンタの仕様」

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98」のように Windows の表記を省略することがあります。

使用可能な用紙と給紙方法

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などについて説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

本機は、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照してください。

本書 30 ページ「特殊紙への印刷」

普通紙	普通紙 再生紙 *1	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙または再生紙です。 紙厚は 60 ～ 90g/m2 の範囲内のものをお使いください。
	レターヘッド *2 （プレプリント紙）	罫線や会社のロゴなどが印刷された紙です。モノクロレーザープリンタ、またはカラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで一度印刷した用紙をプレプリント紙として使用することはできません。
	ボンド紙	印刷適性、耐久性に優れた、かたく締まった厚目の用紙です。紙厚が 91 ～ 216g/m2 *4 のものを使用する場合は、印刷前に用紙種類を［厚紙］または［特厚紙］に設定してください。
	色つき *2	色上質紙など用紙全体が染められている用紙です。カラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された用紙や表面にコーティングされている用紙は使用しないでください。
特殊紙	官製ハガキ *3	官製ハガキが使用可能です。官製往復ハガキ / 官製四面連刷ハガキの場合は、折り跡のないものをお使いください。
	封筒	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号 /4 号、長形 3 号、角形 2 号です。これ以外のサイズの封筒に印刷するときは、プリンタドライバのユーザー定義（カスタム用紙）サイズで設定してください。紙厚が 85g/m2 のものをお勧めします。
	ラベル紙	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	OHP シート	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートをお使いください。
	不定形紙	用紙幅が 87～ 305mm、用紙長が 100 ～ 508mm、紙厚が 60 ～ 216g/m2 の範囲内のものをお使いください。ただし、オプションの手差しトレイに不定形紙をセットする場合、用紙幅は 100 ～ 297mm で、用紙長は 148 ～ 900mm です。
	厚紙（特厚紙）*4	紙厚が 91 ～ 216g/m2 の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。プリンタドライバでは、91 ～ 157g/m2 を［厚紙］、158 ～ 216g/m2 を［特厚紙］として指定します。オプションの両面印刷ユニットを使用して厚紙に自動両面印刷を行う場合は、最大紙厚が 157g/m2 以下の用紙をお使いください。
	長尺紙 *5	用紙サイズは最大 297mm（用紙幅）× 900mm（用紙長）、紙厚は 60 ～ 216g/m2 の範囲内のものをお使いください。

*1 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 耐熱温度 210 度以下でインクなどが変質・変色する用紙は使用しないでください。

*3 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
本書310 ページ「給紙ローラのクリーニング」
*4 厚紙の用紙厚は 90g/m2 を超えて 216g/m2 以下のものを指しますが、本書では「91 ～216g/m2」という記載をしています。
*5 長尺紙は、オプションの手差しトレイから 1 枚ずつ給紙してください。


ポイント

- 紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、官製ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷した後の用紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で一度印刷した後の裏紙
- カラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

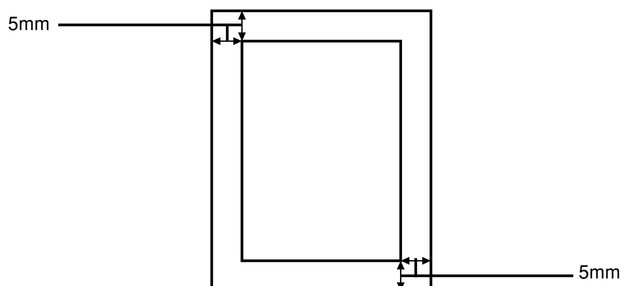
- 薄すぎる用紙（59g/m2 以下の用紙）、厚すぎる用紙（217g/m2 以上の用紙）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

耐熱温度 210 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷できます。




ポイント

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

セットできる用紙サイズと容量

	給紙装置	使用できる用紙	容量 *1	用紙サイズ （　）内は、プリンタドライバでの表記です。
標準	MP カセット	普通紙	200 枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）,Executive（EXE）,Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4、不定形紙 *4
		厚紙	17.5mm*3	
		ラベル紙	75 枚	A4、Letter（LT）
		OHP シート	100 枚	
		封筒 *5	10 枚 *6	洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号
		官製ハガキ	60 枚 *7	100 × 148mm
		官製往復ハガキ		148 × 200mm
		官製四面連刷ハガキ		200 × 296mm
	用紙カセット （用紙カセット 1*8）	普通紙	250 枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
オプション	手差しトレイ *9（LPA3TT1）	普通紙、特殊紙 *10	1 枚	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4、 官製往復 / 官製四面連刷ハガキ、 封筒（長形 3 号、角形 2 号）、不定形紙 *4
		長尺紙	1 枚	最大 297mm（用紙幅）× 900mm（用紙長）
	用紙カセット *11（LPA3YC1）	普通紙	250 枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
	250 枚ユニバーサルカセットユニット（LPA3UC1）			
	550 枚ユニバーサルカセットユニット（LPA3UC2）	普通紙	550 枚*2	

*1 MP カセットや用紙カセット（標準およびオプション）にセットできる用紙の高さは、用紙ガイドの最大枚数（矢印表示）までです。矢印表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2 紙厚 64g/m² の場合です。

*3 厚紙（91 ～ 216g/m²）のセットできる高さを示します。セットできる枚数は、紙厚によって異なります。

*4 用紙長が 432 ～ 508mm の不定形紙は、MP カセットのカバーを外してセットしてください。または、オプションの手差しトレイにセットしてください（最大用紙幅 297mm）。

*5 定形サイズ以外の封筒を使用する場合は、使用する封筒のサイズをプリンタドライバのユーザー定義（カスタム用紙）サイズで設定して使用してください。

*6 開封直後の未使用状態で封筒にふくらみがない場合です。

*7 190g/m² の場合です。

*8 プリンタドライバでは、標準の用紙カセットを「用紙カセット 1」と表示します。また 2 段まで増設できるオプションの用紙カセットは、上から「用紙カセット 2」、「用紙カセット 3」と表示します。

*9 標準の MP カセットと取り替えて使用します（同時使用はできません）。なお、取り替えた場合は、プリンタの電源をオフ・オンする必要があります。

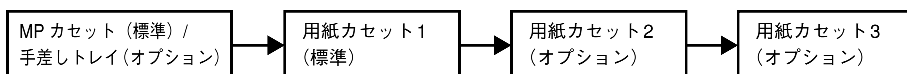
*10 官製ハガキ、封筒（洋形 0/4 号）を除きます。

*11 標準の用紙カセットまたはオプションの 250 枚ユニバーサルカセットユニットの用紙カセットと同じです。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバ / 操作パネルの設定で［給紙装置］/［キュウシグチ］を［自動］（初期設定）にすると、プリンタはドライバで設定された用紙サイズおよび用紙タイプが一致する用紙がセットされている給紙装置を次の順序で検索し、給紙します。

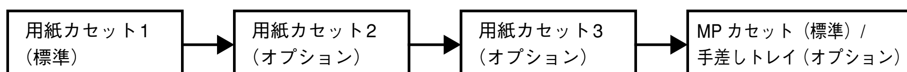
Windows：本書 47 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」
本書 221 ページ「キュウシグチ」



なお、操作パネルの［プリンタセッテイ］メニューで［MP ユウセン］を［シナイ］* に設定した場合、給紙装置の優先順位は以下のようになります。

* 初期設定は［スル］に設定されています。

本書 222 ページ「MP ユウセン」





- 印刷するデータの用紙サイズに合わせて同一サイズの用紙をすべての給紙装置にセットすれば、標準で普通紙 450 枚（MP カセット+用紙カセット 1)、さらにオプションの給紙装置（最大 2 段）を装着すると最大 1550 枚の連続給紙ができます。
- 給紙装置にセットした用紙のサイズや種類は操作パネルの［キュウシソウチメニュー］で設定します。
  本書 216 ページ「キュウシソウチメニュー」
- 給紙装置を固定したい場合は、［給紙装置］を［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］または希望の［用紙カセット 1 〜 3］に設定します。
  Windows：本書 47 ページ「［基本設定］ダイアログ」
  Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」
  本書 221 ページ「キュウシグチ」

用紙サイズの自動検知

MP カセットおよび用紙カセットは、下記の用紙サイズをプリンタ本体で自動的に検知して印刷します。

- MP カセットで自動検知される用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、官製ハガキ
- 用紙カセットで自動検知される用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal

MP カセットでは、上記以外の用紙サイズへの印刷も可能ですが、その場合は使用する用紙サイズを操作パネルの［キュウシソウチメニュー］の［MP ヨウシサイズ］で指定してから印刷してください。

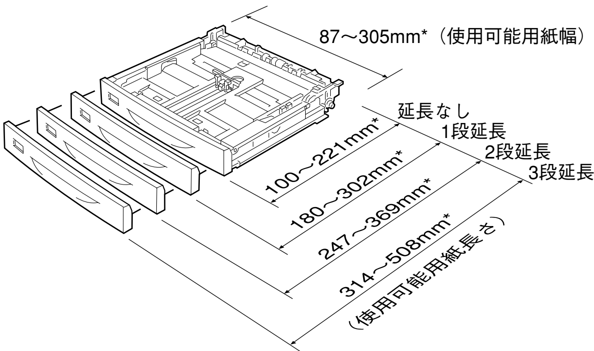
本書 216 ページ「MP ヨウシサイズ」



正しい設定がされていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。

MP カセット / 用紙カセットへの用紙のセット

ここでは、標準装備の MP カセット / 用紙カセットへの用紙のセット方法を説明します。MP カセット / 用紙カセットは、セットする用紙のサイズに合わせて下図のように縦方向の延長方法を選択します。



* MP カセットの各延長状態で使用可能な用紙サイズの範囲を示します（用紙カセットの場合は、定形サイズの用紙のみ使用可能です）。

下表のように延長状態により使用できる用紙サイズが異なります。

縦方向の延長（伸縮部のマーク）	MP カセット	用紙カセット（標準 / オプション）
延長なし（マークなし）	A5、A4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）、封筒（洋形 0/4 号）、官製ハガキ、官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキ、不定形紙（用紙長さ 100 ～ 221mm）	A5、A4、B5、Letter（LT）
1 段延長	不定形紙（用紙長さ 180 ～ 302mm）	未使用
2 段延長（B4 LG14）	B4、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、F4、封筒（長形 3 号、角形 2 号）、不定形紙（用紙長さ 247 ～ 369mm）	B4、Legal（LGL）
3 段延長（A3）	A3、Ledger（B）、不定形紙（用紙長さ 314 ～ 508mm）	A3



- 標準の MP カセットは上段の給紙位置に、標準の用紙カセットは下段の給紙位置にしかセットできません。上下位置を換えて無理にセットしないでください。
- ハガキや封筒などの特殊紙をセットする場合は、以下のページを必ずお読みください。
本書 30 ページ「特殊紙への印刷」

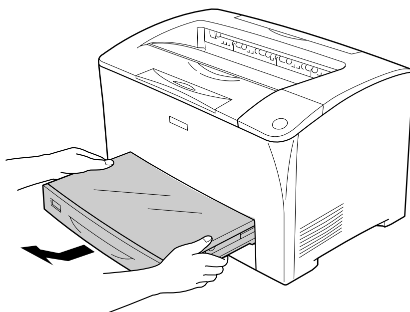


- 標準の用紙カセットやオプションの 250 枚ユニバーサルカセットユニット / 550 枚ユニバーサルカセットユニットのカセットを総称して、用紙カセットと呼びます。
- MP カセットと用紙カセットへの用紙のセット方法は、基本的に同じです。ただし、セットできる用紙のサイズ、枚数、種類は異なります。
本書 15 ページ「セットできる用紙サイズと容量」
- 不定形紙を使用することのない用紙カセットは、縦方向の 1 段延長は使用しません。

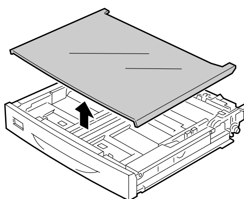
ここでは、MP カセットを例に用紙のセット方法を説明します。

1 カセットをプリンタから引き出します。

カセットを手前に引き出し、少し上に持ち上げて完全に引き抜きます。



2 カセットのカバーを取り外します。



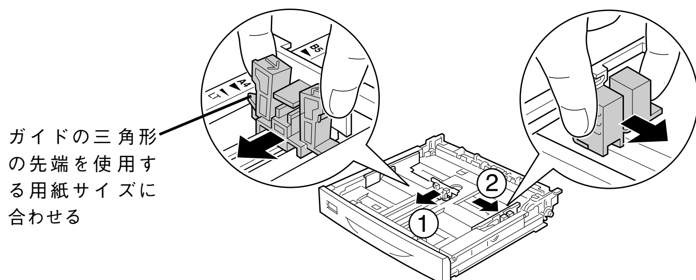
3 **セットする用紙サイズに合わせて、カセットのサイズを調整し、用紙ガイド（縦 / 横）をずらします。**

カセットは、セットする用紙サイズにより縦方向に延長する場合と延長しない場合があります。

3-1 カセットを延長しない場合

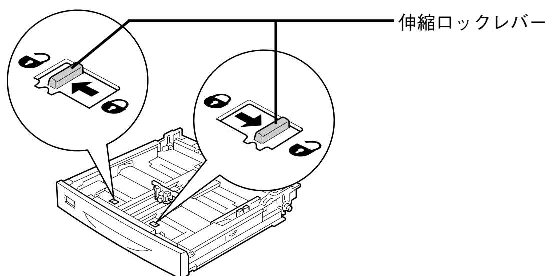
用紙ガイド（縦）のガイドクリップを指でつまんでセットする用紙サイズに合わせます

用紙ガイド（横）のガイドクリップを指でつまんで外側にずらします

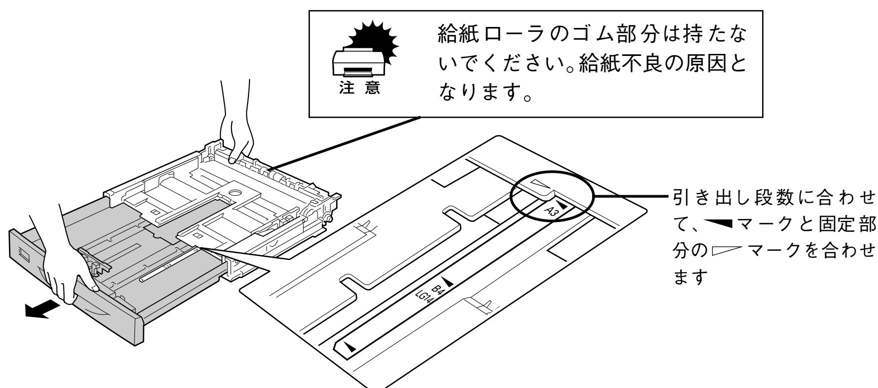


3-2 カセットを延長する場合

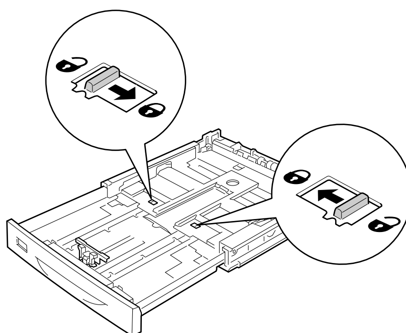
① 用紙カセットの左右の伸縮ロックレバーをアンロック（🔓）位置にします。



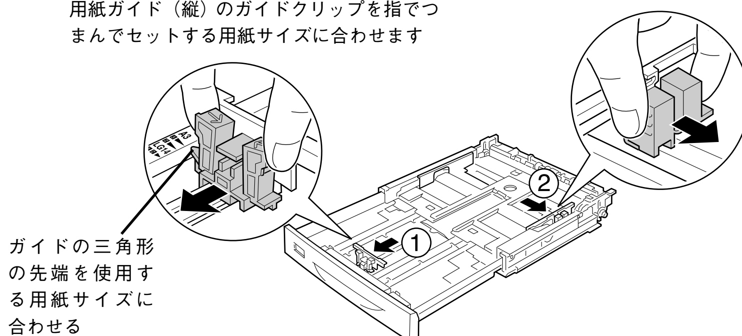
② 用紙サイズに応じて用紙カセットを縦方向に引き出します。
引き出す場合は、下図のように左手の親指をカセットの内側にかけて持ち、右手で伸縮部を引っ張ります。また、伸縮部は下図のように ◀ マークと固定部分の ▷ マークを、用紙サイズに合わせて引き出します。



③ 左右の伸縮ロックレバーをロック（ 🔒 ）位置にします。



④ 用紙ガイド（縦 / 横）をずらします。




ポイント

- 本機は、カセットの延長状態と用紙ガイド（縦）の位置によって以下の定形サイズを自動的に検知します。
  - MP カセット：官製ハガキ、A4、A3、B5、B4、Letter、Legal
  - 用紙カセット（標準およびオプション）：A5、A4、A3、B5、B4、Letter、Legal

  定形サイズの用紙を使用する場合は、必ずカセットを指定の状態に延ばし、用紙ガイド（縦）を指定位置にセットしてください。
- MPカセットに自動検知されない用紙をセットする場合は、用紙サイズを操作パネルの［MPヨウシサイズ］で指定してから印刷してください。
  本書 216 ページ「MP ヨウシサイズ」
- 本機は上記の用紙サイズを自動的に検知しますが、用紙サイズを固定して使用する場合は、操作パネルの［キュウシソウチメニュー］で設定してください。
  本書 216 ページ「キュウシソウチメニュー」
- 用紙長432mm を超える用紙（最大長508mm）をMP カセットにセットする場合は、用紙ガイド（縦）をカセットの手前側（A3 の位置）にセットしてください（途中にセットしないでください）。

4 印刷する面を上にして用紙をセットし、用紙ガイド（横）を用紙の側面に合わせます。

横長にセットする定形紙	縦長にセットする定形紙
A5、A4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）、官製ハガキ、官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキ、封筒（洋形 0/4 号）	B4、A3、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、F4、封筒（角形 2 号、長形 3 号）
用紙をセットして ① 最大セット容量 印刷面 ② 用紙ガイドを合わせます	用紙をセットして ① 最大セット容量 印刷面 ② 用紙ガイドを合わせます

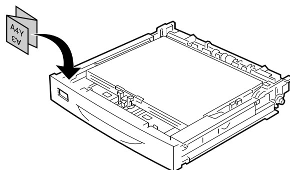


- 用紙の四隅をそろえて、印刷する面を上に向けてセットします。用紙（普通紙 64g/m² の場合）は、以下の最大枚数までセットできます。
  - 標準 MP カセット：最大 200 枚
  - 標準用紙カセット：最大 250 枚
  - オプション用紙カセット：
    最大 250 枚（250 枚ユニバーサルカセットユニット）
    最大 550 枚（550 枚ユニバーサルカセットユニット）

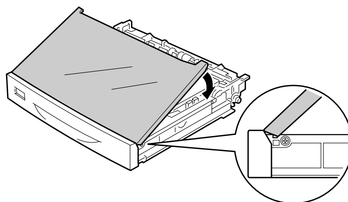
  最大枚数を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。
- MP カセットで用紙サイズを自動検知できるのは、A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、官製ハガキのみです。それ以外のサイズの用紙をセットする場合は、用紙サイズを操作パネルの［MP ヨウシサイズ］で設定してから印刷します。正しい設定がされていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。
  本書 216 ページ「MP ヨウシサイズ」
- ハガキや A4、A5、B5の用紙は、カセットの用紙ガイドを調整することで縦長にセットすることもできますが、その場合は不定形紙として扱われます。定形紙のセット方向については、必ず上記のセット方法に従ってください。
- 不定形紙への印刷は、プリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙］（Macintosh）で必ず用紙サイズを設定し、設定した用紙幅と用紙長に合わせて MP カセットにセットしてください。
  本書 39 ページ「不定形紙への印刷」
- 用紙タイプ選択機能を使用する場合は、セットした用紙に合わせてプリンタの操作パネルで［MP タイプ］または［カセット 1 ～ 3 タイプ］を設定してください。
  本書 41 ページ「用紙タイプ選択機能」

5 **用紙サイズ表示シートをカセット前面にセットします。**

本機やオプションのユニバーサルカセットユニットには、用紙サイズを表示するシートがあらかじめセットされています。セットした用紙サイズがわかるようにシートを折って、カセット前面の所定の位置にセットしてご利用ください。



6 **カセットにカバーを取り付けます。**

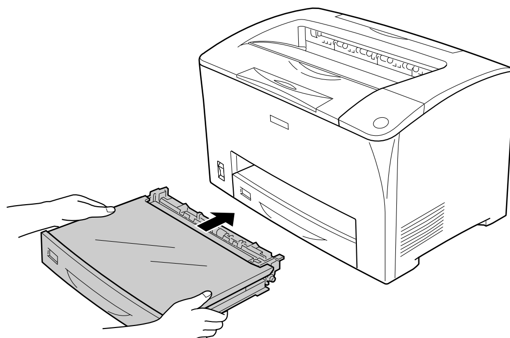


カセットの前面パネルの裏側にぴったり合わせてからかぶせます。

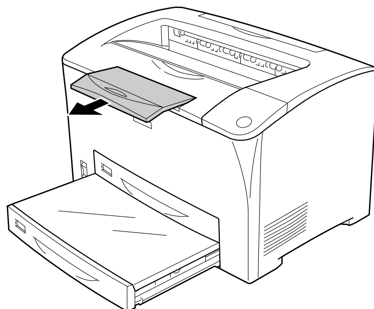

ポイント

用紙長 432mm を超える用紙（最大長 508mm）を MP カセットにセットする場合は、カバーを取り付けないでください。

7 **カセットをプリンタに差し込みます。**



8 B4 以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙延長トレイを引き出します。





セットした用紙のタイプを操作パネルで設定すると、使用する用紙サイズと用紙タイプを判別して自動給紙できます。

本書 41 ページ「用紙タイプ選択機能」

手差しトレイへの用紙のセット

オプションの手差しトレイ（型番：LPA3TT1）を標準のMP カセットと交換して取り付けた場合は、以下の手順で用紙をセットしてください。手差しトレイの取り付け方法については、以下のページを参照してください。

本書 297 ページ「手差しトレイの取り付け」



ポイント

- 手差しトレイと MP カセットを交換した場合は、必ず電源を一旦オフにし、再度オンにしてください。
- 手差しトレイを装着した場合、操作パネル上は「MP」、プリンタドライバ上は「MP カセット / 手差しトレイ（オプション）」として扱われます。
- 使用できる用紙種類：普通紙、特殊紙 *1
- 使用できる用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4、封筒（長形 3 号、角形 2 号）、不定形紙 *2（長尺紙 *3 を含む）

  *1　官製ハガキ、封筒（洋形 0/4 号）を除く

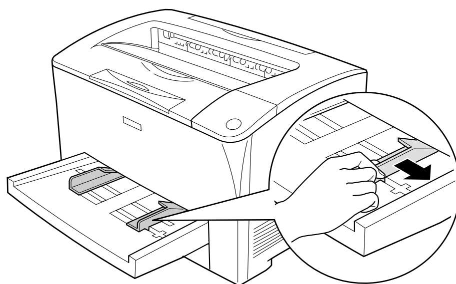
  *2　100 ～ 297mm（用紙幅）× 148 ～ 508mm（用紙長）

  *3　最大 297mm（用紙幅）× 900mm（用紙長）

  本書 15 ページ「セットできる用紙サイズと容量」
- 用紙長が 508mm を超える場合は、300dpi でのみ印刷可能です。
- ハガキや封筒などの特殊紙をセットする場合は、以下のページを必ずお読みください。

  本書 30 ページ「特殊紙への印刷」

1 用紙ガイドを外側にずらします。

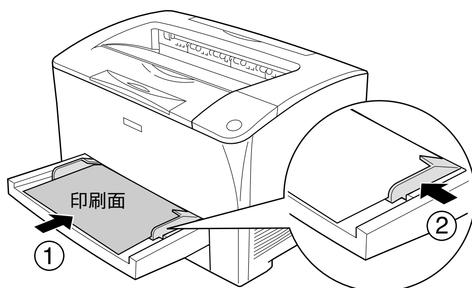


2 **印刷する面を上にして用紙を 1 枚セットし、用紙ガイドを合わせます。**

印刷する用紙を差し込み口に軽く当たるまで入れます。

横長にセットする用紙：

A4、A5、B5、Letter（LT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）、官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキ、不定形紙 *1

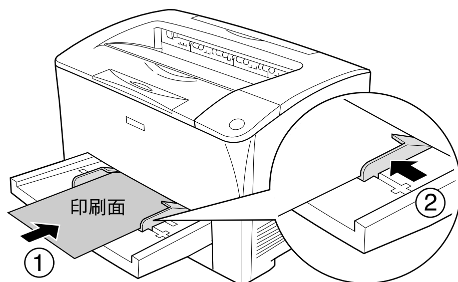


*1 不定形紙は、プリンタドライバでの用紙サイズ定義に合わせて横長または縦長にセットしてください。
本書 39 ページ「不定形紙への印刷」

*2 封筒は種類によってフラップ部の開閉状態が異なります。
本書 33 ページ「封筒への印刷」

縦長にセットする用紙：

A3、B4、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、F4、封筒（角形 2 号、長形 3 号）*2、不定形紙（長尺紙を含む）*1

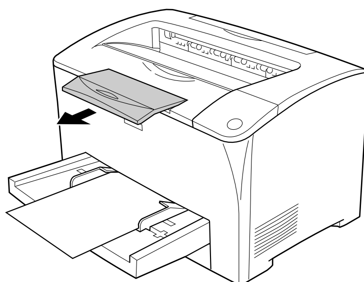




- 手差しトレイからは、用紙を 1 枚ずつ給紙してください。複数枚を同時にセットすることはできません。
- 給紙は必ず直前に印刷した用紙が完全に排紙されてから行ってください。印刷中に給紙すると直前の印刷用紙の延長として給紙される場合があります。
- 長さ 432mm（17 インチ）を超える長尺紙を給紙する場合は、用紙に手を添えて給紙するようにしてください。

3 **セットした用紙のサイズに応じて、排紙延長トレイを引き出します。**

B4 以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙延長トレイを引き出します。



4 **セットした用紙のサイズを操作パネルで設定します。**

手差しトレイにセットした用紙のサイズは、操作パネルの設定モードに入り、[キュウシソウチメニュー]の[MP ヨウシサイズ]で設定します。

本書216 ページ「MP ヨウシサイズ」



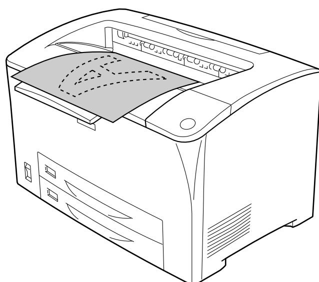
印刷中は操作パネルのスイッチを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。



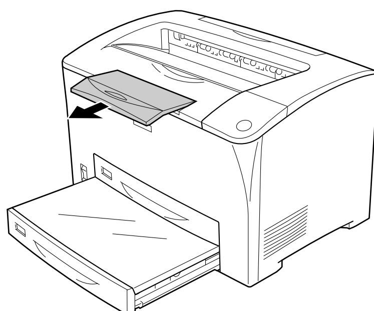
- 手差しトレイを装着した場合、[MP ヨウシサイズ]に[ジドウ]、[ハガキ]、[HLT]、[ヨウ 0]、[ヨウ 4]は表示されません（手差しトレイは用紙サイズを自動検知しません）。表示されない設定が選択されていた場合は、[A4]となります。
- 不定形紙、長尺紙をセットした場合は、操作パネルでの設定は必要ありません。プリンタドライバでユーザー定義（カスタム用紙）サイズとして用紙の大きさを設定します。

排紙方法について

印刷された用紙は、印刷面を下（フェイスダウン）にしてプリンタ上部の排紙部に排紙されます。普通紙（用紙厚 64g/m² の場合）の場合で 250 枚まで排紙できます。



B4 以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙延長トレイを引き出します。



両面印刷ユニット（オプション）について

オプションの両面印刷ユニットの取り付け方法については、以下のページを参照してください。

本書 293 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」

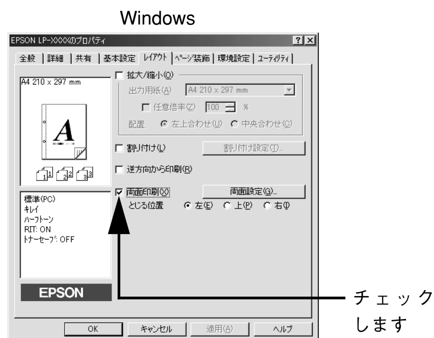
オプションの両面印刷ユニットは、以下の用紙の両面に自動印刷できます。

用紙種類	普通紙（用紙厚 60 ～90g/m²）、厚紙（用紙厚 91 ～ 157g/m²）
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）

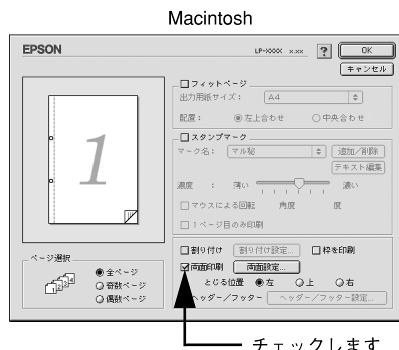
両面印刷ユニットを使って自動両面印刷を行う場合は、プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］をチェックします。

Windows：本書 54 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
Macintosh：本書 168 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

Windows



Macintosh



両面印刷ユニット使用時の制限事項

- 用紙の表面に印刷するデータと用紙の裏面に印刷するデータの、用紙サイズの設定が異なる場合、両面印刷はできません。この場合、両方とも用紙の表面に印刷して出力します。
- 指定以外のサイズの用紙および特殊紙には自動両面印刷できません。



両面印刷ユニットで厚紙を使用する場合、最大紙厚が 157g/m² 以下の厚紙をお使いください。

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキや封筒など、特殊紙への印刷方法について説明します。



- 特殊紙は必ず標準の MP カセットまたはオプションの手差しトレイ * から給紙してください。標準の用紙カセットやオプションのユニバーサルカセットユニットからは給紙できません。
  * ただし、ハガキおよび封筒（洋形0/4 号）は手差しトレイから給紙できません。
- オプションの両面印刷ユニットを装着して両面印刷を行う場合、特殊紙への両面印刷はできません。

ハガキへの印刷

官製ハガキ、官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキに印刷できます。印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。



以下のハガキは使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンタ用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷したハガキ
- カラーレーザープリンタやカラー複写機で印刷した後のハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 中央に折り跡のある往復ハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。万一給紙できなくなった場合は、以下のページを参照して給紙ローラをクリーニングしてください。
  本書 310 ページ「給紙ローラのクリーニング」

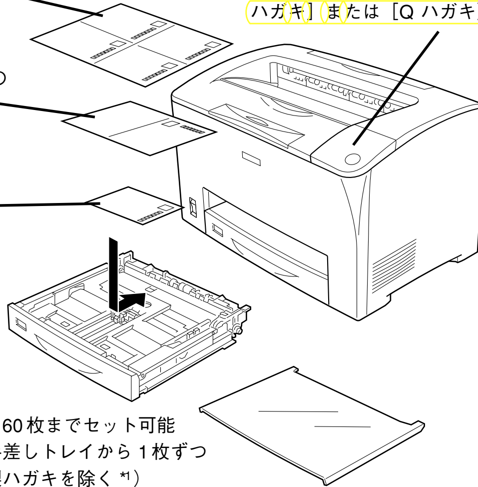
操作パネルでの設定：

- 官製ハガキ：［キュウシソウチメニュー］の［MP ヨウシサイズ］を［ジドウ］に設定
- 官製往復ハガキ、官製四面連刷ハガキ：［キュウシソウチメニュー］の［MP ヨウシサイズ］を［W ハガキ］または［Q ハガキ］に設定

官製四面連刷ハガキで宛名のある面に印字する場合（横長にセット）

官製往復ハガキで宛名のある面に印字する場合（横長にセット）

官製ハガキで宛名のある面に印字する場合（横長にセット）



給紙方法：

- MP カセットに 60 枚までセット可能
- オプションの手差しトレイから 1 枚ずつ給紙可能（官製ハガキを除く *1）
- 印刷面を上にしてセット

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
官製ハガキ *1	Windows	基本設定	用紙サイズ	［ハガキ 100 × 148mm］
			給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［ハガキ］
		プリント	給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
官製往復ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	［往復ハガキ 148 × 200mm］
			給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［往復ハガキ］
		プリント	給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
官製四面連刷ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	［4 連ハガキ 200 × 296mm］
			給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［4 連ハガキ］
		プリント	給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］

*1 官製ハガキの印刷は、MP カセットをお使いください。手差しトレイには、用紙長さが 148mm 以下の用紙はセットできません。

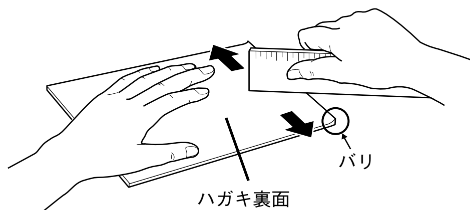


- ［ハガキ］、［往復ハガキ］、［4 連ハガキ］を選択した場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面（または表面）に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」（裁断時のかえり）が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 ～ 2 回こすり、「バリ」を除去します。





「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。
本書 310 ページ「給紙ローラのクリーニング」

封筒への印刷

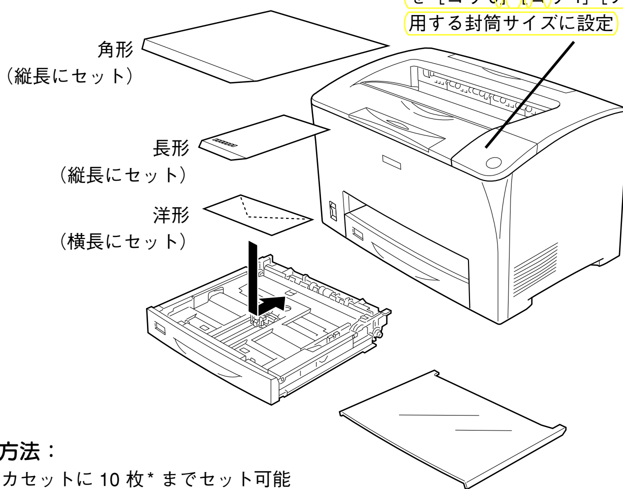
洋形0号、洋形4号、長形3号、角形2号の封筒に印刷できます。封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、紙送り圧切替レバーを操作するなどして事前に試し印刷をすることをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

本書34ページ「紙送り圧切替レバーについて」



以下の封筒は使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷した封筒
- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 宛名用窓付きの封筒や二重封筒



給紙方法：

- MPカセットに10枚*までセット可能
  * 開封直後の未使用状態で封筒にふくらみがない場合のセット可能枚数です。
- オプションの手差しトレイから1枚ずつ給紙可能
  （洋形0号、洋形4号の封筒は、オプションの手差しトレイから給紙できません。MPカセットから給紙してください。）
- 印刷面を上にしてセット
  洋形0/ 4号：フラップ部を閉じ、フラップ部が用紙先端になるように横長にセット
  （カセットの縦方向の延長はなし）
  長形3号：　フラップ部を開いて、フラップ部が用紙後端になるように縦長にセット
  （カセットの縦方向の延長を2段目にする）
  角形2号：　フラップ部を開いて、フラップ部が用紙後端になるように縦長にセット
  （カセットの縦方向の延長を2段目にする）

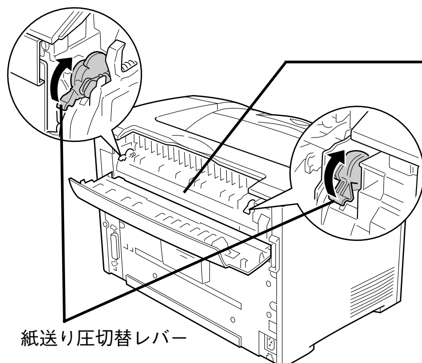
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[洋形 0 号 120 ×235mm][洋形 4 号 105 ×235mm][長形 3 号 120 ×235mm][角形 2 号 240 ×332mm]
		給紙装置	[MP カセット / 手差しトレイ（オプション）]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[洋形 0 号][洋形 4 号][長形 3 号][角形2 号]
	プリント	給紙装置	[MP カセット / 手差しトレイ（オプション）]


ポイント

- 本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形0 号 /4 号、長形3 号、角形 2 号です。定形サイズ以外の封筒を使用する場合はユーザー定義サイズまたはカスタム用紙サイズで、使用する封筒のサイズを登録してから印刷してください。
- 定形サイズの封筒を選択した場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 印刷効果が思う向きにならない場合は、[逆方向から印刷]（Windows プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログ）/［180 度回転印刷]（Macintosh プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログ）をご利用ください。

紙送り圧切替レバーについて

印刷した封筒にしわがよる場合、プリンタの B カバーを開けて、定着器両側にある緑色の紙送り圧切替レバーを（2 箇所どちらも）上側に起こしてください（圧力が弱くなります）。レバーは、カチッと音がして垂直な状態になるまで回転します。しわが軽減される場合があります。なお、封筒以外の用紙を給紙する場合は、必ずレバーを 2 つとも元の位置（下側）へ止まるまで倒してください（標準の紙送り圧に戻ります）。



⚠注意 Bカバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は約 200 度と高温のため火傷の原因になります。


注 意

- 左右どちらの紙送り圧切替レバーも同じ位置にセットしてください。セット位置が左右で異なると、給紙不良を起こします。
- 封筒以外の用紙は、必ず標準の圧力状態（下側）にセットしてください。レバーを上側にセットしたままにすると、圧力が弱く印刷品質の低下を招きます。

厚紙への印刷

紙厚 91 ～ 216g/m² の厚紙に印刷できます。厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

操作パネルでの設定：

- 自動検知される用紙サイズ：[キュウシソウチメニュー]の[MP ヨウシサイズ]を[ジドウ]に設定
- 自動検知されない用紙サイズ：[キュウシソウチメニュー]の［MP ヨウシサイズ］で使用する用紙サイズを設定

給紙方法：

- MP カセットに17.5mm*（91 ～ 216g/m²）までセット可能
  - * セットできる高さを示します。セットできる枚数は、紙厚によって異なります。
- オプションの手差しトレイから 1 枚ずつ給紙可能
- 印刷面を上にしてセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	[MP カセット / 手差しトレイ（オプション）]
		用紙種類	[厚紙]、[特厚紙]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	[MP カセット / 手差しトレイ（オプション）]
		用紙種類	[厚紙]、[特厚紙]

ポイント

- 紙厚 91 ～ 216g/m² の厚紙を使用してください。なお、紙厚が 91 ～ 157g/m² の場合は［厚紙］を、158 ～ 216g/m² の場合は［特厚紙］を選択してください。
- オプションの両面印刷ユニットを使用して厚紙に自動両面印刷を行う場合は、最大紙厚が 157g/m² 以下の厚紙をお使いください。

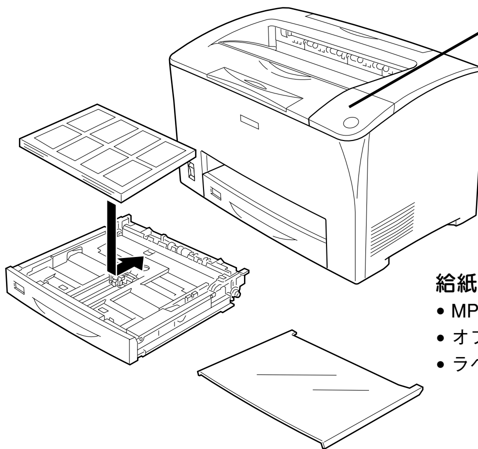
ラベル紙への印刷

A4 または Letter サイズのラベル紙を使用できます。ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。



以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙



操作パネルでの設定：
［キュウシソウチメニュー］の［MPヨウシサイズ］を［ジドウ］に設定

給紙方法：
- MP カセットに 75 枚までセット可能
- オプションの手差しトレイから 1 枚ずつ給紙可能
- ラベルが貼ってある面を上にセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［A4 210 × 297mm］または［LT 8.5 × 11 in］（印刷データで設定した用紙のサイズを設定）
		給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
		用紙種類	［ラベル］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［A4］または［Letter］（印刷データで設定した用紙のサイズを設定）
	プリント	給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
		用紙種類	［ラベル］



- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙を使用してください。
- 紙が厚い（91 ～ 216g/m²）場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］または［特厚紙］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
本書 35 ページ「厚紙への印刷」

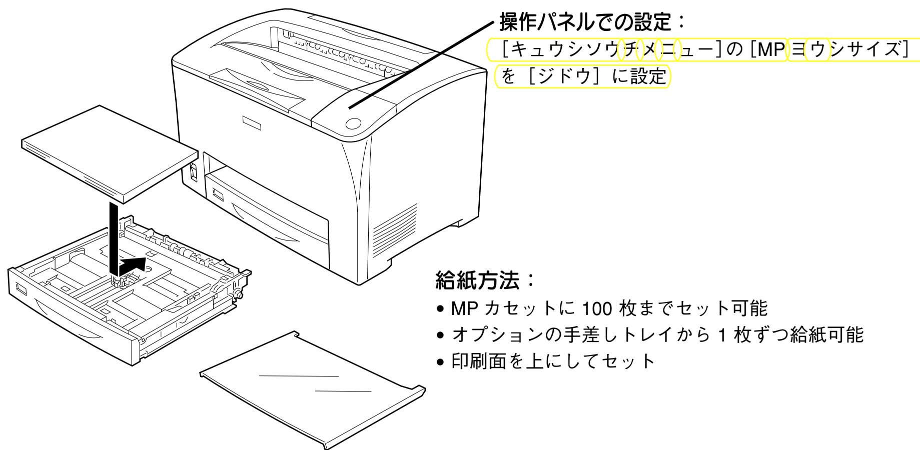
OHP シートへの印刷

A4 または Letter サイズの OHP シートを使用できます。OHP シートの品質は、製造メーカーによって異なります。大量の OHP シートを購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。



注 意

- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなりますのでご注意ください。
- カラー複写機やカラーページプリンタ / インクジェットプリンタ専用の OHP シートは使用しないでください。故障の原因となります。



プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［A4 210 × 297mm］または［LT 8.5 × 11 in］ （印刷データで設定した用紙のサイズを設定）
		給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
		用紙種類	［OHP シート］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［A4］または［Letter］ （印刷データで設定した用紙のサイズを設定）
	プリント	給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
		用紙種類	［OHP シート］



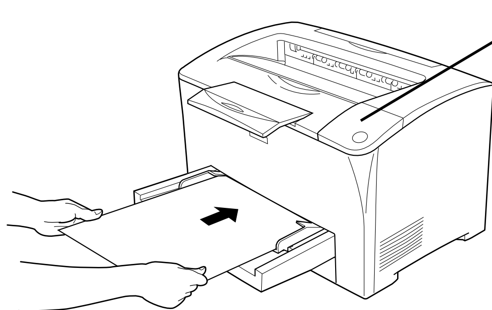
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートを使用してください。
- OHPシートに付属している説明書などで裏表を確認してください。裏表がある場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- OHP シートは、種類によって用紙厚が異なります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。

長尺紙への印刷

用紙幅 100 ～ 297mm、長さ 148 ～ 900mm 以内の長尺紙に印刷する場合は、標準の MP カセットを取り外しオプションの手差しトレイと取り替えて給紙します。



裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。斜めに給紙されるなど給紙不良の原因になります。



操作パネルでの設定：
［キュウシソウチメニュー］の［MP ヨウシサイズ］を設定する必要はありません

給紙方法：
- オプションの手差しトレイから 1 枚ずつ給紙可能
- 印刷する面を上にしてセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［ユーザー定義サイズ］で設定
		給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［カスタム用紙］で設定
	プリント	給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］



- 印刷する面を上に向けて、1 枚ずつ給紙してください。
- 長さ 432mm（17 インチ）を超える用紙は、手で支えて給紙してください。
- 長さ 508mm を超える場合は、プリンタドライバ上の［印刷品質］は［はやい］（300dpi）に固定されます。
- 紙が厚い場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］または［特厚紙］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
  本書 35 ページ「厚紙への印刷」
- 印刷内容によっては、メモリの不足で印刷できないことがあります。この場合は、メモリを増設してください。
  本書 281 ページ「増設メモリ /ROM モジュールの取り付け」
- 印刷する文書は、縦向きに印刷する時は下余白を 15mm 以上、横向きに印刷する時は右余白を 15mm 以上あけて作成してください。
- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、長尺紙への印刷はできません。

不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは以下の通りです。

- 用紙幅：87* ～ 305*mm（3* ～ 12* インチ）
- 用紙長：100* ～ 508mm（4* ～ 20 インチ）

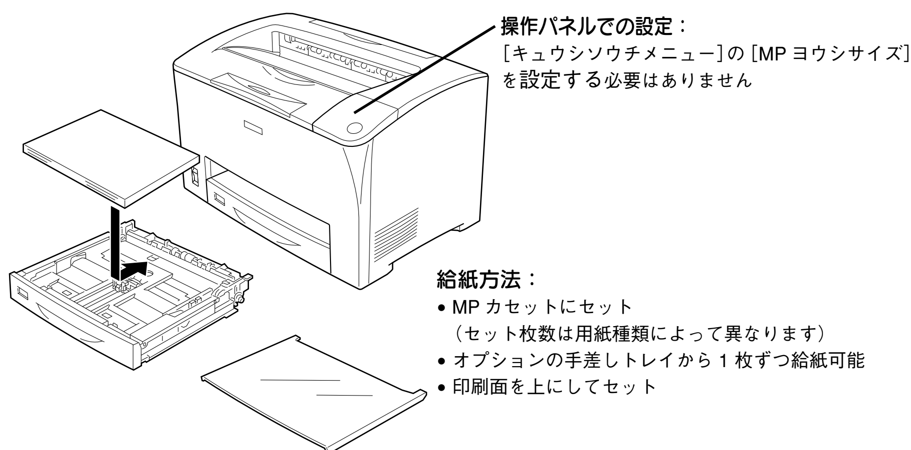
* オプションの手差しトレイにセットする場合は、用紙幅 100 ～ 297mm（11.7 インチ）、最短用紙長 148mm（5.8 インチ）となります。



不定形紙に印刷する場合は、必ずプリンタドライバのユーザ定義サイズ（カスタム用紙）で用紙サイズを指定してください。用紙サイズの異なる定形紙などを選択して印刷し続けた場合、プリンタ内部の定着器が破損する場合があります。



用紙長が 431.8 ～ 508mm の不定形紙は、MP カセットのカバーを外してセットしてください。または、オプションの手差しトレイにセットしてください。



プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［ユーザー定義サイズ］で設定
		給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［カスタム用紙］で設定
	プリント	給紙装置	［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］

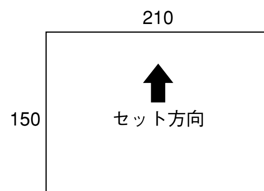


- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。
- 紙が厚い場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］または［特厚紙］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
  本書 35 ページ「厚紙への印刷」
- 用紙のセット方向は、［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙］（Macintosh）で設定した通りにプリンタにセットしてください。
  Windows：本書 52 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
  Macintosh：本書 156 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

<例>ユーザー定義サイズを「150 x 210mm」に設定した場合



<例>ユーザー定義サイズを「 210 x 150mm」に設定した場合



用紙タイプ選択機能

各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定しておくことで、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぐことができます。

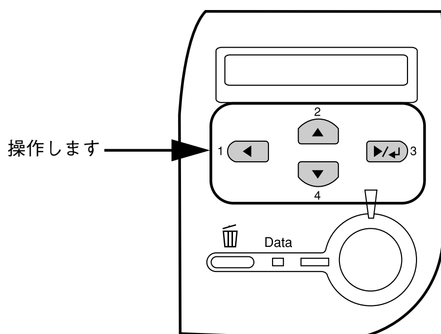
1 各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。

設定値：普通紙 / レターヘッド / 再生紙 / 色つき /OHP シート */ ラベル *

* 用紙カセットの場合は、OHP シート、ラベルは選択できません。

操作パネルで設定モードに入り、［キュウシソウチメニュー］で［MP タイプ］と［カセット 1 ～ 3 タイプ］を設定します。

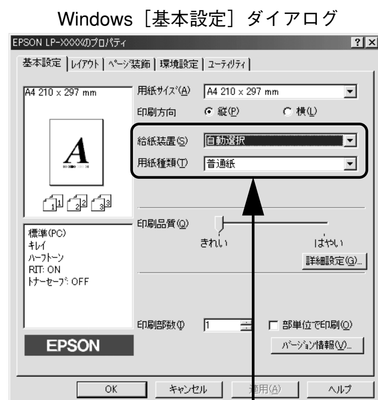
本書 206 ページ「操作手順の概要」



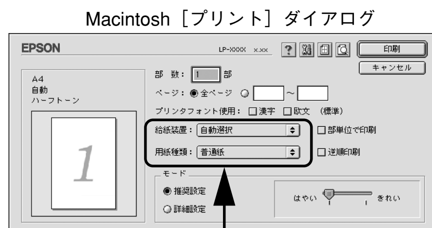
2 印刷実行時にプリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定し、［用紙種類］の中から、印刷したい用紙のタイプを選択します。

印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

Windows［基本設定］ダイアログ



Macintosh［プリント］ダイアログ



Windows プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報について説明しています。

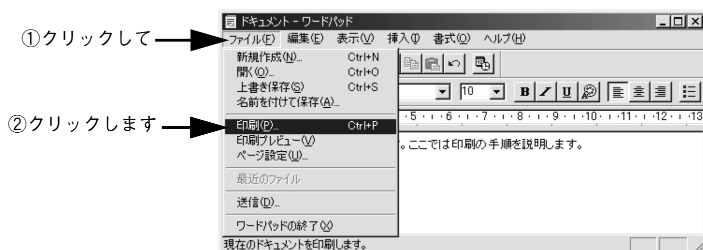
プロパティの開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。以下 Windows 98 に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。**



2 **プリンタ名に EPSON LP-7900/LP-9100 が選択されていることを確認して［プロパティ］（Windows XP の場合は［詳細設定］）ボタンをクリックします。**





Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからの開き方

［プリンタ］（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。


ポイント

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。以下代表的な手順を説明します。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、② へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

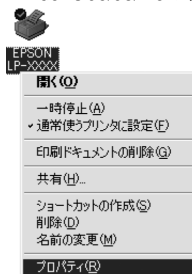
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。



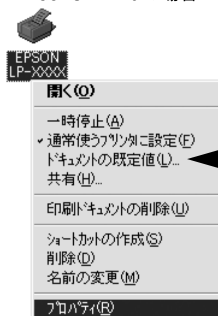
2 **LP-7900/LP-9100のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで[プロパティ]をクリックします。**

Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］を、Windows 2000/XP の場合は［印刷設定］または［プロパティ］をクリックでき、設定できる機能が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

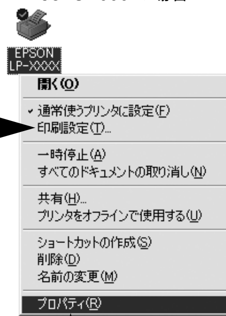
Windows 95/98/Meの場合



Windows NT4.0の場合



Windows 2000の場合



Windows 95/98/Meの場合は、すべての印刷設定や機能設定をプロパティで行います。

印刷の基本的な設定（プリンタドライバの設定）を行います。

Windowsのプリンタ使用環境を設定します。

Windows XPの場合



プリンタに対するタスクリストから［印刷設定の選択］または［プリンタのプロパティの設定］をクリックして実行することもできます。

印刷の基本的な設定（プリンタドライバの設定）を行います。

Windows のプリンタ使用環境を設定します。



- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windws NT4.0/2000/XP で［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（Power Users）以上の権限が必要です。
- Windows NT4.0 で［ドキュメントの既定値］を設定するには Power Users 以上の権限が、Windows 2000/XP で［印刷設定］を設定するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

<例 >Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合



①印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷に関わる基本的な設定を行います。

☞ 本書 47 ページ「[基本設定] ダイアログ」

②レイアウトの設定

拡大 / 縮小印刷や割り付け印刷など、レイアウトに関する設定を行います。

☞ 本書 54 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

③ページ装飾

スタンプマークを重ねて印刷したり、日付やユーザー名を入れて印刷したり、さらにオプションのフォームオーバーレイユーティリティを使ってあらかじめ作成したフォームを重ねて印刷します。

☞ 本書 63 ページ「[ページ装飾] ダイアログ」

④プリンタの環境設定

プリンタに装着したオプションを認識させたり、プリンタの動作環境を設定したり、ステータスシートを印刷します。

☞ 本書 73 ページ「[環境設定] ダイアログ」

⑤ユーティリティの起動

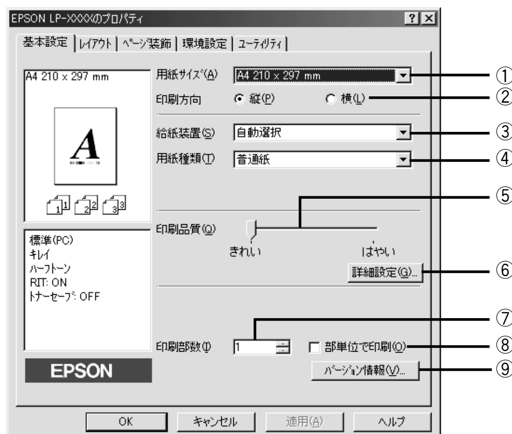
プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動します。

☞ 本書 84 ページ「[ユーティリティ] ダイアログ」

［基本設定］ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

<例 >Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合



①用紙サイズ

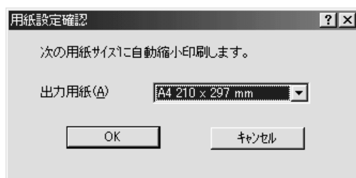
アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印［▲］［▼］をクリックして表示させてください。



- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合は、OS が独自にサポートしている用紙サイズも合わせて表示します。
  本書 15 ページ「セットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

プリンタがサポートしていない大きい用紙サイズ（A3 を超えるサイズ）を選択した場合、［用紙設定確認］ダイアログが開きます。このダイアログの［出力用紙］で選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。



ユーザー定義サイズ：

［用紙サイズ］リストにない用紙サイズを、［ユーザー定義サイズ］として設定できます。設定できるサイズは以下の通りです。

用紙幅：87.0 ～ 304.8mm（3.43～ 12.00 インチ）

用紙長：100.0 ～ 900.0mm（3.94 ～ 35.43 インチ）

本書 52 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」



② 印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかをクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせてください。

③ 給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］と［用紙種類］の設定に合った用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP カセット / 手差しトレイ（オプション）	MP カセットまたはオプションの手差しトレイから給紙する場合に選択します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセット（1 段目）から給紙する場合に選択します。
用紙カセット 2	オプションの用紙カセット（2 段目）から給紙する場合に選択します。
用紙カセット 3	オプションの用紙カセット（3 段目）から給紙する場合に選択します。



- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラーが発生します（用紙サイズチェック機能有効時）。なお、［用紙サイズのチェックをしない］を有効 / 無効に設定するには、［拡張設定］ダイアログで行います。
  本書 77 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書 54 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

④用紙種類

特殊紙（OHP シート、ラベル紙、厚紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。

☞ 本書 41 ページ「用紙タイプ選択機能」

項目	説明
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。「給紙装置」は［自動選択］に設定されます。
OHP シート、ラベル、厚紙、特厚紙	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］は［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］に設定されます。厚紙の場合は、使用する紙厚によって設定は以下のように異なります。 • 厚紙：紙厚 91 ～ 157g/m² の場合 • 特厚紙：紙厚 158 ～ 216g/m² の場合
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。



ポイント

- 操作パネルの［キュウシソウチメニュー］で用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
  ☞ 本書 216 ページ「キュウシソウチメニュー」
- 用紙サイズをハガキ、往復ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑤印刷品質

印刷品質（解像度）は、［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

項目	説明
はやい	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。



ポイント

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。

⑥［詳細設定］ボタン

グラフィックの印刷方法、RIT（輪郭補正機能）、トナーセーブを設定するには、［詳細設定］ボタンをクリックして、［詳細設定］ダイアログを開きます。

☞ 本書 50 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

⑦印刷部数

印刷する部数（1～999）を設定します。

⑧部単位で印刷

2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［印刷部数］で指定します。



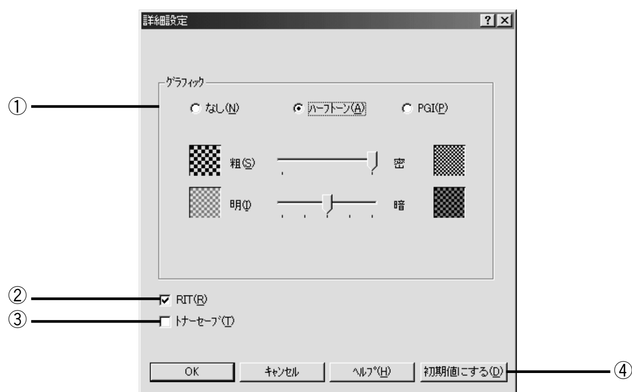
アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［部単位で印刷］で設定してください。

⑨［バージョン情報］ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［詳細設定］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［詳細設定］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。印刷条件の詳細な設定ができます。



①グラフィック

グラフィックの印刷方法を設定します。

項目	説明
なし	グラフィックの印刷処理を行いません。グレイスケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI*1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をPGI処理してきれいに印刷できます。

*1 PGI：階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSON独自の機能。



- プリンタのメモリが少ないと、[PGI] で印刷できない場合があります。[PGI] 処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [はやい] (300dpi) に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[PGI] を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は [PGI] 以外の設定にして印刷してください。

粗密：

[ハーフトーン] または [PGI] 選択時の印刷粗密度を、スライドバーで2段階に調整できます。[密] 側にスライドするとより細かく、[粗] 側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

明暗：

[ハーフトーン] または [PGI] 選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[明] 側にスライドするとより明るく、[暗] 側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。

② RIT

RIT*1 (Resolution Improvement Technology) を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*1　RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の輪郭補正機能です。



RIT 機能を有効にしてグラデーション (無段階に階調が変化する画像) を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

③ トナーセーブ

印刷濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

④ [初期値にする] ボタン

[詳細設定] ダイアログの設定を初期値に戻します。

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

1 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**



2 **登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから［保存］ボタンをクリックします。**

- 数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択します。
- 設定できるサイズの範囲は以下の通りです。

  用紙幅：87.0 ～ 304.8mm（3.43 ～ 12.00 インチ）

  用紙長：100.0 ～ 900.0mm（3.94 ～ 35.43 インチ）

  また、使用する給紙装置が MP カセットの場合とオプションの手差しトレイの場合では、設定できる不定形紙の用紙サイズが次のように異なります。

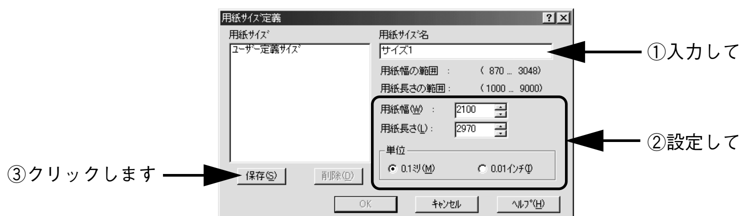
  - MP カセットの場合

    用紙幅：87.0 ～ 304.8mm

    用紙長：100.0 ～ 508.0mm
  - 手差しトレイの場合

    用紙幅：100.0 ～ 297.0mm

    用紙長：148.0 ～ 900.0mm




ポイント

- 用紙サイズは20件まで登録することができます。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ] リストから変更したい用紙サイズを選択して保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、[用紙サイズ] リストからサイズ名をクリックして選択し、[削除] ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

3 [OK] ボタンをクリックします。



定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。


ポイント

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書39ページ「不定形紙への印刷」

［レイアウト］ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合



① 拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。

本書 55 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

② 割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け設定］ボタンをクリックします。

本書 57 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

③ 逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④ 両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択でき、両面印刷を行います。製本印刷の設定も行えます。

本書 59 ページ「両面印刷 / 製本印刷をするには」



両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。

- 両面印刷の製本機能と割り付け機能を同時に設定することはできません。
- MP カセット / 用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。また、オプションの手差しトレイにセットした用紙のサイズを正しく設定してください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。


ポイント

両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できる用紙については以下のページを参照してください。
本書 29 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックすると、拡大 / 縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。［基本設定］ダイアログで設定した用紙サイズの原稿を、指定したサイズに拡大または縮小して印刷します。

<例> Windows 98でアプリケーションソフトから開いた場合



①出力用紙

［基本設定］ダイアログで設定した用紙サイズを、ここで指定した用紙サイズに拡大または縮小して印刷します。なお、縮小拡大率は、画面の左側に表示されます。

②任意倍率

50 〜 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。

2. ［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙サイズ］が［A4］になっていることを確認します。



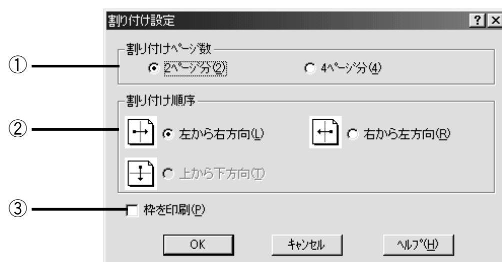
3. ［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。



4. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。



①割り付けページ数

1枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

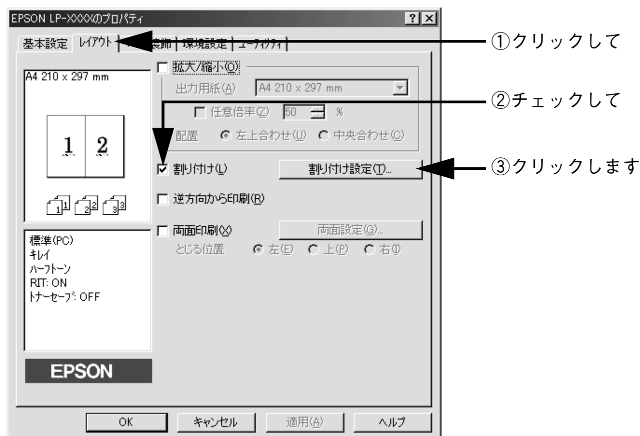
③枠を印刷

割り付けたページの周りに枠線を印刷するときにチェックマークを付けます。

割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いてから［割り付け設定］ダイアログを開きます。



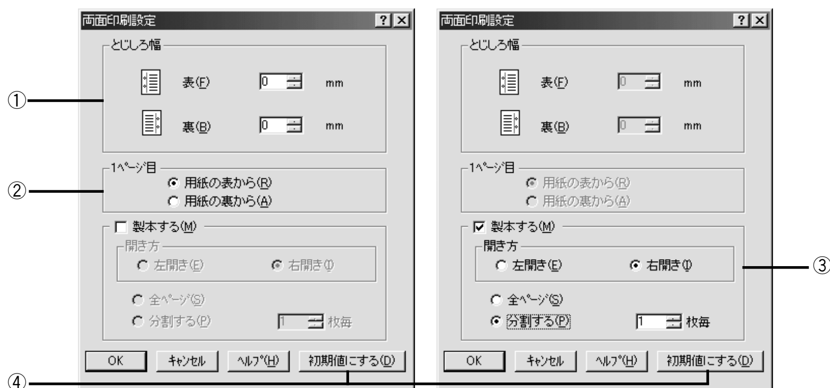
2. ［割り付けページ数］の［4 ページ分］をクリックしてから、［割り付け設定］ダイアログの各項目を設定します。



3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷 / 製本印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。





オプションの両面印刷ユニット装着時のみ、両面印刷と製本印刷が可能です。

①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅（余白）を、用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

②1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

③製本する

［基本設定］ダイアログの［印刷方向］に応じて製本した場合の開き方を選択できます。

- ［印刷方向］が［縦］の場合は、［左開き］か［右開き］かを選択できます。
- ［印刷方向］が［横］の場合は、［下開き］のみ設定できます。

さらに、製本するページの単位を設定できます。

- ［全ページ］を選択すると、すべてのページをまとめて製本します。
- ［分割する］を選択して用紙枚数を指定すると、指定枚数ごとに製本します。最大 10 枚毎まで分割することができます。



- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ幅］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

④［初期値にする］ボタン

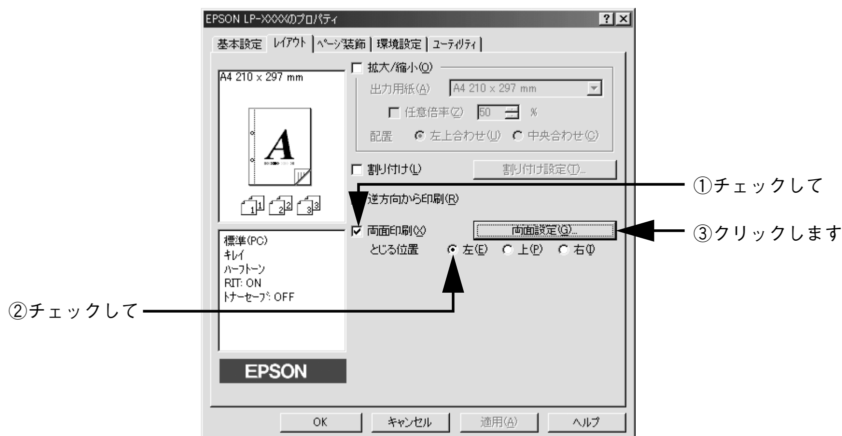
両面印刷の設定を初期状態に戻します。

両面印刷の手順

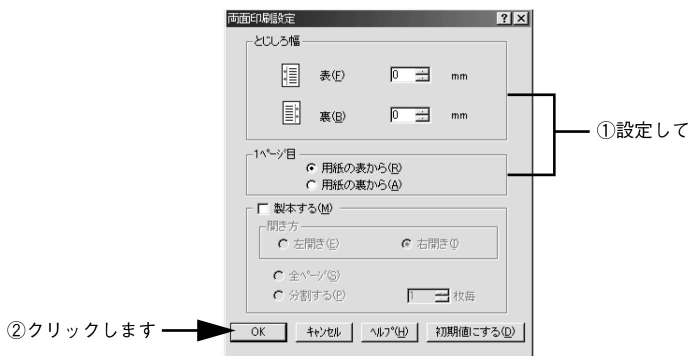
A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**
［両面印刷］と［とじる位置］の［左］をチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。



3. **［両面印刷設定］ダイアログの各項目を設定します。**
各項目を設定してから、［OK］ボタンをクリックします。



4. **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

製本印刷の手順

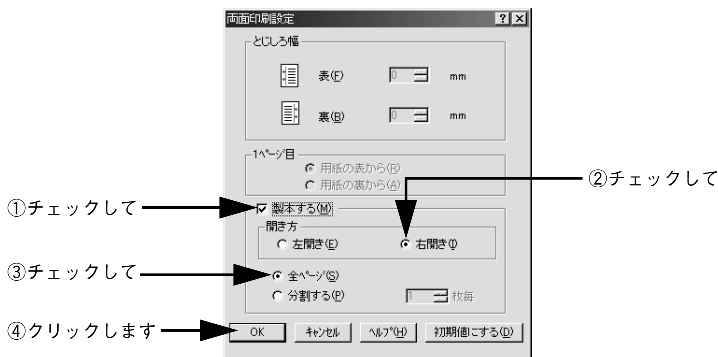
8 ページの印刷データ（縦長）を右開きになるように製本印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**
［両面印刷］をチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。

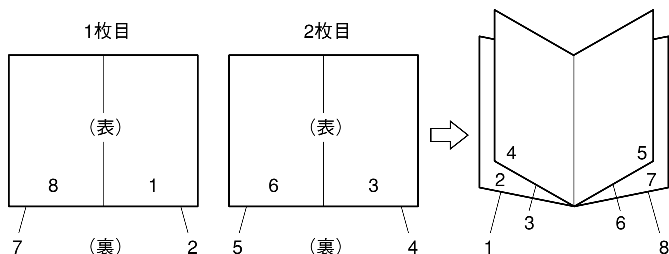


3. **［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。**
［製本する］と［開き方］の［右開き］、［全ページ］をチェックして、［OK］ボタンをクリックします。



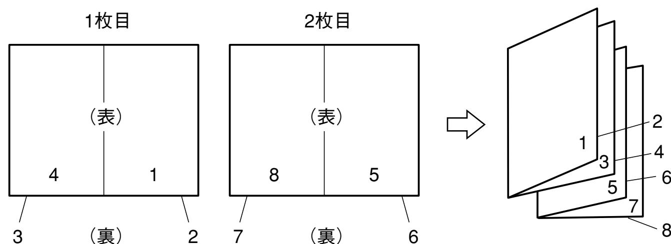
4 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

以下のように印刷されますので、2枚の用紙をまとめて2つ折りにしてとじてください。





［製本する］の［分割する］を選択する（例：分割数 =1 枚毎）と、以下のように印刷されます。この場合は、1 枚ずつ 2 つ折りにしてからまとめてとじます。



［ページ装飾］ダイアログ

［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、フォームオーバーレイ印刷、ヘッダー / フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合



① スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

本書 66 ページ「スタンプマークを印刷するには」

② フォームオーバーレイ

フォームデータを重ね合わせて印刷します。


ポイント

- フォームオーバーレイとは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能のことです。この機能を利用することにより、あらかじめ印刷された帳票などを用意する必要がなくなり、また、フォームの変更などに迅速に対応することができるようになります。
- 本ドライバにはフォームデータは添付されておりません。フォームデータを作成・編集するには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティ EPSON Form!4 が必要です（オーバーレイユーティリティをインストールすると、［オーバーレイ設定］ダイアログの機能が拡張されます）。詳細はフォームオーバーレイユーティリティに添付の取扱説明書を参照してください。
- ［拡張設定］ダイアログの［印刷モード］で［標準（PC）］を選択している場合は、フォームオーバーレイ印刷はできません。
本書 77 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

重ね合わせるフォームデータを選択するには、［オーバーレイ設定］ボタンをクリックして［オーバーレイ設定］ダイアログを開きます。



［フォーム］リスト：
フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示されません。

［詳細］ボタン：

- ［フォーム］リストでフォーム名を選択して［詳細］ボタンをクリックすると、［フォーム詳細］ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。
- ［フォーム］リストで［フォーム名称なし］を選択して［詳細］ボタンをクリックした場合は、［フォーム指定］ダイアログが開きます。フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）で作成したフォームファイルを指定できます。



ファイル指定：
コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、［ファイル指定］をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。［参照］ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。

ROM モジュール指定（LP-9100 の場合のみ）：

LP-9100 に装着したオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールに保存しているフォームを指定する場合は、［ROM モジュール指定］をクリックして、使用するフォームの登録番号をリストから選択します。また、ROM モジュールの情報を登録している場合は、［情報印刷］ボタンをクリックして ROM モジュールに登録しているフォームの情報を印刷して確認することができます。なお、LP-7900 の場合は、この機能は使用できません。



- オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）をインストールすると、オーバーレイデータが作成できるように標準の［オーバーレイ］ダイアログの機能が拡張されます。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。
  本書 278 ページ「フォームオーバーレイユーティリティソフト」
- LP-9100 に装着できるオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールについては、以下のページを参照してください（LP-7900 には装着できません）。
  本書 277 ページ「フォームオーバーレイ ROM モジュール」
  本書 281 ページ「増設メモリ /ROM モジュールの取り付け」

③ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

ﾍｯﾀﾞｰ/ﾌｯﾀｰ設定

左上(7)	中央上(8)	右上(9)
ﾕｰｻﾞｰ名	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名	日付/時刻
左下(1)	中央下(2)	右下(3)
なし	なし	部番号
OK	ｷｬﾝｾﾙ	ﾍﾙﾌﾟ(H)

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号 *）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

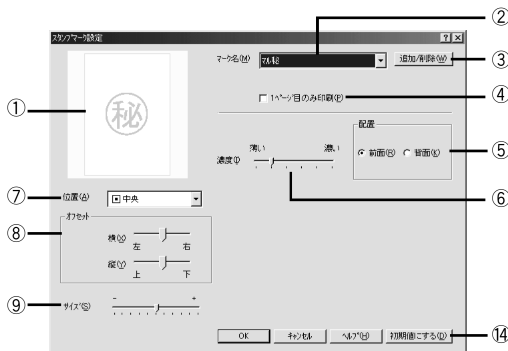
* ［部番号］が選択されると、プリンタドライバによる部単位印刷が行われ、印刷部数に応じた番号が部単位に印刷されます。



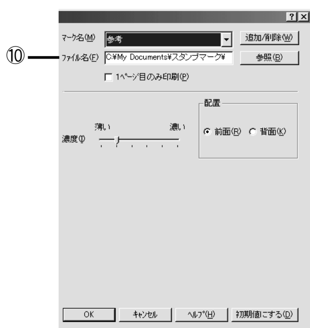
Windows NT4.0/2000/XP では、［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の設定によって［ヘッダー/ フッター］の設定が変更できなくなります。
本書 82 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

スタンプマークを印刷するには

［ページ装飾］ダイアログで［スタンプマーク］のチェックボックスをチェックして［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、［スタンプマーク］ダイアログが開きます。



登録したビットマップマーク選択時



登録したテキストマーク選択時



①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (BMP*1 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*1 BMP：画像データを保存する際のファイル形式の 1 つ。

本書 69 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。この項目にチェックマークが付いていない場合は、すべてのページにスタンプマークが印刷されます。

⑤配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合がありますので、注意してください。

⑥濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

⑨サイズ
印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。


ポイント

［位置］、［オフセット］、［サイズ］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を超えないように注意してください。

⑩ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）
登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加 /削除］ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑫フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

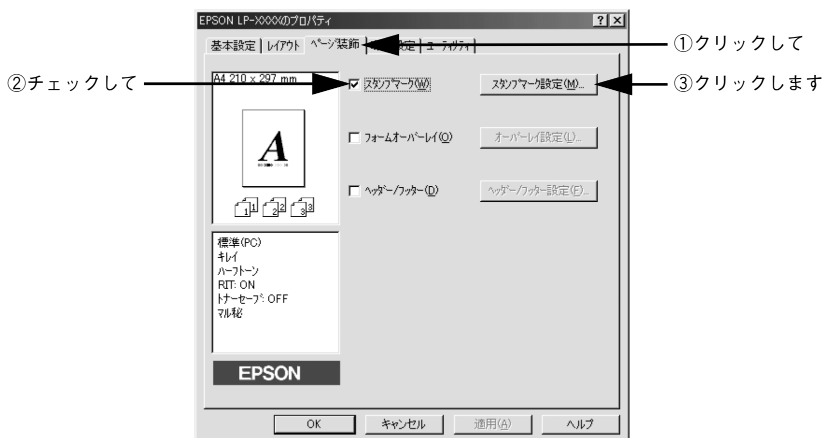
⑬回転（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーをスライドしてください。

⑭［初期値にする］ボタン
［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期値に戻します。

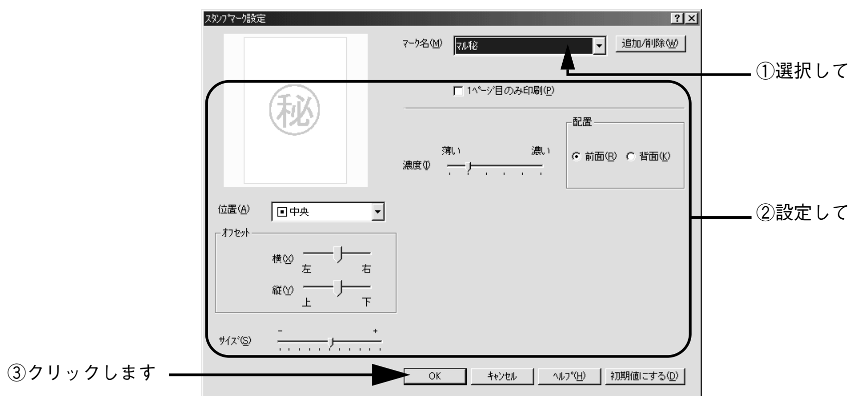
スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. [ページ装飾] ダイアログを開いてから、[スタンプマーク設定] ダイアログを開きます。



2. 印刷したいスタンプマークを選択して、各項目を設定します。



3. [OK] ボタンをクリックして [ページ装飾] ダイアログを閉じ、[OK] ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

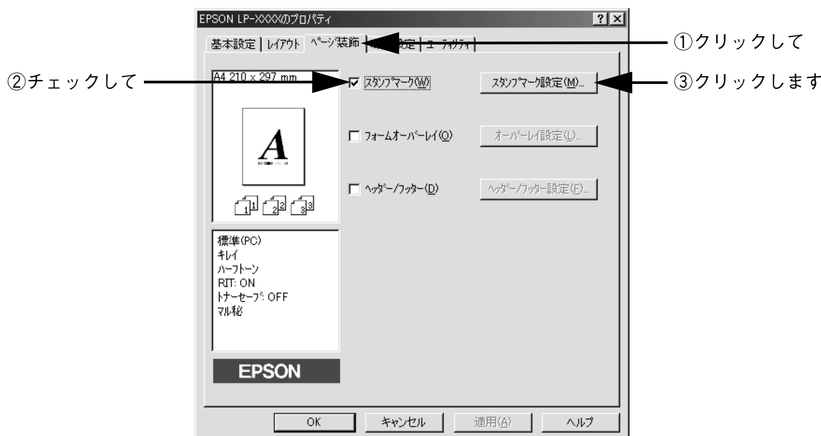
すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。



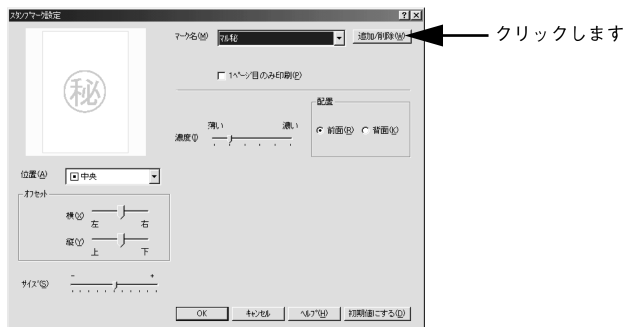
- オリジナルスタンプマークは 10 件まで登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

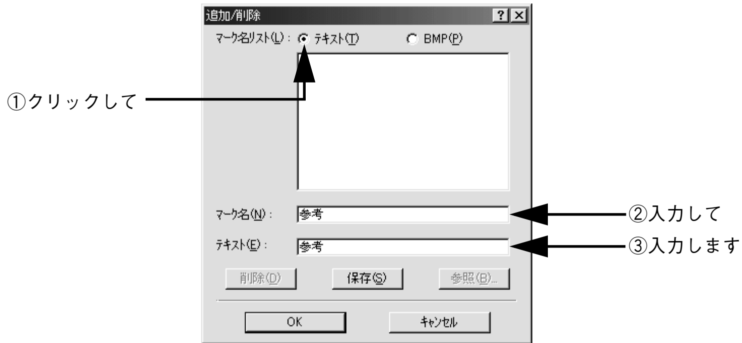
1. ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。



2. ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。



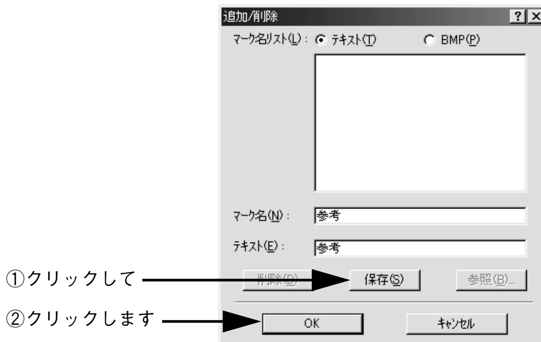
3 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［テキスト］に登録したい文字を入力します。





直接［テキスト］に文字を入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。

4 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。



これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。



登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを、［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

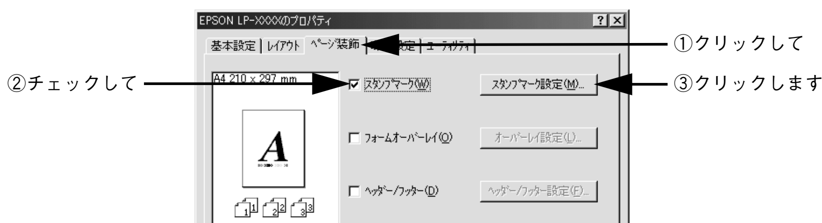
5 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

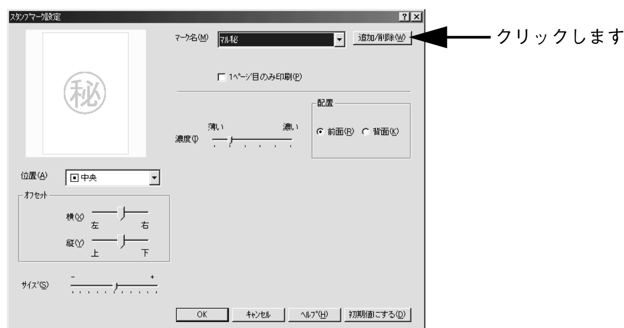
ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトを使ってスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

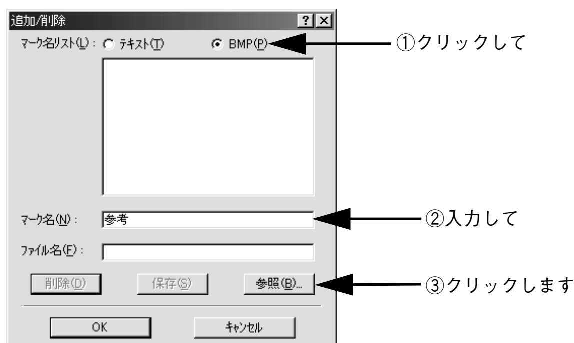
2. ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。



3. ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。



4. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］ボタンをクリックします。



5 ❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［OK］ボタンをクリックします。



6 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。



これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。



登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを、［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

7 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いの OS や機種または開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
		ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
プリンタ（オプション情報）	○	−	−	○	△
ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
拡張設定	○	○	○	−	−
動作環境設定	○	△	△	○	△

アプリケーションソフトから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
プリンタ（オプション情報）	−	−	−
ステータスシート印刷	○	○	○
拡張設定	○	○	○
動作環境設定	△	△	△

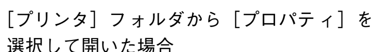
○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）
− :非表示（選択・設定できません）



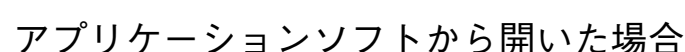
オプションの設定は、［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して［環境設定］ダイアログを開かないと設定できません。また、Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更できます。［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。
本書 43 ページ「プロパティの開き方」

以下に代表的な画面を掲載して、項目の説明をします。

＜例＞Windows 95/98/Me



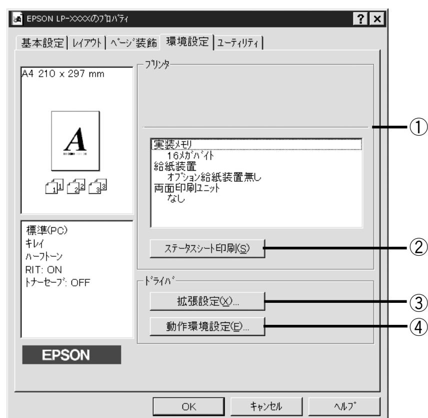
［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合



アプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞Windows NT4.0/2000/XP

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合



［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合
（アプリケーションソフトから開いた場合）

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

項目	説明
オプション情報をプリンタから取得	EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていれば、プリンタドライバが自動的にオプション情報を取得することができます。
オプション情報を手動で設定	［設定］ボタンをクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。 本書 76 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」



- オプションの設定方法については以下のページを参照してください。
  本書 301 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」
- アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000/XP の場合は［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③［拡張設定］ボタン

印刷モード、TrueType フォントの置き換え、印刷位置のオフセット値、印刷濃度、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行うときにクリックします。

本書 77 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

④［動作環境設定］ボタン

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］ダイアログを開くと、［動作環境設定］ボタンがあります。クリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。

本書 82 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］ボタンをクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが開きます。


ポイント

お使いの OS やダイアログの開き方、また管理者権限の有無によって、設定できない場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。
本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」




ポイント

設定を変更した場合は［OK］ボタンをクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

標準メモリ（LP-7900: 8MB/LP-9100:16MB）と増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイト（MB）です。

②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再クリックします。

③両面印刷ユニット

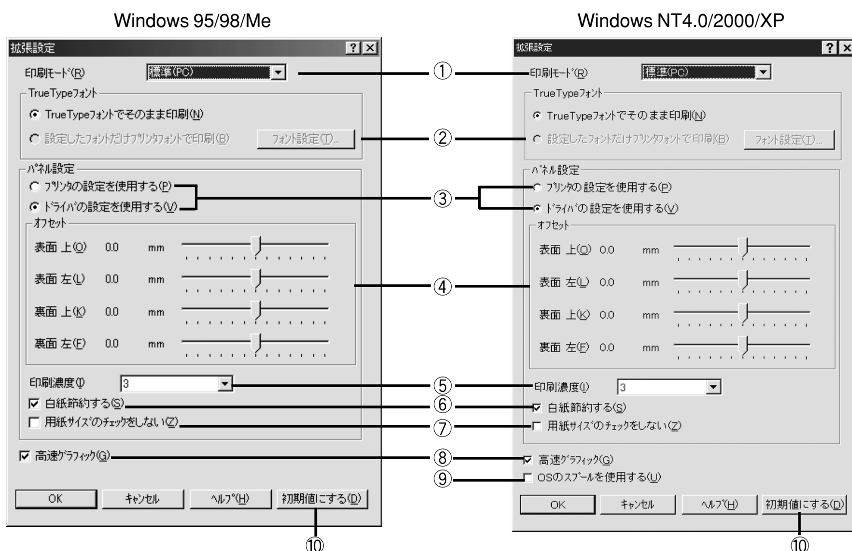
オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、チェックマークを付けます。

［拡張設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］ボタンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが開きます。


ポイント

お使いの OS やダイアログの開き方、また管理者権限の有無によって、設定できない場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。
本書 73 ページ「［環境設定］ ダイアログ」



①印刷モード

印刷モードを選択します。

項目	説明
標準（PC）	印刷処理をコンピュータ側で行う場合に選択します。［標準（PC）］を選択している場合は、フォームオーバーレイ印刷またはフォントの置換はできません。
標準（プリンタ）	印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。


ポイント

- お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は［標準（PC）］を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。
- お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は［標準（プリンタ）］を選択してください。コンピュータ側の負荷を軽くすることができます。

②TrueType フォント

TrueType フォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

項目	説明
TrueType フォントでそのまま印刷	TrueType フォントをそのまま印刷します。
設定したフォントだけプリンタフォントで印刷	TrueType フォントを、［フォントの置換設定］ダイアログで指定したプリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。［フォントの置換設定］ダイアログを開くには、［フォント設定］ボタンをクリックします。 本書 80 ページ「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるには」



- Windows 95/98/Me の場合、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのダイアログを開いてください。アプリケーションソフトから開いても、フォント置き換えの設定を変更できません。
- ［印刷モード］が［標準（PC）］の場合、フォントの置き換えはできません。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、［プリンタ］フォルダ（XP の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）からプリンタのプロパティを開き、［フォント置換］タブでフォントの置き換えを指定します。［拡張設定］ダイアログの［フォント設定］ボタンをクリックしても、置き換えフォントのリストを表示するだけで、実際に置き換えるフォントを指定できません。

③パネル設定：プリンタの設定を使用する / ドライバの設定を使用する

以下の④［オフセット］、⑤［印刷濃度］、⑥［白紙節約する］、⑦［用紙サイズのチェックをしない］は、プリンタ本体とプリンタドライバのどちらの設定を優先するかをクリックして選択できます。

項目	説明
プリンタの設定を使用する	プリンタ本体の設定を優先します（プリンタドライバでは設定できません）。
ドライバの設定を使用する	プリンタドライバでの設定を優先します（プリンタ本体の設定を無視します）。

④オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）
左（水平位置）：-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

⑤印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

⑥白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

⑦用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

⑧高速グラフィック

グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷する機能です。



ポイント

グラフィックが正常に印刷されなかった場合はチェックボックスのチェックを外してください。

⑨OS のスプールを使用する（Windows NT4.0/2000/XP）

チェックマークを付けると、OS のスプール機能を使用します。



ポイント

アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になったり、印刷に要する時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。このような場合は、チェックマークを外してお使いください。

⑩［初期値にする］ボタン

［拡張設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるには

Windows 95/98/Me と Windows NT4.0/2000/XP では、フォント置き換えを設定するダイアログが違います。お使いの OS に合わせて、以下の手順に従ってください。


ポイント

［印刷モード］が［標準（PC)］の場合、フォントの置き換えはできません。

1 **［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開きます。**

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

② LP-7900/LP-9100 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

④ LP-7900/LP-9100 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

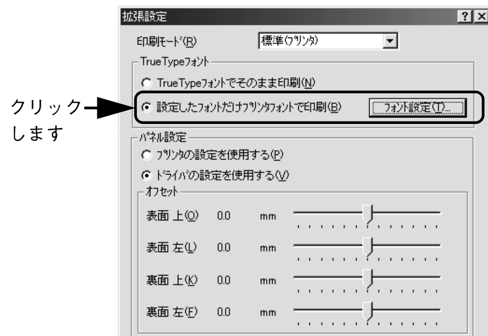
2 **フォントを置き換えるためのダイアログを開きます。**

- **Windows 95/98/Me の場合**

① ［環境設定］タブをクリックして開き、［拡張設定］ボタンをクリックします。

② ［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］をクリックし、［フォント設定］ボタンをクリックします。

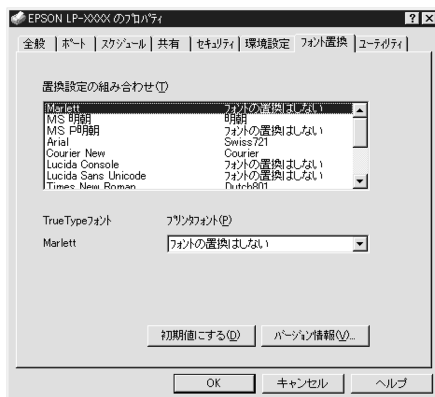
クリックします





- Windows NT4.0/2000/XP の場合

［フォント置換］タブをクリックします。





ポイント

ダイアログの開き方や管理者権限の有無によって、設定できない場合があります。設定を行うには、Windows NT4.0/2000 の場合は Power Users 以上の権限が、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」権限が必要です。

3 ［置換設定の組み合わせ］リストから、置き換え対象の TrueType フォントをクリックして選択します。

4 ［プリンタフォント］リストから、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。

5 3 と 4 を繰り返して置き換えるフォントをすべて設定したら、［OK］ボタンをクリックして作業を終了します。



ポイント

［置換設定の組み合わせ］の設定を初期状態に戻すには、［初期値にする］をクリックしてください。

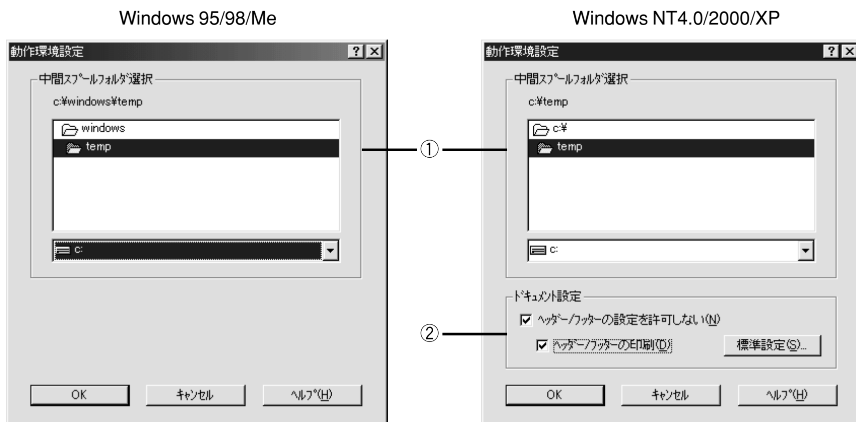
[動作環境設定] ダイアログ

[環境設定] ダイアログで [動作環境設定] ボタンをクリックすると、[動作環境設定] ダイアログが開きます。



お使いの OS やダイアログの開き方、また管理者権限の有無によって、設定できない場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 73 ページ「[環境設定] ダイアログ」



① 中間スプールフォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定を変更する必要はありません。



- Windows NT4.0/2000/XP で中間スプールフォルダを選択する場合は、すべての権限において選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定が「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。

② ドキュメント設定（Windows NT4.0/2000/XP）

［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］と［ヘッダー / フッターの印刷］両方をチェックして［標準設定］ボタンをクリックすると、ヘッダー / フッターをここで設定できます。

［ページ装飾］ダイアログのヘッダー / フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

本書 63 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」

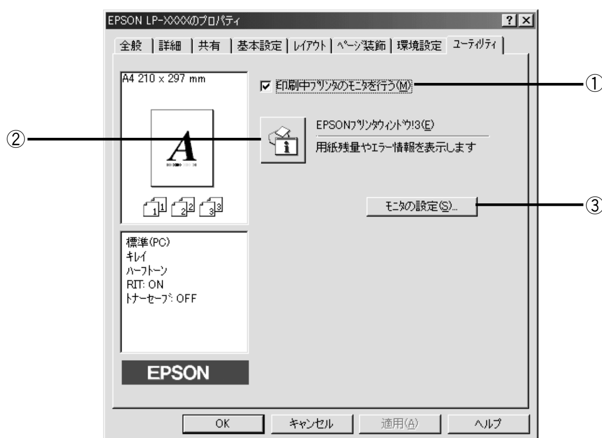
	［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］		
	チェックなし	チェックあり	
	ー	［ヘッダー / フッターの印刷］	
		チェックなし	チェックあり
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックス	［ページ装飾］ダイアログで設定を変更できます。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックスはチェックなしのままで、設定は変更できません。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックスはチェックありのままで、設定は変更できません。
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタン	［ページ装飾］ダイアログで設定を変更できます。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックしてヘッダー / フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー / フッターの印刷は［ページ装飾］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由にヘッダー / フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー / フッターは印刷できません。	ヘッダー / フッターの印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。［標準設定］ボタンをクリックして［ヘッダー / フッター設定］ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。


ポイント

- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）しか設定できません。ヘッダー / フッター印刷を管理する必要がある場合はここで設定してください。

［ユーティリティ］ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSONプリンタウィンドウ!3に関わる設定を行います。



①印刷中プリンタのモニタを行う

チェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。



- Windows NT4.0/2000/XPで、［プリンタ］フォルダ（XPの場合は［プリンタとFAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。
- NetBEUIを使用した直接印刷、IPP印刷、Novell NDPS印刷時、または16進ダンプモード時には［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してください。

②EPSONプリンタウィンドウ!3

中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ!3が起動します。

☞ 本書85ページ「EPSONプリンタウィンドウ!3とは」

③［モニタの設定］ボタン

EPSONプリンタウィンドウ!3の動作環境を設定する場合にクリックします。

☞ 本書88ページ「モニタの設定」

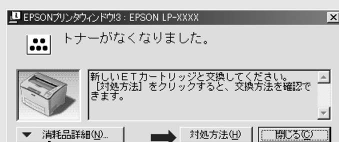
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

プリンタエラーを表示します

ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時や消耗品残量が少なくなったときなどのプリンタの状態を表示します。



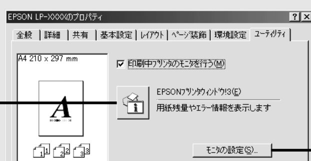
[プリンタ詳細] ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

- [ユーティリティ] ダイアログから



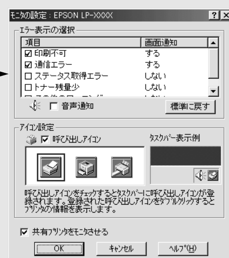
- タスクバーの呼び出しアイコンから



動作環境を設定するには

[モニタの設定] ダイアログ

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 は、次の接続形態において使用できます。

- ローカル接続
- TCP/IP 直接接続
- Windows 共有プリンタ
- NetWare 共有プリンタ



NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷、Novell NDPS 印刷の場合はモニタすることができません。

また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下のネットワーク形態で接続されている必要があります。

- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP 接続
- Windows NT4.0 での LPR 接続
  （ネットワークプリンタを Windows クライアントから利用する場合）
- Windows 2000/XP での TCP/IP または LPR 接続
  （ネットワークプリンタを Windows クライアントから利用する場合）



- Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。
- NetWare および NetBEUI、EpsonNet Internet Print を利用してネットワーク印刷を行う場合、ジョブ管理機能は使用できません。
- Windows NT4.0 での LPR 接続、または、Windows 2000/XP での TCP/IP あるいは LPR 接続の共有プリンタを、Windows NT4.0/2000/XP クライアントから利用する際に、クライアントへのログオンユーザーとサーバへの接続ユーザーが異なる場合、ジョブ管理機能は使用できません。

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく前に

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく上での制限事項について説明します。

- **Windows 95/98/Me で共有プリンタを監視する場合の制限事項**
  サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。

- **Windows XP をご使用時の制限事項**
  Windows XP のリモートデスクトップ機能 *1 を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

  *1 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

- **Windows 95 をご使用時の制限事項**
  Windows 95 で本ユーティリティをお使いいただくには、Winsock2 および日本語ダイアルアップネットワーク 1.3（DUN1.3）がインストールされている必要があります。EPSON プリンタウィンドウ !3 は、これらのソフトウェアモジュールを使用してプリンタの情報を取得します。

- **NetWare プリンタを監視する際の制限事項**
  NetWare プリンタを監視する場合は、Novell 社が提供しているクライアントを使用する必要があります。以下のクライアントにおいて動作確認済みです（2003 年 3 月現在）。

OS	クライアント
Windows NT4.0/2000/XP	Novell Client for Windows NT/2000/XP Ver.4.83（要 SP1 適用）
Windows 95/98	Novell Client for Windows 95/98 Ver.3.32
Windows Me	Novell Client for Windows Me Ver.3.3

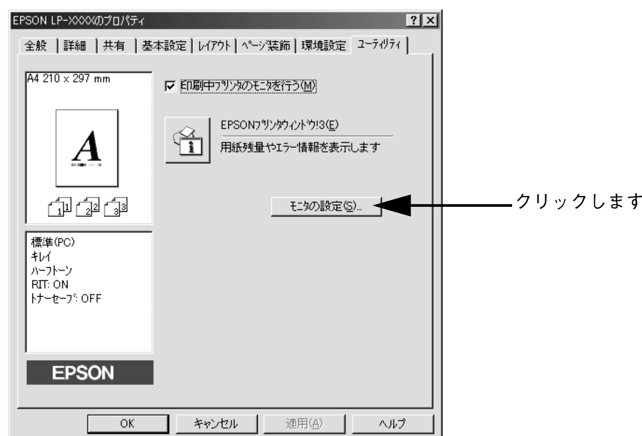

ポイント

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］
プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［モニタの設定］ボタンをクリックします。



［方法 2］
上記［方法 1］の［モニタの設定］から EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバーにある呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。



［モニタの設定］ダイアログ



①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニング（警告）を、画面通知するかどうかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。



お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックマークを付けると、EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタや好みに合わせてクリックして選択できます。



タスクバーに設定したアイコンをマウスで右クリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に、［プリンタ詳細］ウィンドウにジョブ情報を表示します。

☞ 本書 93 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

⑥印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合に、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

☞ 本書 94 ページ「[印刷終了通知] ダイアログ」

⑦共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

☞ 本書 98 ページ「Windows でプリンタを共有するには」



ポイント

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、[ジョブ情報を表示する] と [印刷終了を通知する] が表示されます。

☞本書 86 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。さらに、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

本書 92 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ!3］アイコンをクリックします。プリンタプロパティの開き方は、次のページをご覧ください。

本書 43 ページ「プロパティの開き方」



［方法 2］

［方法 1］の画面にある［モニタの設定］から、EPSONプリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバー上の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンで呼び出しアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

本書 88 ページ「モニタの設定」





アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に表示されます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法、または対処方法を選択するダイアログが表示されます。



［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



①アイコン / メッセージ
プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ
プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。
本書 94 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン
ウィンドウを閉じるときにクリックします。

④用紙残量
給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー
ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑥消耗品
ジョブ管理ができる場合に［プリンタ詳細］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

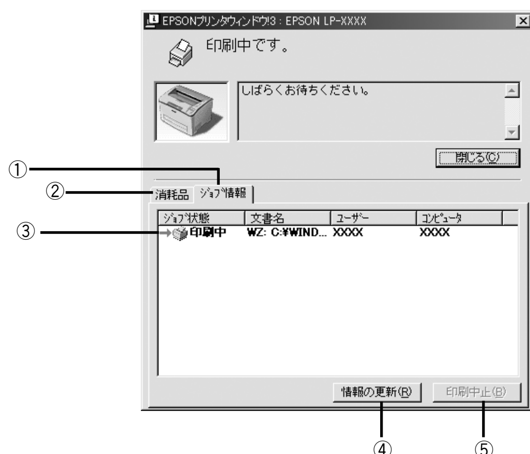
⑦ジョブ情報
ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示します。
本書 93 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」


ポイント

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。
本書 88 ページ「モニタの設定」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリンタジョブ情報を表示します。



①ジョブ情報

ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示します。

②消耗品

［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。

本書 92 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

④［情報の更新］ボタン

最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

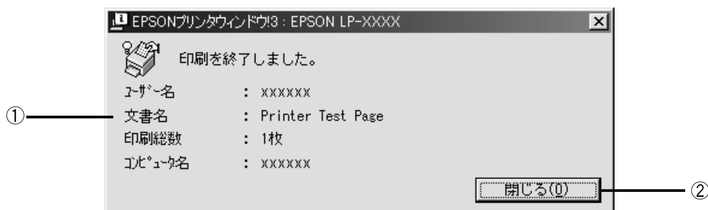
⑤［印刷中止］ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 88 ページ「モニタの設定」



① 印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名､文書名､印刷総数､コンピュータ名を表示します。

②［閉じる］ボタン

ダイアログを閉じます。

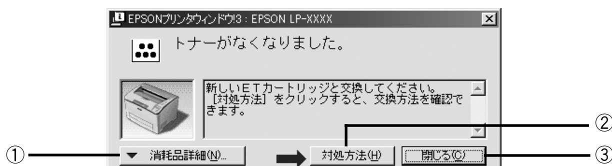


［ユーティリティ］ダイアログの［印刷中プリンタのモニタを行う］がチェックされていない場合は、印刷終了通知は行われません。

本書 84 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ､メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。エラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。



ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①［消耗品詳細］ボタン

クリックすると､［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 92 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

③［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

Windows 共有プリンタを監視できない場合は、以下の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログ内の［モニタの設定］で［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークが付いていること。

監視プリンタの設定

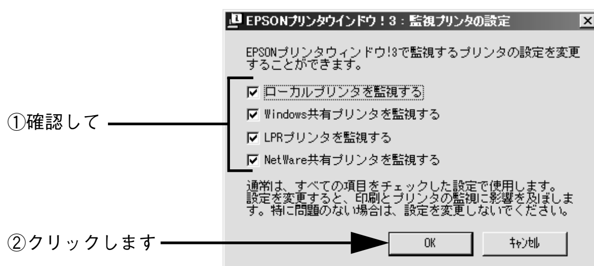
［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1 **監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。**

Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］から［Epson］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

2 **監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外し、［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。**

［キャンセル］ボタンをクリックすると設定した内容をキャンセルします。



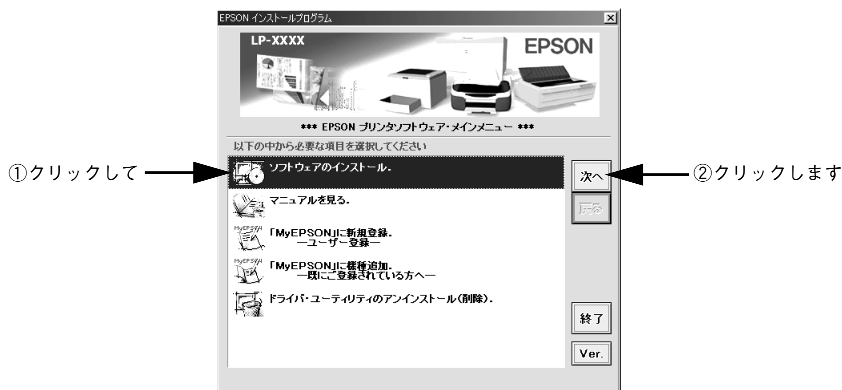
以上で設定は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバに引き続いてインストールします。EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを単独でインストールする手順は以下の通りです。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 下の画面が表示されたら、[ソフトウェアのインストール] をクリックして [次へ] をクリックします。



3. [ソフトウェア選択] ボタンをクリックします。



4 ［EPSON プリンタウィンドウ !3］のみをチェックして、［OK］ボタンをクリックします。

各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。





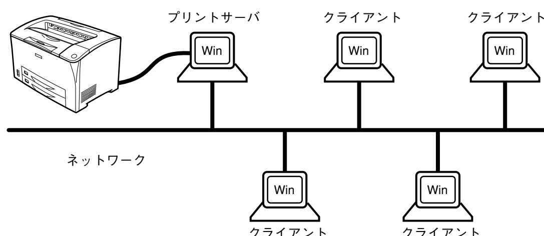
［選択中止］ボタンをクリックすると前の画面に戻ります。

5 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

この後は画面の指示に従ってください。

Windows でプリンタを共有するには

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。



設定を始める前に、必ず以下のページを参照してください。

スタートアップガイド 37 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバと、共有プリンタを利用するクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。また、ここではプリントサーバにはすでに本機のプリンタドライバがインストールされているものとして説明します。

- プリントサーバ側の設定
  本書 99 ページ「Windows 95/98/Me プリントサーバの設定」
  本書 102 ページ「Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール」
- クライアント側の設定
  本書 109 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
  本書 113 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
  本書 115 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」



- EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように EPSON プリンタウィンドウ !3 を設定してください。
  本書 88 ページ「モニタの設定」
- 本章の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

プリントサーバの設定

Windows 95/98/Me プリントサーバの設定

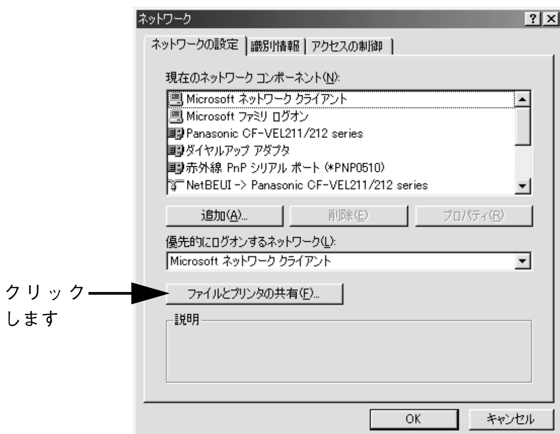
Windows 95/98/Me が稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

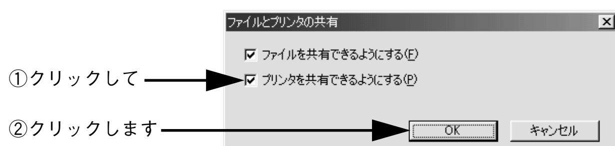
2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。



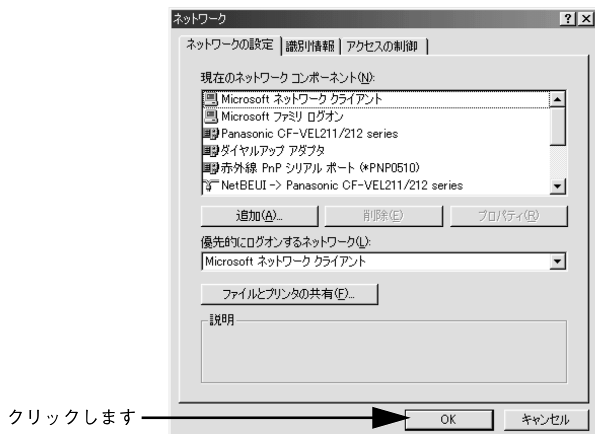
3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。



❹ ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。



❺ ［OK］ボタンをクリックします。





- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、❶ の手順でコントロールパネルを開いて ❻ から設定してください。

❻ コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

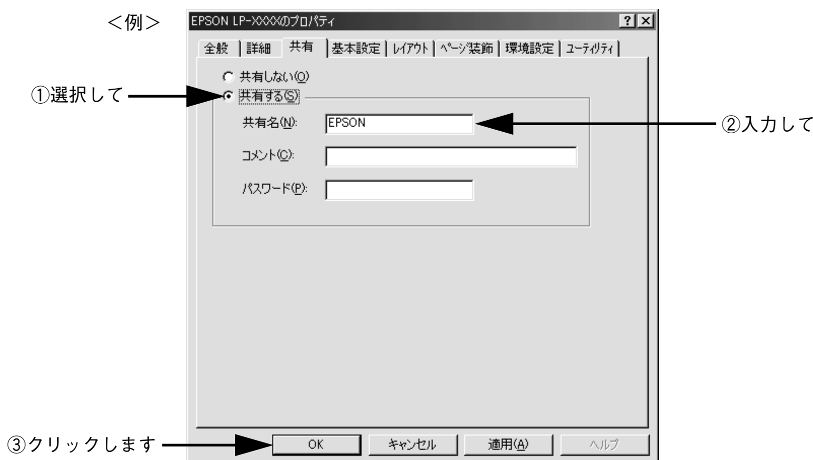


7 LP-7900/LP-9100のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。



8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。





エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

9 EPSONプリンタウィンドウ!3を使用している場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

☞ 本書88ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

☞ 本書109ページ「クライアントの設定」

Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール

Windows NT4.0/2000/XP が稼働するコンピュータをプリントサーバとして設定する場合は、以下の手順に従ってください。また、代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。



ポイント

- 代替/追加ドライバは、クライアントのプリンタドライバインストール作業を簡略化するためのものです。クライアント用の代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールしておくと、クライアントごとに EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を用意しなくてもプリンタドライバのインストールが、自動的に行えるようになります。
- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows NT4.0で代替/追加ドライバ機能を使用する場合は、Windows NT4.0 Service Pack 4 以降が対象となります。
- クライアントとサーバが同じ OS の場合は、代替 / 追加ドライバをインストールする必要がありません。
- 代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。
- 代替 / 追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールする場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 はクライアントにインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけますが、共有しているプリンタの状態をクライアント側から EPSON プリンタウィンドウ !3 を使って確認することはできません。
- EPSONプリンタウィンドウ!3をクライアントにインストールする場合や、代替 / 追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってローカルプリンタとしてクライアントにインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更します。クライアント側の具体的なインストール手順は、以下のページを参照してください。

  スタートアップガイド 35 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」

  本書 121 ページ「プリンタ接続先の変更」

1 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタとFAX］を開きます。

- Windows NT4.0/2000の場合

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- Windows XPの場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

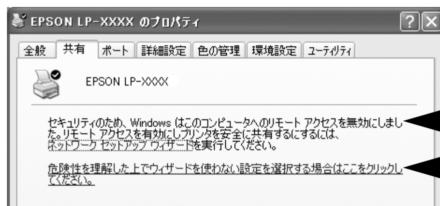
③ ［プリンタとFAX］をクリックします。

2 LP-7900/LP-9100のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。





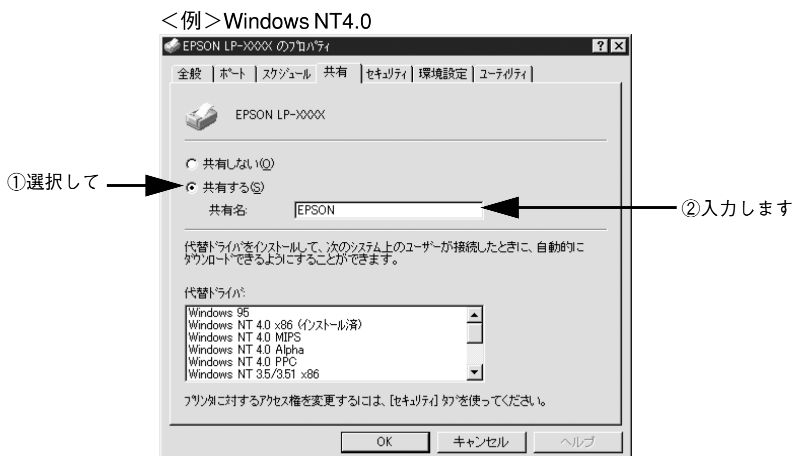
Windows XPで以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。



3 ［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

Windows XP の場合は、[このプリンタを共有する] を選択して [共有名] を入力します。

<例>Windows NT4.0





エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

- 代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、次の 4 へ進んでください。
- 代替 / 追加ドライバをインストールしない場合は、[OK] ボタンをクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。

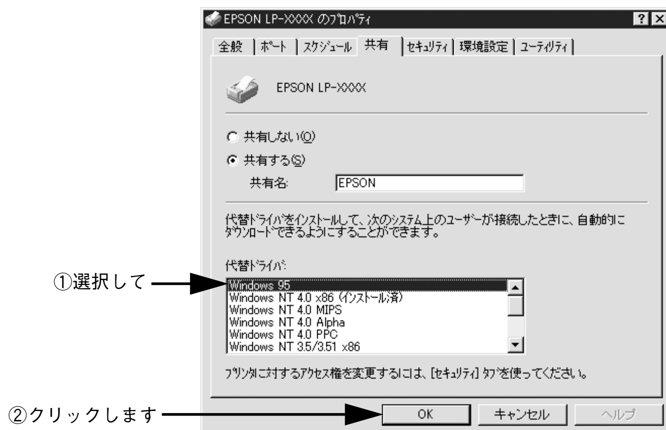
本書 109 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
本書 113 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
本書 115 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」

4 **クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。**

- **Windows NT4.0 プリントサーバの場合：**

① クライアントの Windows バージョンを選択します（クリックして、ハイライトさせます）。
Windows 95/98/Me クライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、［Windows 95］をクリックして選択します。

② ［OK］ボタンをクリックします。



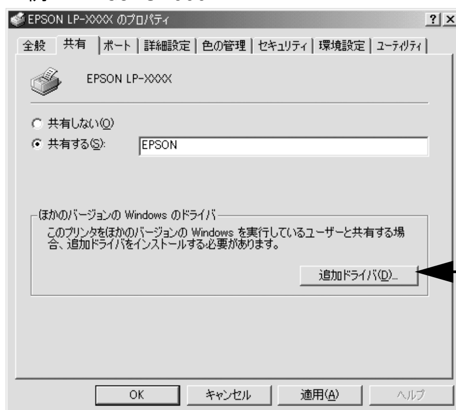


- Windows NT4.0 クライアント用の代替 /追加ドライバ［Windows NT 4.0 x86］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- ［Windows 95］以外の代替 / 追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の代替ドライバはインストールできません。
- Windows 2000/XP のドライバを代替ドライバとして登録することはできません。

- **Windows 2000/XP サーバの場合：**

① [追加ドライバ] ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 2000

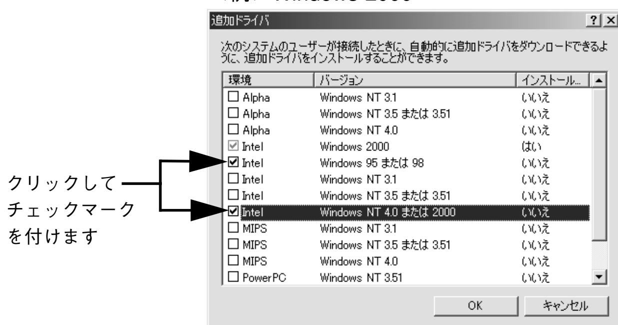


クリックします

② クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます）。

サーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows 2000	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95 または 98
	Windows NT4.0	Intel Windows NT 4.0 または2000
Windows XP	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95、98、および Me
	Windows NT4.0	Intel Windows NT4.0 または 2000

＜例＞Windows 2000



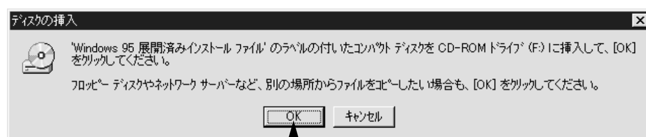


- Windows 2000/XP専用のプリンタドライバ[Intel Windows 2000]/[Intel Windows 2000 または XP] はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- 指定以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

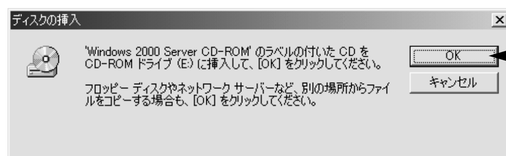
③ [OK] ボタンをクリックします。

5 以下のメッセージが表示されたら、本機のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞ Windows NT4.0 の場合



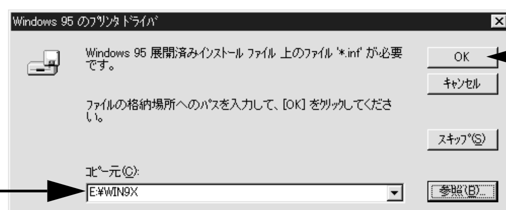
＜例＞ Windows 2000 の場合



*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

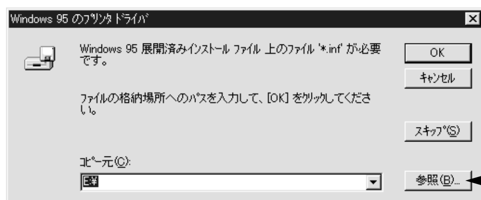


* クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

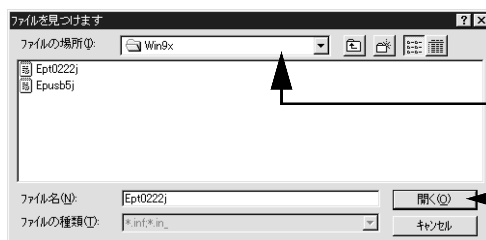
クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000



- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
①［参照］ボタンをクリックします。



②入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。



- Windows 2000/XP をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］といったメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 **Windows 2000/XPの場合は、[閉じる]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。**

Windows NT4.0 の場合は、代替 / 追加ドライバがインストールされるとプロパティは自動的に閉じます。



ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

8 **EPSON プリンタウィンドウ !3 の[モニタの設定]ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。**

本書 88 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書 109 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。



- Windows でプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定については、以下のページを参照してください。

  スタートアップガイド37 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」

  本書 99 ページ「プリントサーバの設定」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- ここで説明する手順に従ってプリンタドライバをインストールする場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけますが、共有しているプリンタの状態をクライアント側から EPSON プリンタウィンドウ !3 を使って確認することはできません。EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールするには、クライアント OS にローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールしてからプリンタ接続先をネットワークプリンタに切り替えてください。

  スタートアップガイド 35 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」

  本書 121 ページ「プリンタ接続先の変更」

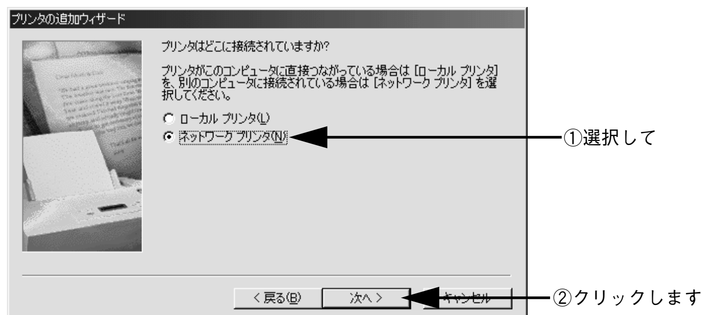
Windows 95/98/Me クライアントでの設定

Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

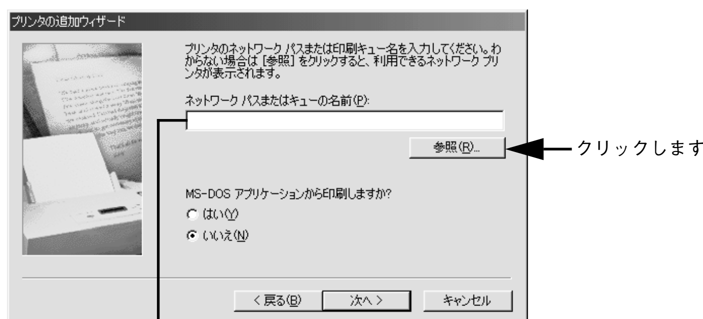
2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。



4 ［参照］ボタンをクリックします。

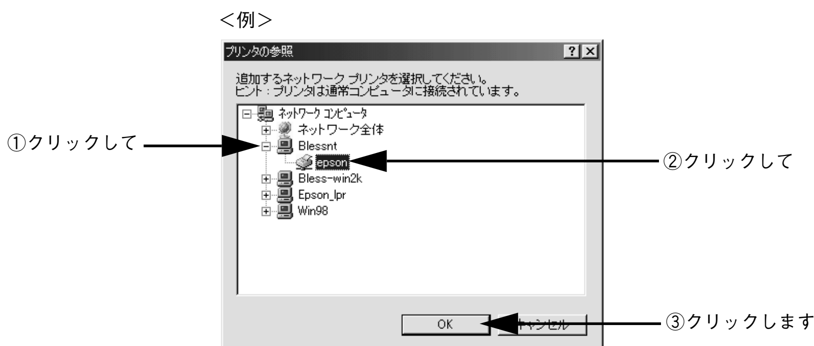
ご利用のネットワーク構成図が表示されます。



入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

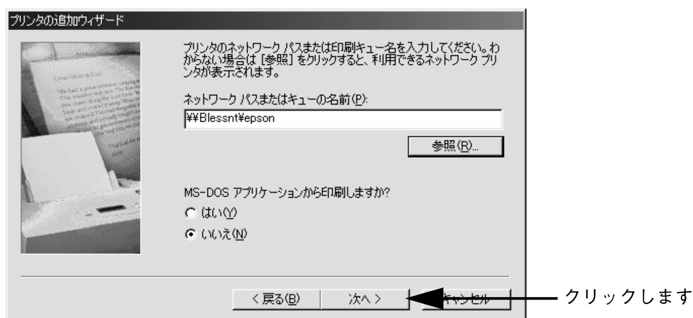
<例>




ポイント

プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

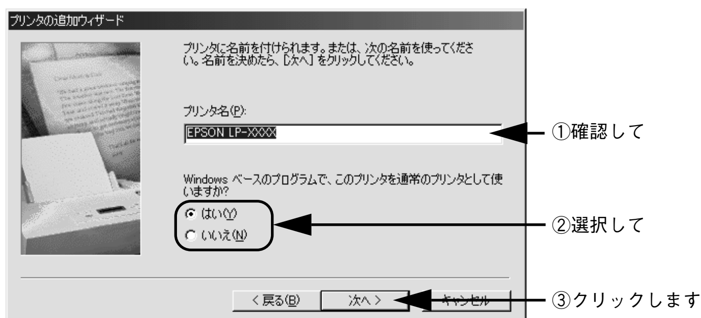
6 ［次へ］ボタンをクリックします。




ポイント

すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7 **接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

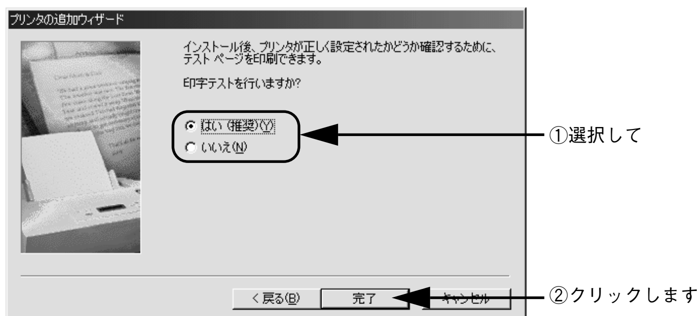




プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8 **テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］ボタンをクリックします。**

印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］ボタンをクリックして対処してください。



以上でクライアントの設定は終了です。

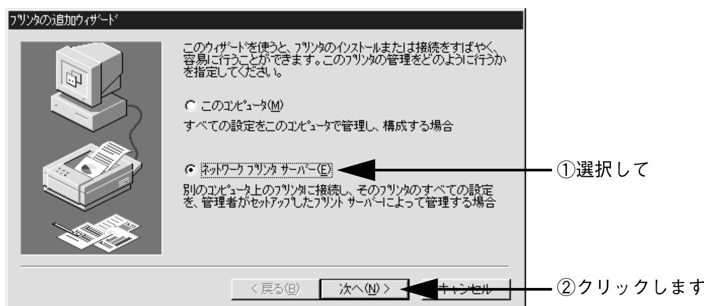
Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

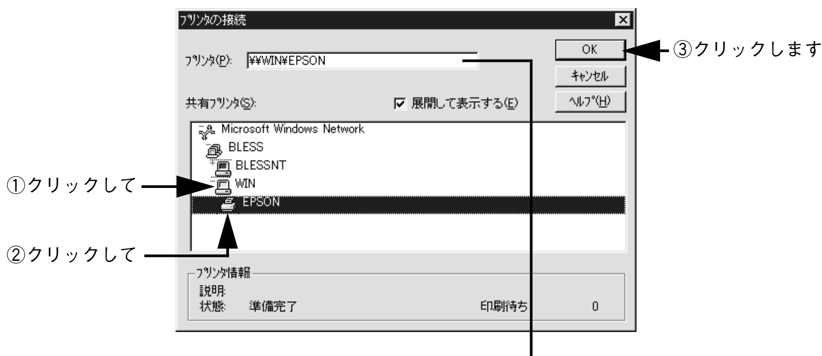
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。



4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

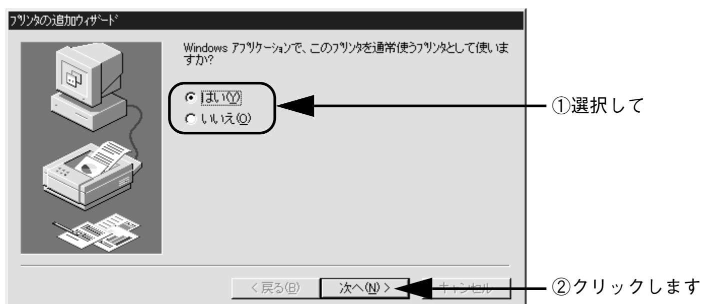


入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

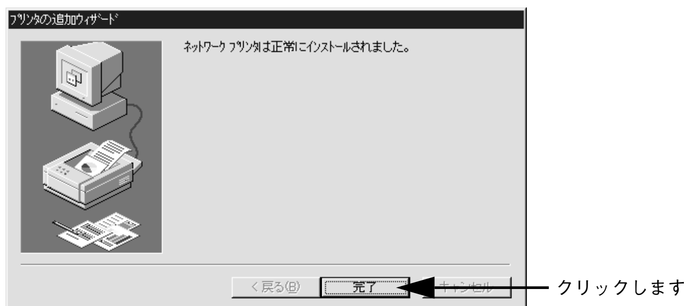


- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

5 **通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**



6 **［完了］ボタンをクリックします。**



以上でクライアントの設定は終了です。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- Windows 2000 の場合

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- Windows XP の場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。


ポイント

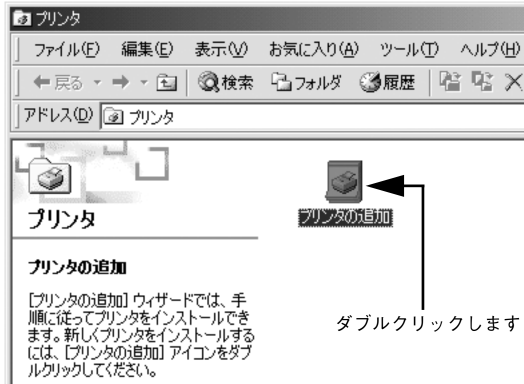
Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。



2 プリンタの追加ウィザードを起動します。

- Windows 2000 の場合

①［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。



②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

- Windows XP の場合

①［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリックします。

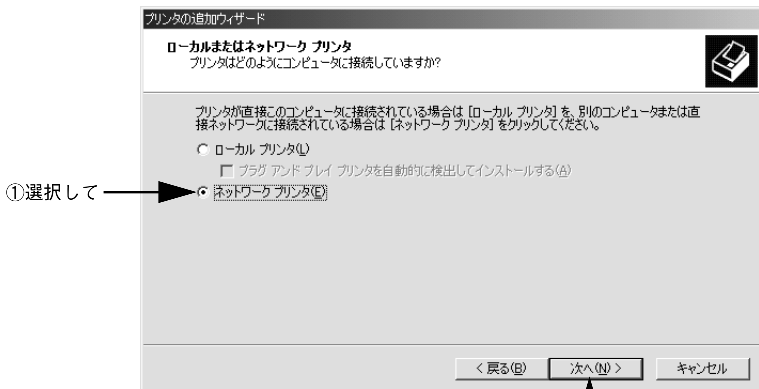


②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

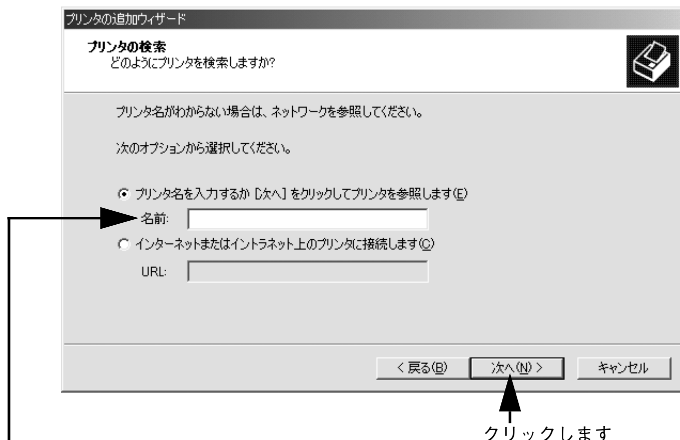
3 使用する共有プリンタを探します。

- Windows 2000 の場合

① ［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。



② ［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。



入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名


ポイント

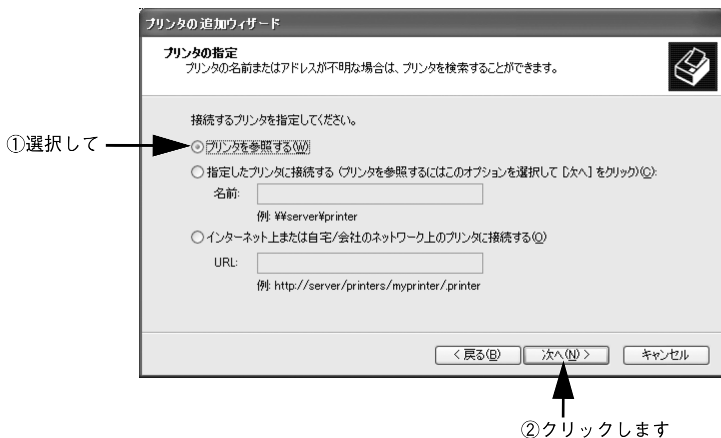
ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

- **Windows XP の場合**

① ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



② ［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

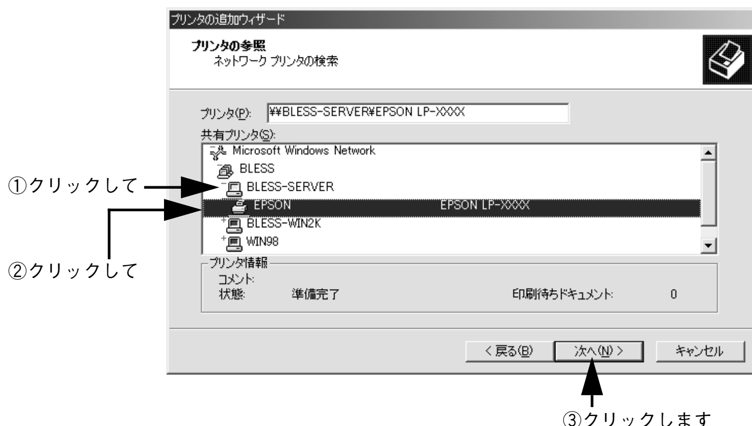



ポイント

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、［指定したプリンタに接続する］をクリックして［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 2000

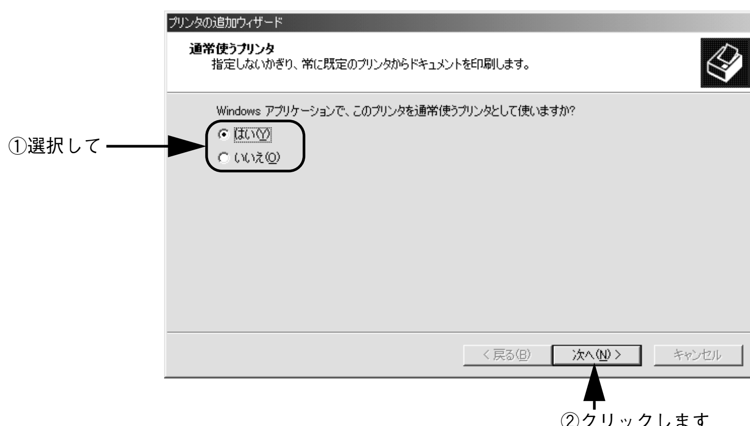




ポイント

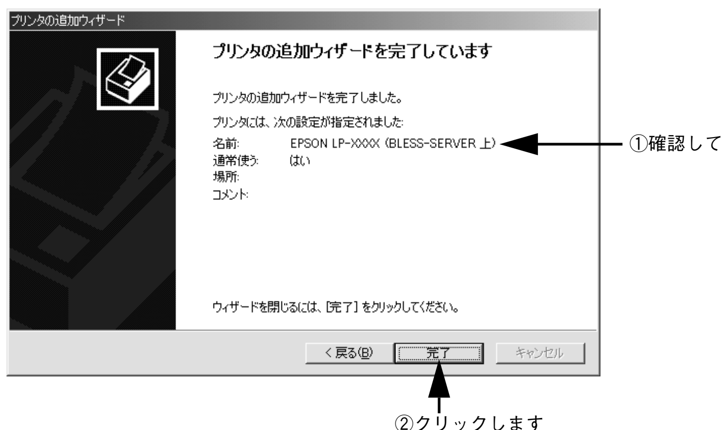
- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

5 通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



6 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。

<例> Windows 2000



以上でクライアントの設定は終了です。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。

Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントにプリンタドライバをインストールしてから以下の手順を続けてください。



ポイント

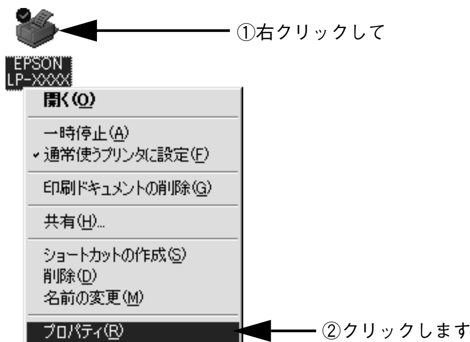
プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

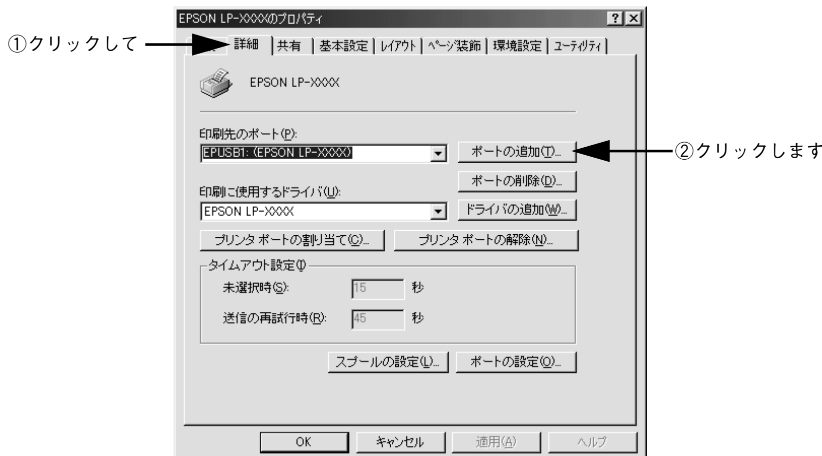
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. LP-7900/LP-9100 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。



❸ ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］を、パラレル接続の場合は［LPT1］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は ❹ に進みます。



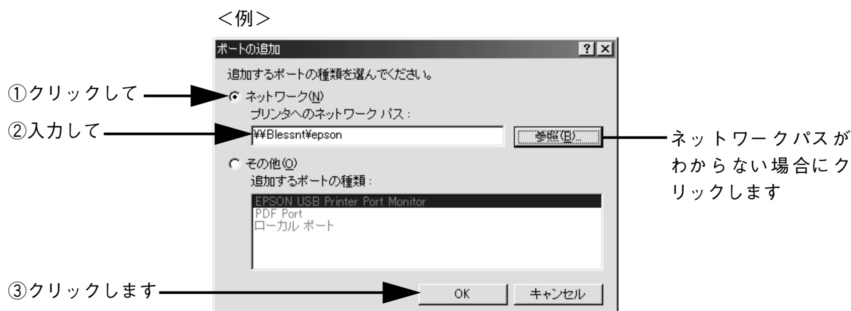

ポイント

［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- PRN：EPSON PCシリーズ/NEC PCシリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

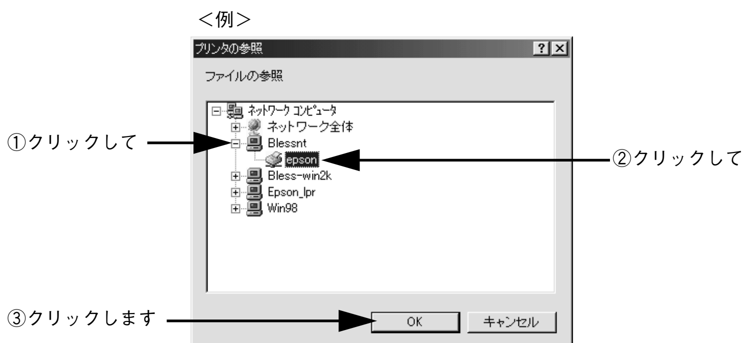
4 **［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

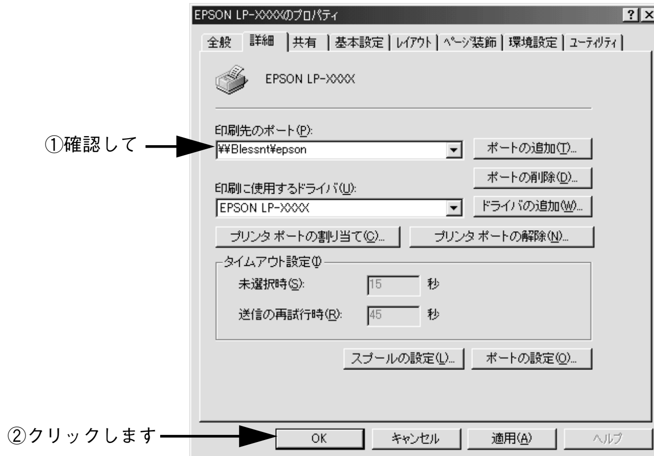




ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。



5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］ボタンをクリックします。



以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows NT4.0/2000 の場合**

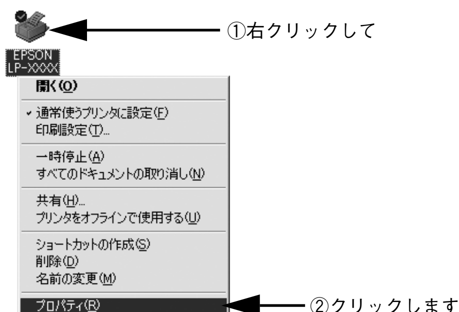
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

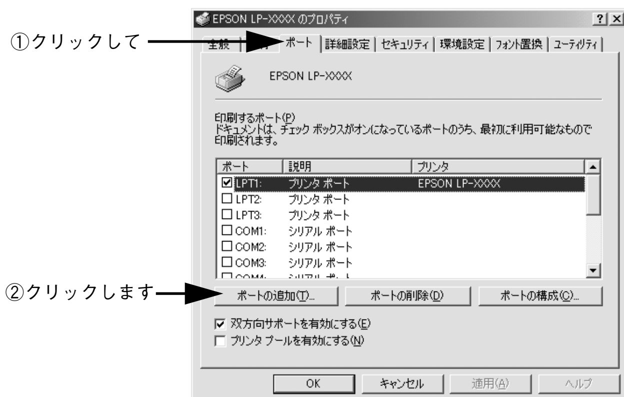
2 LP-7900/LP-9100のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

<例> Windows 2000 の場合



3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックマークを付けます。





［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

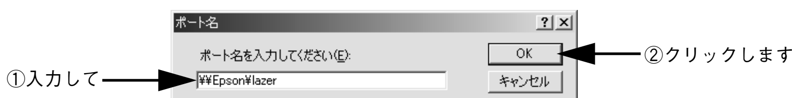


5 ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。

ポート名は以下のように入力します。

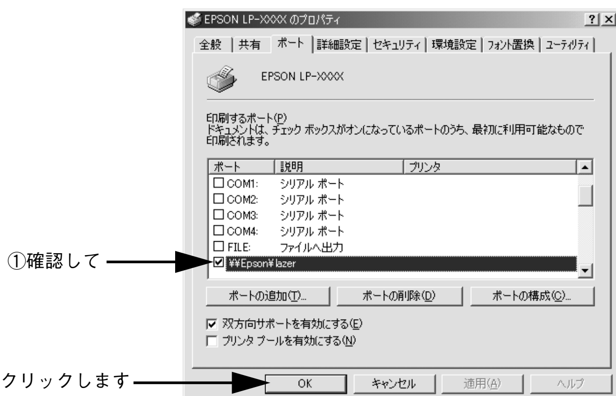
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

＜例＞



6 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。



以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

パラレルインターフェイス接続時の印刷高速化（Windows NT4.0/2000/XP）

Windows NT4.0/2000/XPをご利用で本機をパラレルインターフェイスで接続している場合、印刷データの転送方法としてDMA転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA転送とは

通常、印刷データはコンピュータのCPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPUは同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法ではCPUに負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP*1 コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPUを経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法をDMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1 ECP：Extended Capability Portの略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- **ご利用のコンピュータはDOS/V機でECPコントローラチップが搭載されていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **ご利用のコンピュータでDMA転送が可能ですか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **BIOS*1 セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS　を設定してください。

*1 BIOS：Basic Input/Output Systemの略。パソコンを動作させるための基本的なプログラム群のこと。



このBIOSの設定は、本機のプリンタソフトウェアを一旦削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
本書136ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
スタートアップガイド34ページ「セットアップ」

- **エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？**

以上の確認と設定が済みましたら、お使いのOSごとの説明に進んでください。

Windows NT4.0 の設定確認

Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。ここでは設定されていることを確認します。

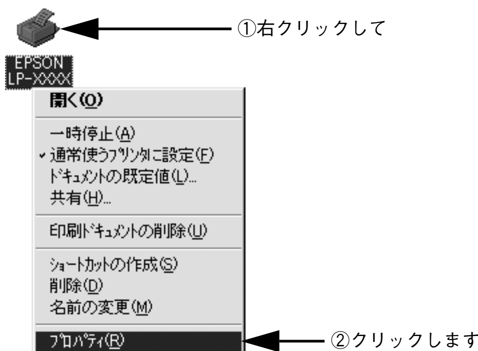


ポイント

- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- DMA 転送をご利用になる場合、本機のプリンタドライバは以下のページの手順に従ってインストールされていることが必要です。
  セットアップガイド 35 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」
- DMA転送で印刷できないなどの問題が発生した場合は、手順4の[DMA を使用する］のチェックを外してください。

1 Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 LP-7900/LP-9100 のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

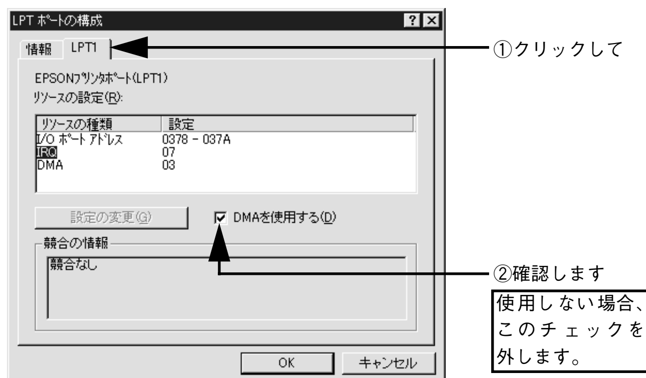


3 ［ポート］のタブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。



4 本機が接続されているポートのタブをクリックして、［DMA を使用する］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認します。

コンピュータのLPT1ポートにプリンタを接続している場合は、[LPT1]を選択します。





コンピュータの拡張スロットに LPT ボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。

- LPT2やLPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。
- IRQ と DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

以上で確認の方法は終了です。

Windows 2000/XP の場合

Windows 2000/XP をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールしてください。



- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- EPSONプリンタポートをインストールおよび設定するには、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- 添付の Readme ファイルを必ず一読してからインストールを行ってください。Readme ファイルには、注意事項やトラブル発生時の対処方法などの情報が掲載されています。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 以下の画面が表示されたら［ LPT 接続時の印刷の高速化 ］をクリックして［次へ］をクリックします。

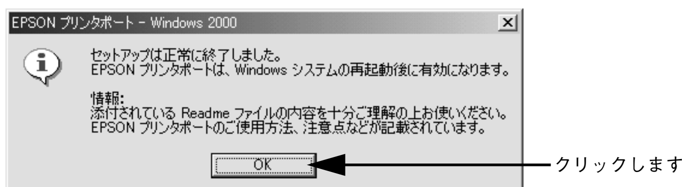


3 ［はじめにお読みください］をクリックし［次へ］をクリックして参考情報をお読みいただいてから、［EPSON プリンタポートのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。



4 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 インストールが終了したら［OK］ボタンをクリックします。



6 Windows を再起動します。



必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。再起動させずに以降の作業を行うと、印刷ができなくなったり、動作が不安定になります。

7 **LP-7900/LP-9100プリンタドライバのプロパティ画面を表示します。**

- **Windows 2000の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

②LP-7900/LP-9100 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、8 へ進みます。

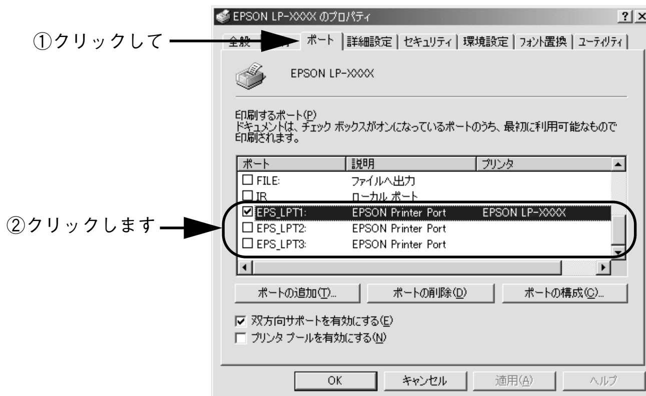
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

④LP-7900/LP-9100 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

8 **［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。**

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

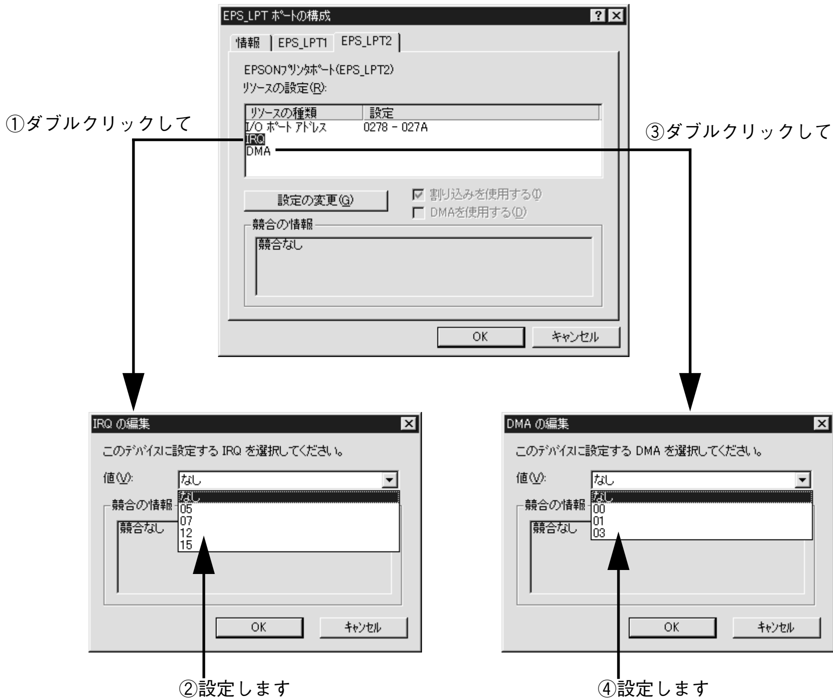


- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。［閉じる］ボタンをクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 9 へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 9 へ進みます。

9 EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順でIRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させます。

① [ポートの構成] ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます）。

② [IRQ]、[DMA] の設定を行います。[リソースの設定] から [IRQ]、[DMA] をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。



③ [OK] ボタンをクリックして [ダイアログ] 画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。[プロパティ] 画面を閉じてから再起動してください。

これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。


ポイント

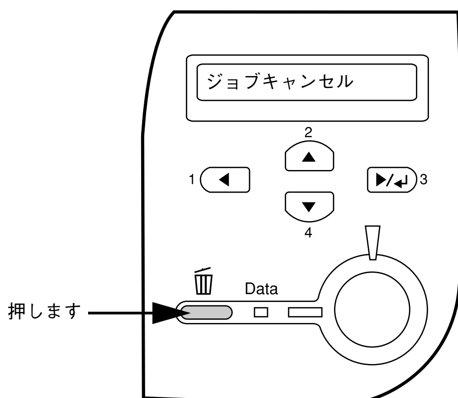
プリンタドライバを再インストールした場合には、7 ～ 9 に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

印刷の中止方法

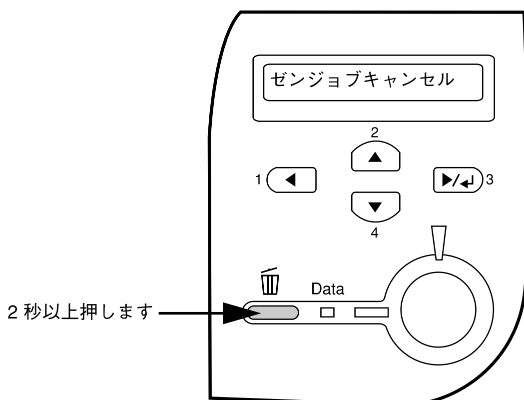
印刷処理を中止するときは、以下の方法でプリンタ上の印刷データを削除します。

プリンタ本体での中止方法

- 印刷中のデータ（ジョブ単位）を削除する場合は、[ジョブキャンセル] スイッチを押します。



- すべての印刷データを削除するには、[ジョブキャンセル] スイッチを 2 秒以上押し続けます。プリンタが受信したすべての印刷データが消去され、データランプが消灯します。

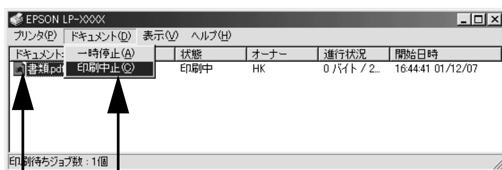


プリンタドライバからの中止方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。



2. 中止したい印刷データをクリックして選択し、[ドキュメント] メニューの [印刷中止] または [キャンセル] をクリックします。



処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ!3/USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。


ポイント

- USBプリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で本製品を USB接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000

  ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。

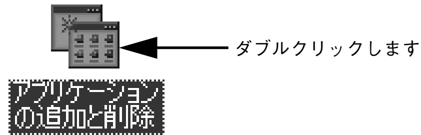
- Windows XP

  ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。



- **Windows XP の場合**

  ［プログラムの追加と削除］をクリックします。



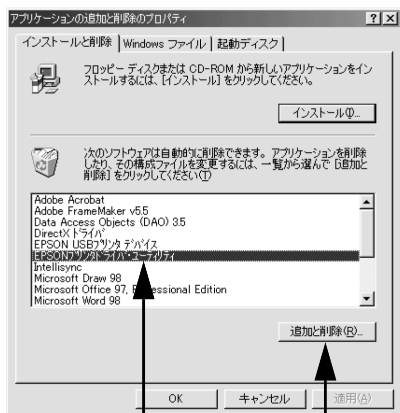
4 **削除するソフトウェアを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。**

Windows 2000/XP の場合は［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、削除対象となる項目をクリックして［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

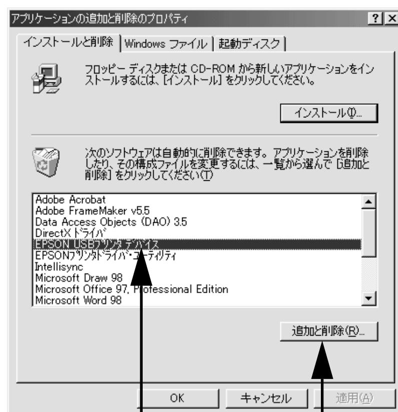
- **プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合：**

  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

  本書 141 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」



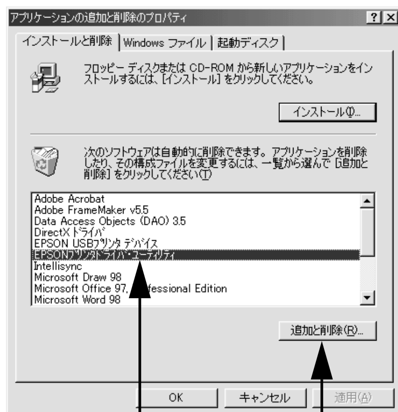
- **USB プリンタデバイスドライバを削除する場合：**
  ［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。［EPSON USB プリンタデバイス］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。
  本書 143 ページ「USB プリンタデバイスドライバの削除」





インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。
① コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

- **EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを削除する場合：**
  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックして、以下のページへ進みます。
  本書 144 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除」



プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

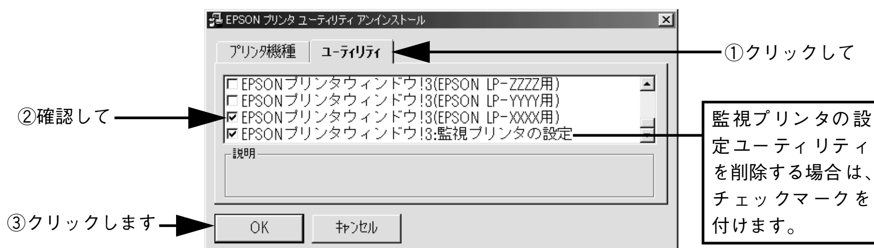
以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 138 ページ手順 ④ から続けてください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-7900/LP-9100 のアイコンを選択します。



6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-7900/LP-9100 用）にチェックマークが付いていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。

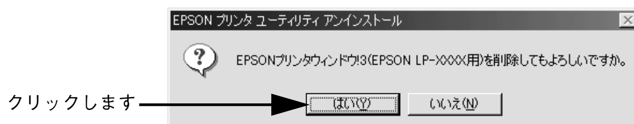




監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ！3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

7 EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

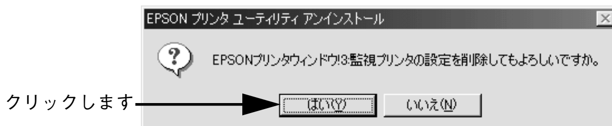
EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-7900/LP-9100 用）の削除が始まります。





ポイント

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。



8 **プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。





ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを [通常使うプリンタ] として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを [通常使うプリンタ] に設定します。メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

9 **終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。**



以上でプリンタドライバとEPSON プリンタウィンドウ !3 の削除(アンインストール)は終了です。



ポイント

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB プリンタデバイスドライバの削除

Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。


ポイント

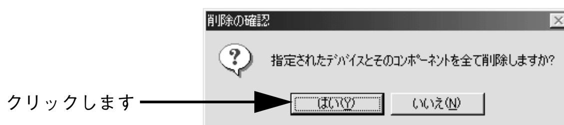
- USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USBプリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

138 ページ手順 4 から続けてください。

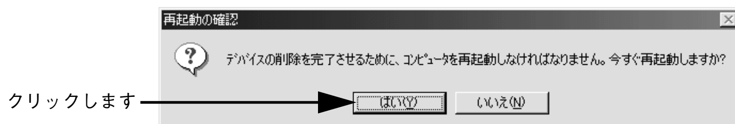
5 ［はい］をクリックします。

USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。



6 ［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。



以上で USB プリンタデバイスドライバの削除は終了です。

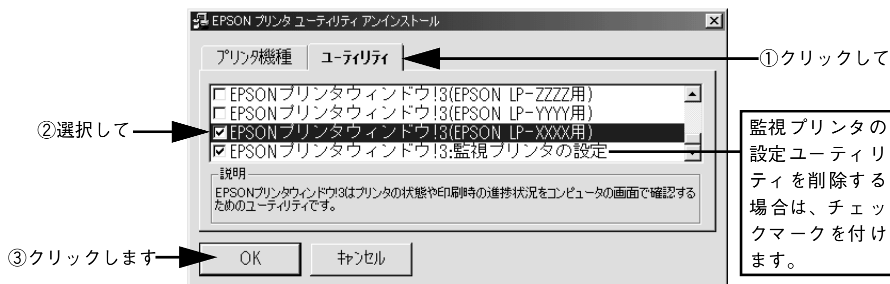
EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。
☞ 138 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。



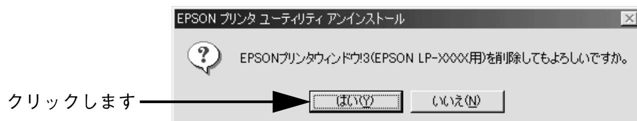
❻ ［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-7900/LP-9100 用）］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。





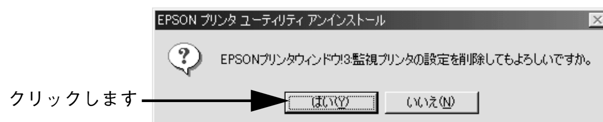
監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ！ 3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。

❼ 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-7900/LP-9100 用）の削除が始まります。





監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。



8 終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



以上で EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-7900/LP-9100 用）の削除（アンインストール）は終了です。



プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ!3 を再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

代替 / 追加ドライバを削除するには

Windows 2000/XP プリントサーバにクライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で代替 / 追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

なお、Windows NT4.0 プリントサーバにインストールされている代替 / 追加ドライバは削除することができません。プリンタドライバ自体を削除しても代替 / 追加ドライバは削除されません。Windows NT4.0 の代替 / 追加プリンタドライバをバージョンアップする場合は、バージョンアップしたプリンタドライバを代替 / 追加ドライバとして再度インストールしてください。上書きインストールされた代替 / 追加ドライバは問題なく動作します。



代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

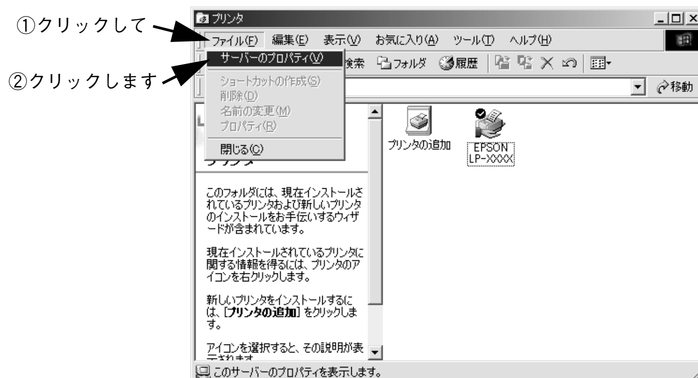
- **Windows 2000 の場合**

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、3 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

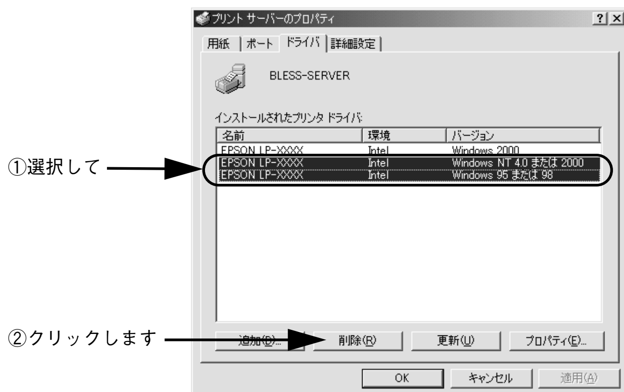
3 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。



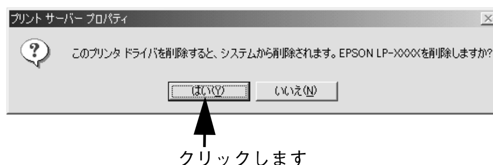
4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタ ドライバ］リストを開きます。



5 削除したい代替/追加ドライバをクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。



6 削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



7 [閉じる] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

以上で代替 / 追加ドライバの削除は終了です。

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Macintosh でお使いの際に関係する情報について説明しています。

設定ダイアログの開き方

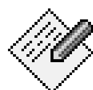
用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。


ポイント

用紙設定をする前に、お使いのプリンタ用のプリンタドライバをセレクタで選択してください。
スタートアップガイド 47 ページ「プリンタドライバの選択」

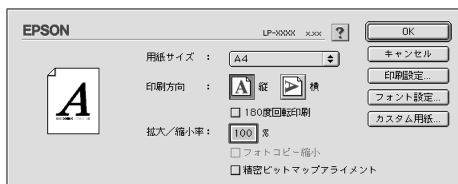
1. ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。



2. ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。







3. 必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
本書 153 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」
本書 156 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

4. ［OK］ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

印刷の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。


ポイント

アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。



2 印刷に必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

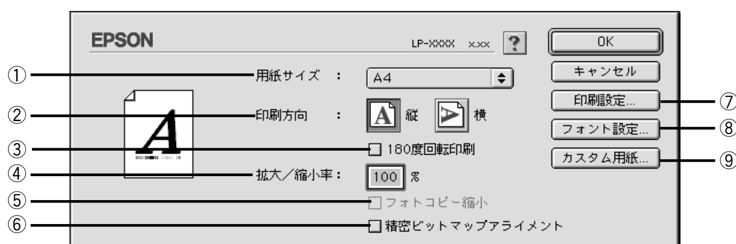
本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

本書 168 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

3 ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。



本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙にフィットページ印刷を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。
本書 168 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、［縦］、［横］のいずれかをクリックして選択します。

③180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% 〜 400% まで、1% 単位で指定できます。

⑤フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合に有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、［フォトコピー縮小］を選択している場合は選択できません。

⑦［印刷設定］ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。
本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

⑧［フォント設定］ボタン

Macintosh のディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントに置き換えるための設定を行います。

本書 153 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」



［印刷モード］が［CRT 優先］で［180 度回転印刷］をする場合は、フォントの置き換えはできません。

⑨［カスタム用紙］ボタン

用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

本書 156 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

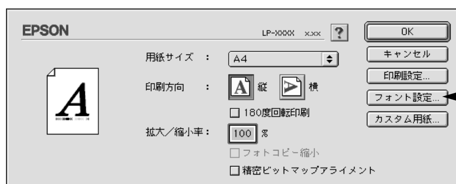
画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには

Macintosh のディスプレイ上で表示されているフォントを、プリンタに内蔵されているフォントに置き換えて印刷するための置き換えフォントの設定を行います。ここで設定した内容は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。プリンタフォントを使用して印刷すると、印刷速度が速くなります。



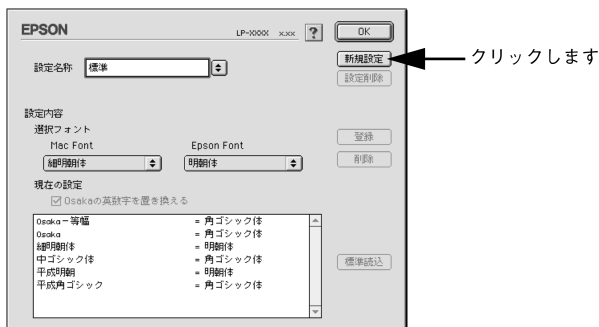
［印刷モード］を［CRT 優先］に設定して［180 度回転印刷］をする場合は、フォントの置き換えはできません。

1 ［用紙設定］ダイアログで［フォント設定］ボタンをクリックします。



2 ［新規設定］ボタンをクリックします。

- すでに登録されている設定を変更する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し **4** へ進みます。
- すでに登録されている設定を削除する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し、［設定削除］ボタンをクリックします。

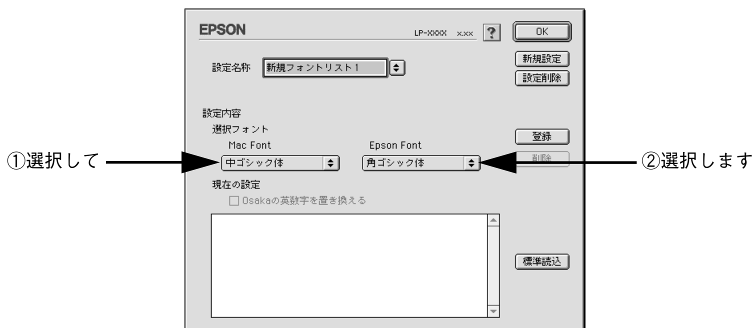


3 ［設定名称］ボックスに、登録名を入力します。



4 **［Mac Font］リストから置き換え対象となるフォントを選択し、［Epson Font］リストから置き換えるプリンタフォントを選択します。**

［標準読込］ボタンをクリックすると、標準で用意している置き換えフォントの設定を読み込むことができます。





ポイント

［標準］以外の置き換えフォント登録では、Osaka フォントに限り漢字フォントと英数字フォントを別々に置き換え設定できます。

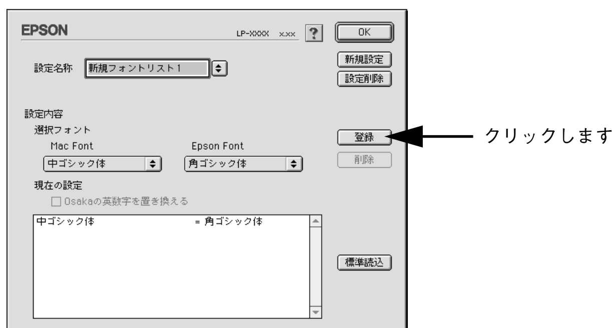
①［Mac Font］リストから Osaka フォントを選択します。

②Osaka の英数フォントを置き換えるには、［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを付けます。Osaka の漢字フォントを置き換えるには、［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを外します。

③［Epson Font］リストから置き換える英数フォントを選択します。

5 **［登録］ボタンをクリックします。**

- ［現在の設定］に登録されます。
- ［現在の設定］に登録された置き換えの設定を削除する場合は、［現在の設定］の一覧から選択し、［削除］ボタンをクリックします。



6 **ほかに置き換えたいフォントがある場合は、4 と 5 を繰り返します。**

7 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で、置き換えフォントの登録が保存されました。



- 保存した置き換え方法を使用する場合は、［設定名称］のポップアップメニューから設定した名称を選択してください。
- 登録したフォント置き換えの設定は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。登録した置き換えフォントの設定は、［詳細設定］ダイアログからも選択できます。

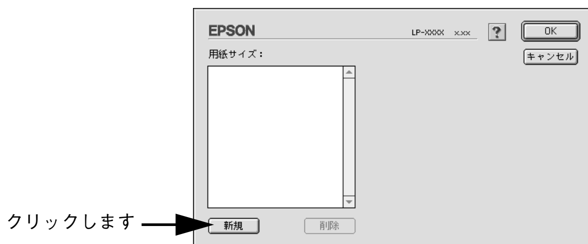
任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として登録することができます。

1 ［用紙設定］ダイアログを開き、［カスタム用紙］ボタンをクリックします。



2 ［新規］ボタンをクリックします。



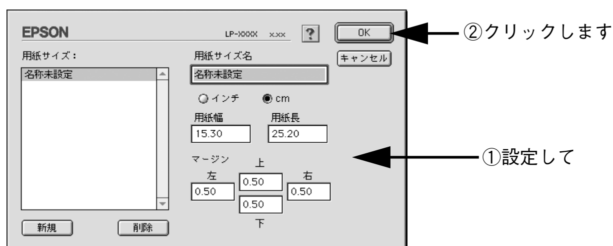


- カスタム用紙サイズは、64 件まで登録できます。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

3 用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

設定できるサイズの範囲は以下の通りです。
用紙幅：8.70 ～ 30.48cm（3.43 ～ 12.00 インチ）
用紙長：10.00 ～ 90.00cm（3.94 ～ 35.43 インチ）
また、使用する給紙装置が MP カセットの場合とオプションの手差しトレイの場合では、設定できる不定形紙の用紙サイズが次のように異なります。

- MP カセットの場合
  用紙幅：8.70 ～ 30.48cm
  用紙長：10.00 ～ 50.80cm
- 手差しトレイの場合
  用紙幅：10.00 ～ 29.70cm
  用紙長：14.80 ～ 90.00cm



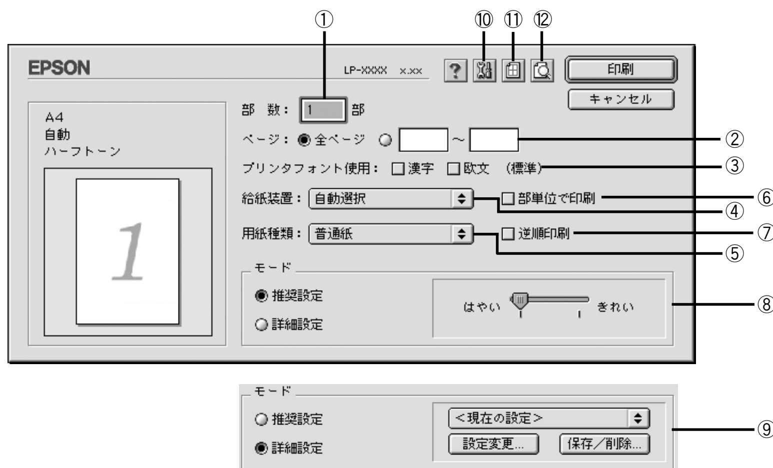
ここで定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。


ポイント

不定形紙への印刷は、いくつか注意していただく点がありますので、以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 39 ページ「不定形紙への印刷」

［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。



①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑥の［部単位で印刷］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを1～9999の範囲で入力します。

③プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

本書153ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

項目	説明
漢字	文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文	文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。


ポイント

- ［印刷モード］を［CRT優先］に設定して［180度回転印刷］をする場合は、フォントの置き換えはできません。
- 登録した置き換えフォントの設定名称は［フォト設定］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで選択し、現在選択されている設置名称が［プリント］ダイアログに表示されます。

④給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］と［用紙種類］の設定に合った用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP カセット / 手差しトレイ（オプション）	MP カセットまたはオプションの手差しトレイから給紙する場合に選択します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセット（1 段目）から給紙する場合に選択します。
用紙カセット 2	オプションの用紙カセット（2 段目）から給紙する場合に選択します。
用紙カセット 3	オプションの用紙カセット（3 段目）から給紙する場合に選択します。



- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラーが発生します（用紙サイズチェック機能有効時）。なお、［用紙サイズのチェックをしない］を有効 / 無効に設定するには、［拡張設定］ダイアログで行います。
  ☞ 本書 166 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  ☞ 本書 168 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑤用紙種類

特殊紙（OHP シート、ラベル紙、厚紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。

☞ 本書 41 ページ「用紙タイプ選択機能」

項目	説明
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。「給紙装置」は［自動選択］に設定されます。
OHP シート、ラベル、厚紙、特厚紙	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］は［MP カセット / 手差しトレイ（オプション）］に設定されます。厚紙の場合は、使用する紙厚によって設定は以下のように異なります。 • 厚紙：紙厚 91 ～ 157g/m² の場合 • 特厚紙：紙厚 158 ～ 216g/m² の場合
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。



- 操作パネルの［キュウシソウチメニュー］で用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
  ☞ 本書 216 ページ「キュウシソウチメニュー」
- 用紙サイズをハガキ、往復ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑥部単位で印刷

2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。



アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［部単位で印刷］で設定してください。

⑦逆順印刷

最後のページから逆に印刷します。

⑧推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷する場合にクリックします。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。

はやい / きれい：

［推奨設定］を選択している場合は、印刷品質（解像度）を［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

項目	説明
はやい	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。



印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。

⑨詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、詳細設定メニューと［設定変更］/［保存 / 削除］ボタンが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	［保存 / 削除］ボタンで保存した設定を選択できます。
［設定変更］ボタン	クリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。 本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］ボタン	クリックすると、［プリント］ダイアログで設定した内容を保存または削除するためのダイアログが表示されます。［ユーザー設定名］を入力して、［登録］ボタンをクリックしてください。 EPSON / LP-XXXX x.xx / ? / 登録 / ユーザー設定 / ユーザー設定名 / 私の設定 / キャンセル / 削除 / ①入力して / ②クリックします 保存した設定を変更または削除できます。 • 設定を変更する場合は、最初に［プリント］ダイアログで設定を変更してから変更の対象となる設定名を［ユーザー設定］リストから選択し、［変更］ボタンをクリックしてください。 • 設定を削除する場合は、削除する設定名を［ユーザー設定］リストから選択して［削除］ボタンをクリックしてください。 ②クリックします（変更時） / EPSON / LP-XXXX x.xx / ? / 変更 / ユーザー設定 / ユーザー設定名 / 私の設定 / 私の設定 / キャンセル / 削除 / ①選択して / ②クリックします（削除時）

⑩ （［拡張設定］アイコン）

印刷位置のオフセット値、印刷濃度、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行うときにクリックします。

本書 166 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

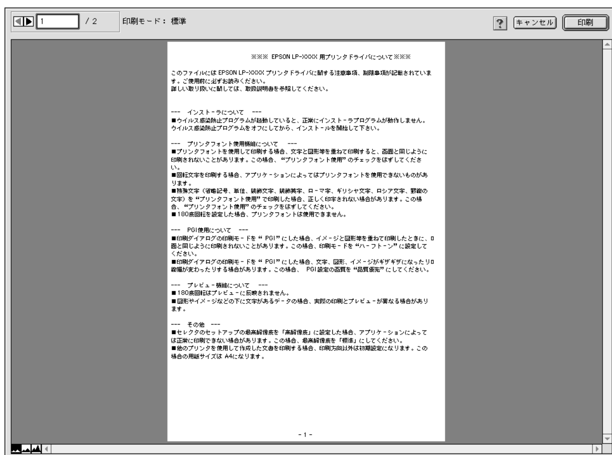
⑪ （［レイアウト］アイコン）

レイアウトに関する設定ができます。

本書 168 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑫ （［プレビュー］アイコン）

アイコンをクリックすると［印刷］ボタンが［プレビュー］ボタンに変わります。［プレビュー］ボタンをクリックすると、［プレビュー］ダイアログが表示されて印刷結果をモニタ上で確認できます。



※※※ EPSON LP-XXXX 用プリンタドライバについて ※※※

このファイルには EPSON LP-XXXX プリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
詳しい取り扱いに関しては、取扱説明書を参照してください。

--- インストーラについて ---
■ウイルス感染防止プログラムが起動していると、正常にインストーラプログラムが動作しません。ウイルス感染防止プログラムをオフにしてから、インストールを開始して下さい。

--- プリンタフォント使用機能について ---
■プリンタフォントを使用して印刷する場合、文字と図形等を重ねて印刷すると、画面と同じように印刷されないことがあります。この場合、“プリンタフォント使用”のチェックをはずしてください。
■回転文字を印刷する場合、アプリケーションによってはプリンタフォントを使用できないものがあります。
■特殊文字（省略記号、単位、装飾文字、装飾英字、ローマ字、ギリシャ文字、ロシア文字、罫線の文字）を“プリンタフォント使用”で印刷した場合、正しく印字されない場合があります。この場合、“プリンタフォント使用”のチェックをはずしてください。
■180度回転を設定した場合、プリンタフォントは使用できません。

--- PGI使用について ---
■印刷ダイアログの印刷モードを“ PGI”にした場合、イメージと図形等を重ねて印刷したときに、画面と同じように印刷されないことがあります。この場合、印刷モードを“ハーフトーン”に設定してください。
■印刷ダイアログの印刷モードを“ PGI”にした場合、文字、図形、イメージがギザギザになったり線幅が変わったりする場合があります。この場合、 PGI設定の画質を“品質優先”にしてください。

--- プレビュー機能について ---
■180度回転はプレビューに反映されません。
■図形やイメージなどの下に文字があるデータの場合、実際の印刷とプレビューが異なる場合があります。

--- その他 ---
■セレクタのセットアップの最高解像度を「高解像度」に設定した場合、アプリケーションによっては正常に印刷できない場合があります。この場合、最高解像度を「標準」にしてください。
■他のプリンタを使用して作成した文書を印刷する場合、印刷方向以外は初期設定になります。この場合の用紙サイズは A4になります。

- 1 -

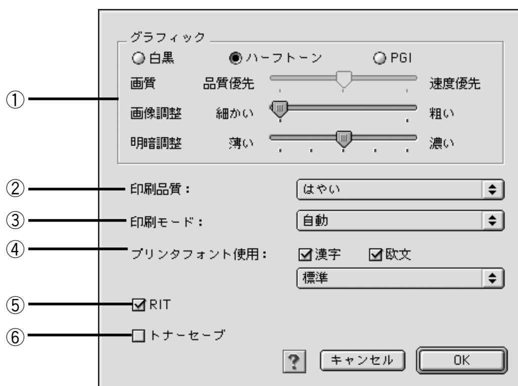

ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。
- ［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［自動］を選択している場合は、［標準］/［CRT 優先］のどちらで印刷されているかが表示されます。

ボタン	機能
◀▶	表示するページを 1 ページごとに切り替えます。
1 ／2	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	［プレビュー］ダイアログを閉じます。
印刷	印刷を開始します。
	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	印刷データを拡大して表示します。

[詳細設定]ダイアログ

[プリント]ダイアログの[モード]で[詳細設定]をクリックして[設定変更]ボタンをクリックすると、[詳細設定]ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。



①グラフィック

グラフィックスイメージを処理する方法を選択します。

項目	説明
白黒	モノクロ印刷を行います。グレースケールや中間色は再現しません。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI*1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を PGI 処理してきれいに印刷できます。

*1 PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。



ポイント

- プリンタのメモリが少ないと、[PGI]で印刷できない場合があります。[PGI]処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質]を[はやい](300dpi)に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[PGI]を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は[PGI]以外の設定にして印刷してください。

画質：

[PGI]を選択したときのみ、[画質]を 3 段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は[速度優先]に、印刷品質を上げたい場合は[品質優先]に設定します。

画像調整：

[ハーフトーン]または[PGI]選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 2 段階に調整できます。[細かい]側にスライドするとより細かく、[粗い]側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

明暗調整：

［ハーフトーン］または［PGI］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［薄い］側にスライドするとより明るく、［濃い］側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。5 段階に調整できます。

②印刷品質

印刷品質を［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。



印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。

③印刷モード

印刷モードを選択します。

項目	説明
自動	［標準］と［CRT 優先］を自動的に選択して印刷処理を行います。
標準	印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。
CRT 優先	すべてのデータをイメージとして印刷します。グラフィックと文字を重ね合わせて正常に印刷できない場合に選択してください。



［CRT 優先］を選択して［180 度回転印刷］をする場合、フォントの置き換えはできません。

④プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。登録してある置き換えフォントの設定は、リストから選択できます。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

本書 153 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

項目	説明
漢字	文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文	文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。


ポイント

［印刷モード］を［CRT 優先］を設定して［180 度回転印刷］する場合、フォントの置き換えはできません。

⑤ RIT

RIT*1（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の輪郭補正機能です。


ポイント

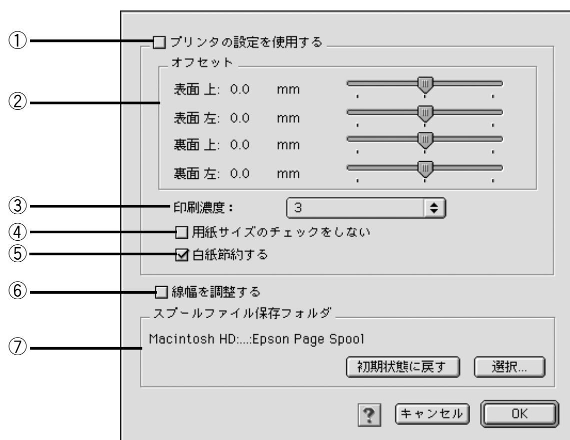
RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に階調が変化する画像）を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

⑥ トナーセーブ

印刷濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。



①プリンタの設定を使用する

以下の②［オフセット］、③［印刷濃度］、④［用紙サイズのチェックをしない］、⑤［白紙節約する］は、プリンタ本体とプリンタドライバどちらの設定を優先するかを選択できます。

- チェックマークを付けると、プリンタ本体の設定を優先します（プリンタドライバでは設定できません）。
- チェックマークを外すと、ここ（プリンタドライバ）での設定を優先します（プリンタ本体の設定を無視します）。

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）
左（水平位置）：-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

③印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

④用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

⑤白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

⑥線幅を調整する

図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

⑦スプールファイル保存フォルダ

印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

ボタン	機能
［選択］	［拡張設定］ダイアログで［選択］ボタンをクリックしてフォルダの選択ダイアログを表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］ボタンをクリックします。 ①選択して ②クリックします
［初期状態に戻す］	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻します。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定ができます。



①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小する機能です。

本書 170 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」



- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

③スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

本書 172 ページ「スタンプマークを印刷するには」

④割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

本書 177 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

⑤両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択でき、両面印刷を行います。

本書 179 ページ「両面印刷をするには」



MP カセット / 用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。また、オプションの手差しトレイにセットした用紙のサイズを正しく設定してください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。

⑥ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

EPSON　LP-XXXX　x.xx

ヘッダー／フッター設定

左上	中央上	右上
ユーザー名	（なし）	日付

左下	中央下	右下
コンピュータ名	（なし）	部番号

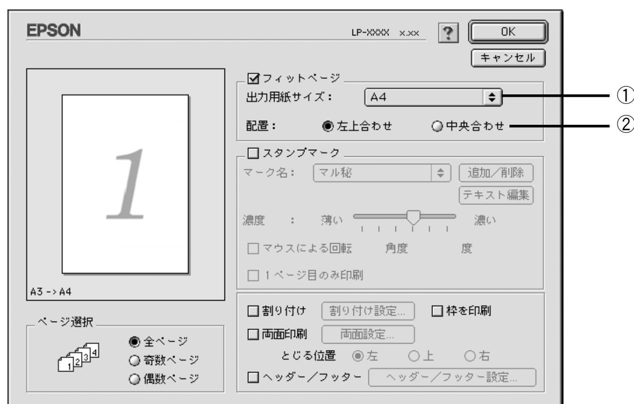
? キャンセル OK

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号 *）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

* ［部番号］が選択されると、プリンタドライバによる部単位印刷が行われます。

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のフィットページ機能を使います。フィットページとは、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを拡大 / 縮小する機能のことです。［フィットページ］をチェックし、印刷する用紙のサイズを選択してから印刷を実行します。



① 出力用紙サイズ

［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズを、ここで指定した用紙サイズに拡大または縮小して印刷します。

② 配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。



ポイント

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。**
この場合［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。



3. **［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のスタンプマーク機能を使います。



①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (PICT*1 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

本書 174 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］ボタンをクリックすると、登録時と同じダイアログが表示されて、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥マウスによる回転 / 角度

テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてチェックマークを付け、プレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］ボックスに回転角度を直接入力します。

⑦1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。この項目が選択されていない場合は、すべてのページにスタンプマークが印刷されます。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。



2 ［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

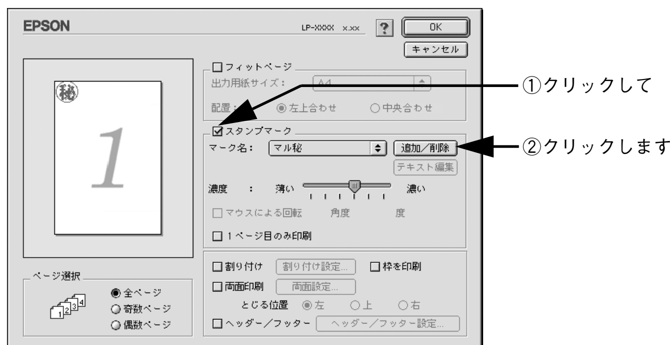
すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。



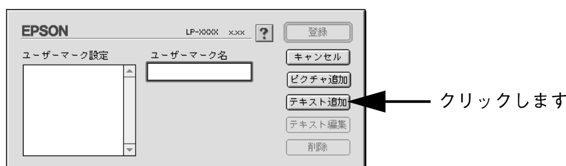
- オリジナルスタンプマークは 32 件まで登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

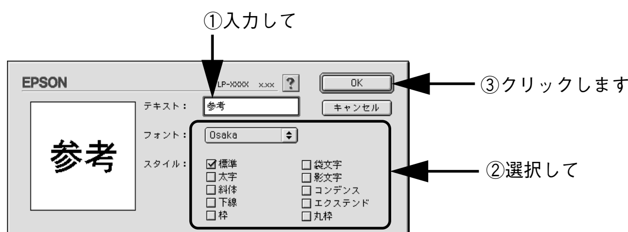
1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。



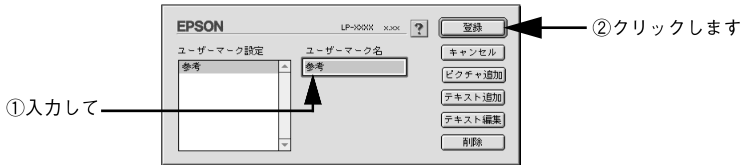
2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。



3. ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。



4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。



これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。


ポイント

- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］ボタンをクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。



3 ［ピクチャ追加］ボタンをクリックします。



4 ❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

［作成］ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。



5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。



これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。


ポイント

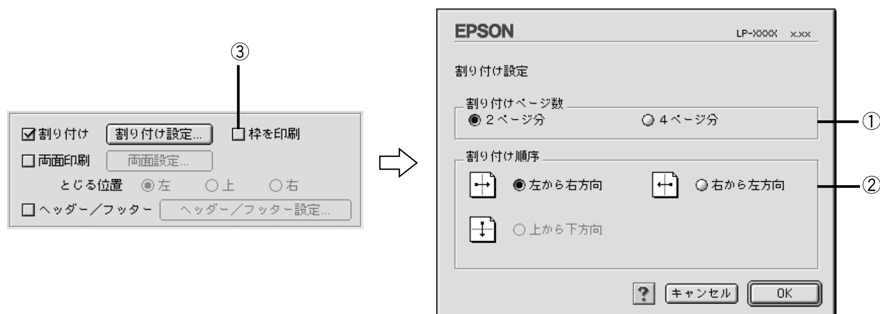
登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックしてチェックマークを付け、［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。



①割り付けページ数

1 ページに割り付けるページ数を選択します。

②順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

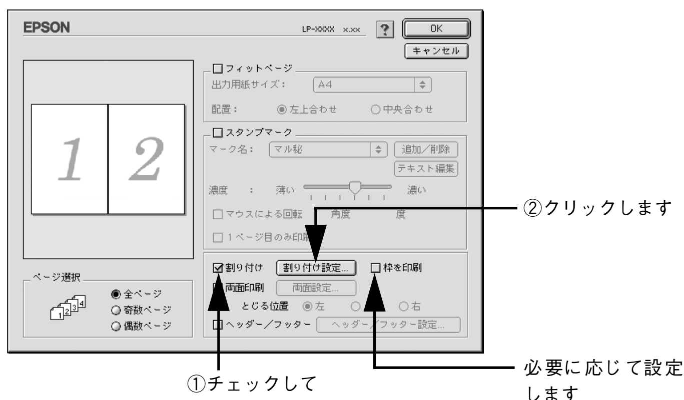
③枠を印刷

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときにチェックマークを付けます。

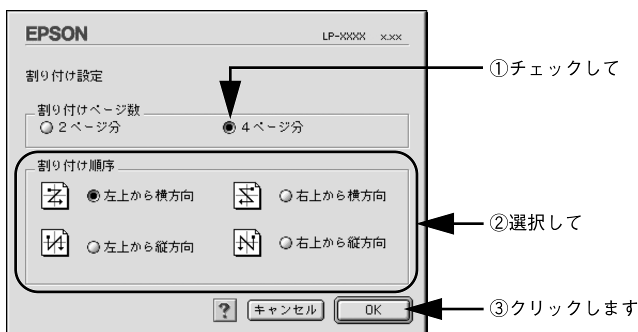
割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。



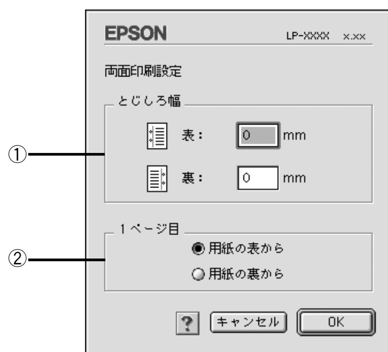
2 ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。



3 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］をクリックしてチェックマークを付け、［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され以下の項目が設定できます。





オプションの両面印刷ユニット装着時のみ、両面印刷が可能です。

①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅を、用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

②1ページ目

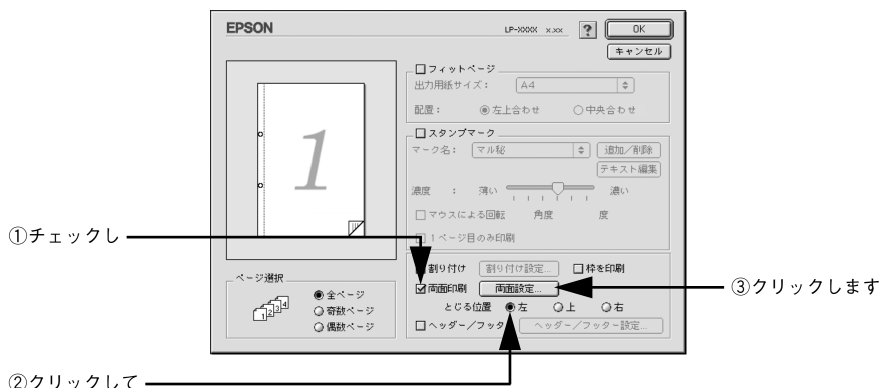
両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

両面印刷の手順

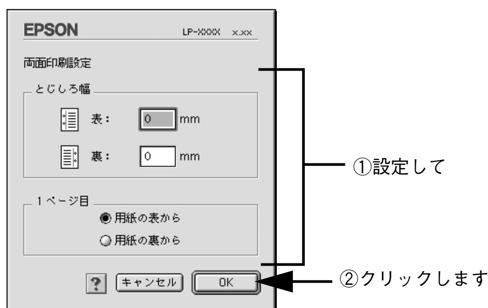
A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。



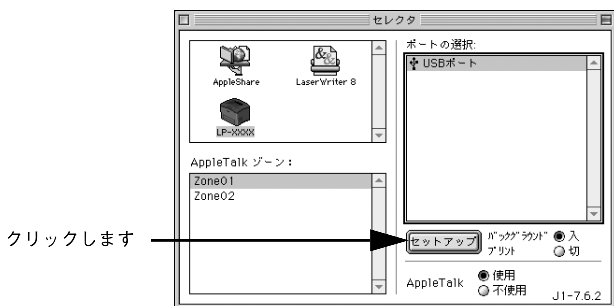
3 ［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。



4 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

［プリンタセットアップ］ダイアログ

［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。アップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。
☞ スタートアップガイド 47 ページ「プリンタドライバの選択」

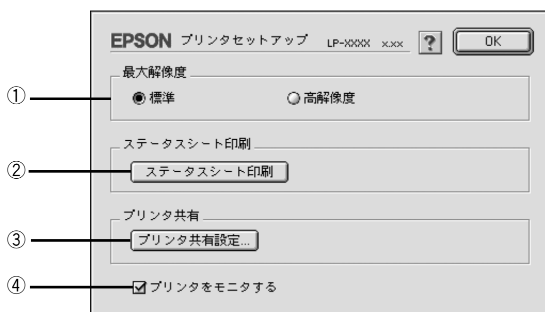


本機はネットワーク上で共有することができます。共有を許可する Macintosh 側と共有プリンタを使用する側の Macintosh で、表示されるダイアログが以下のように異なります。

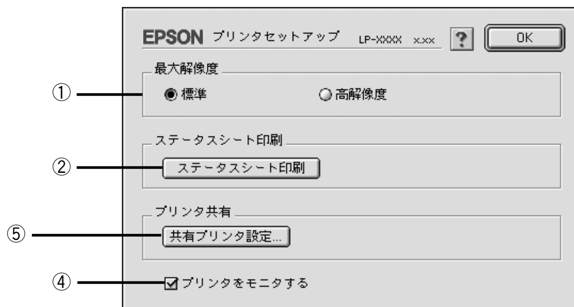

ポイント

Macintosh でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。
☞本書 184 ページ「Macintosh でプリンタを共有するには」

共有を許可する側の Macintosh



共有プリンタを使用する側の Macintosh



① 最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を72dpi/300dpi/600dpiとしてアプリケーションソフト側に伝えます。



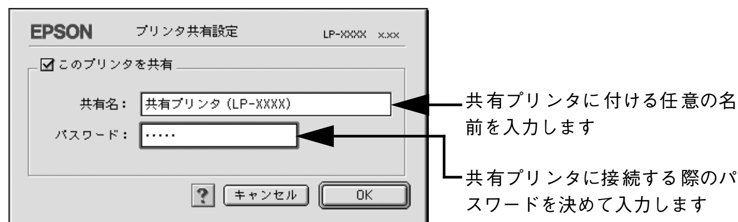
- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。
- ［プリント］ダイアログで［きれい］（600dpi）に設定して印刷するとエラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。

②［ステータスシート印刷］ボタン

ステータスシートを印刷します。

③［プリンタ共有設定］ボタン

ネットワーク環境で本機を複数のMacintoshで共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］ボタンをクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させせます。ネットワーク上のほかのMacintoshのセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。



④プリンタをモニタする

共有プリンタを利用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSONプリンタウィンドウ!3でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

⑤［共有プリンタ設定］ボタン

ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］ボタンをクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する以下の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

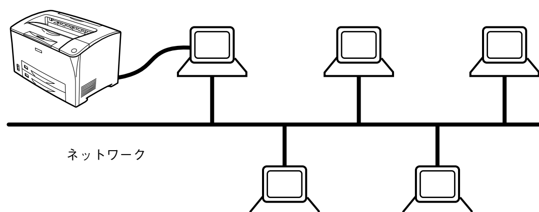




リストに表示されているフォントで文書を作成した場合、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

Macintosh でプリンタを共有するには

プリンタを直接接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかの Macintosh から共有することができます。





ポイント

プリンタに装着したオプションのインターフェイスカードを介してネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどの Macintosh からでも直接セレクタからプリンタを選択して印刷することができます。

スタートアップガイド 47 ページ「プリンタドライバの選択」

プリンタを共有するには

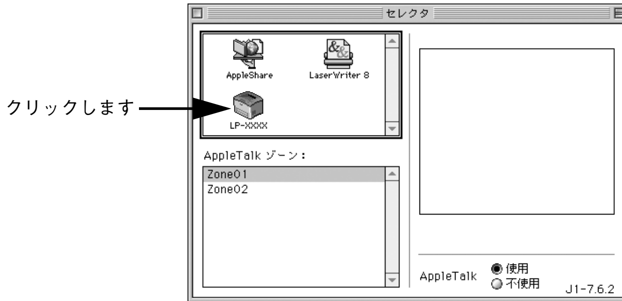
ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Macintosh で以下の設定を行ってください。

1. プリンタの電源をオン (I) にします。

2. アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。



③ プリンタドライバ［LP-7900/LP-9100］を選択します。





QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
スタートアップガイド 45 ページ「システム条件の確認」

④ USB ポートを選択します。

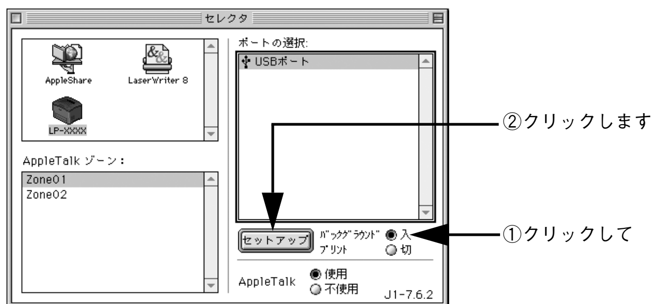
同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。





USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］を［入］設定して、［セットアップ］ボタンをクリックします。



- ［バックグラウンドプリント］については、以下のページを参照してください。
  本書 198 ページ「バックグラウンドプリントを行う」
- ［セットアップ］ボタンをクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。
  本書 181 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」


ポイント

プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。



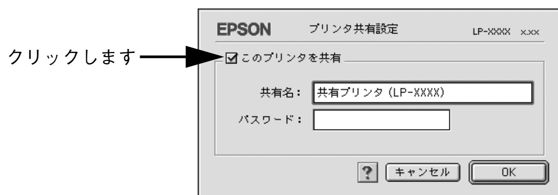
共有プリンタの設定がオンになっているプリンタがあるため、LP-XXXXはバックグラウンド設定を「切」にできません。
全てのプリンタの共有設定をオフにしてから再度バックグラウンド設定を「切」にしてください。

OK

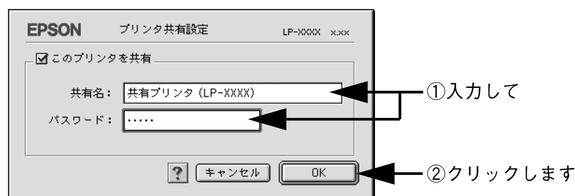
6 ［プリンタ共有設定］ボタンをクリックします。



7 ［このプリンタを共有］をクリックしてチェックマークを付けます。



8 ［共有名］と［パスワード］を入力して、［OK］ボタンをクリックします。





- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、以下のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXX)」を作成しています。しばらくお待ちください。

9 ［OK］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

共有プリンタを使用するには

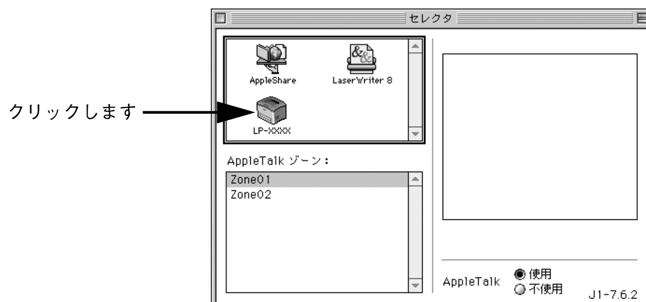
ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーの Macintosh から以下の手順に従って共有プリンタに接続してください。

1. ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン（I）になっていることを確認します。

2. アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。



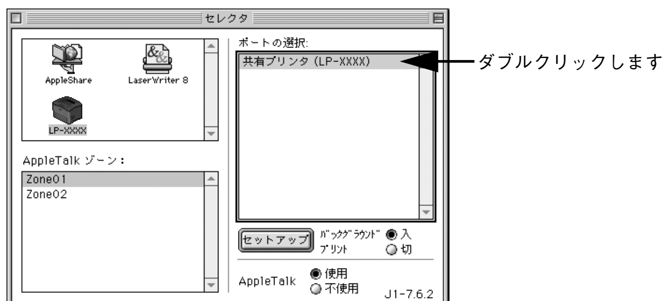
3. プリンタドライバ［LP-7900/LP-9100］を選択します。





QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
スタートアップガイド 45 ページ「システム条件の確認」

4 共有プリンタをダブルクリックして選択します。

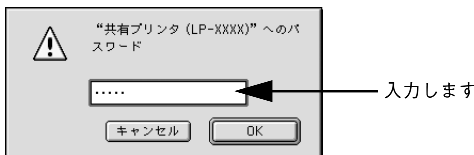


- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、5 へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、6 へ進んでください。



- 共有プリンタの名前は、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。
- 共有プリンタの名前が表示されない場合や、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- 共有プリンタのパスワードが変更されていない場合は、［セットアップ］ボタンを押すと［プリンタセットアップ］ダイアログが表示されます。6 へ進んでください。

5 共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。

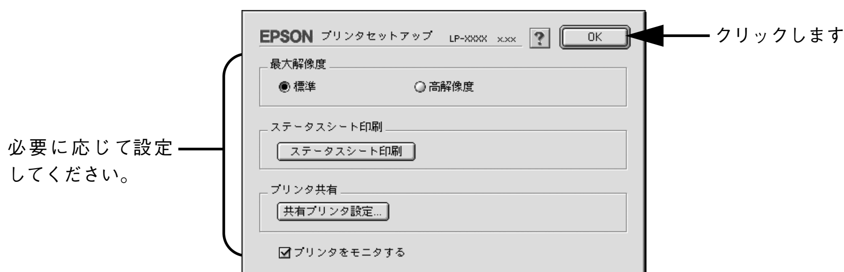




共有プリンタのパスワードは、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。

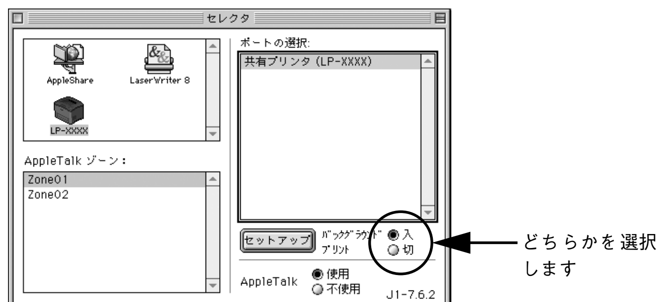
6 ［プリンタセットアップ］ダイアログで必要な設定を行ってから、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

☞ 本書 181 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」



7 ［バックグラウンドプリント］を設定します。

☞ 本書 198 ページ「バックグラウンドプリントを行う」





ポイント

［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

8 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

以上で共有プリンタへの接続が終了しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

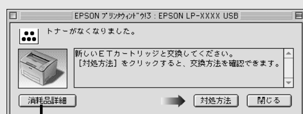
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

プリンタエラーを表示します

ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時や消耗品残量が少なくなったときなどのプリンタの状態を表示します。



[プリンタ詳細] ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

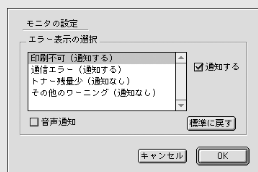
[アップル] メニューの EPSON プリンタウィンドウ !3 から [プリンタ詳細] ウィンドウを開くことができます。



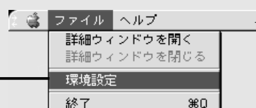
動作環境を設定するには

[モニタの設定] ダイアログ

どのような場合にエラー表示するかなどを設定できます。



[ファイル] メニューの [環境設定] から [モニタの設定] ダイアログを開くことができます。



ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下の条件でネットワーク接続されている必要があります。

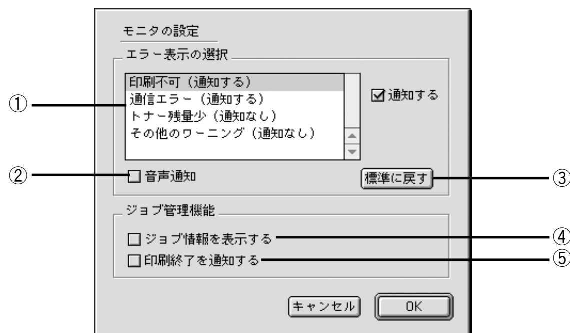
- Open Transport Ver. 1.1.1 以上


ポイント

Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 のモニタ機能を設定します。



①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを、画面通知するかどうかを選択します。リスト内のエラー状況を選択して［通知する］チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。


ポイント

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に、［プリンタ詳細］ウィンドウにジョブ情報を表示します。

本書 195 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

⑤印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合に、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

本書 196 ページ「[印刷終了通知] ダイアログ」



ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、[ジョブ情報を表示する] と [印刷終了を通知する] が表示されます。

本書 192 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で [プリンタ詳細] ウィンドウを開くことができます。この [プリンタ詳細] ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も [プリンタ詳細] ウィンドウを表示することが可能です。

本書 194 ページ「[プリンタ詳細] ウィンドウ」



EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが [セレクタ] で選択されているか確認してください。

[プリンタ詳細] ウィンドウの起動方法

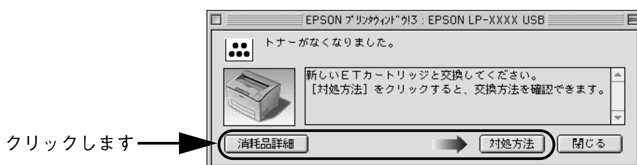
[アップル] メニューから [EPSON プリンタウィンドウ !3] をクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、[プリンタ詳細] ウィンドウが表示されます。





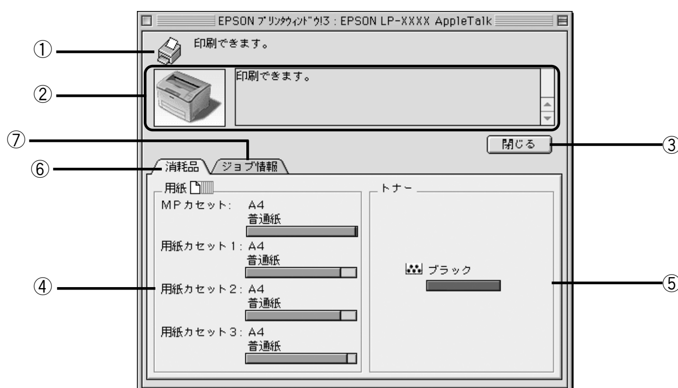
アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- [消耗品詳細] ボタンをクリックすると [プリンタ詳細] ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して [対処方法] ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。



［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 197 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤トナー残量

ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑥消耗品

ジョブ管理ができる場合に［プリンタ詳細］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

⑦ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

本書 195 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」


ポイント

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。

本書 192 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリントジョブ情報を表示します。



①ジョブ情報

ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示します。

②消耗品

［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。

本書 194 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名


ポイント

プリンタを直接（ローカル）接続したコンピュータから印刷されたジョブは表示されません。

④［情報の更新］ボタン

最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

⑤［印刷中止］ボタン

印刷を中止するには、ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックします。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。



印刷中止を実行した後でエラーが発生した場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージに従ってエラーを解除してください。
本書 197 ページ「対処が必要な場合は」

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。
本書 192 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」



① 印刷終了通知

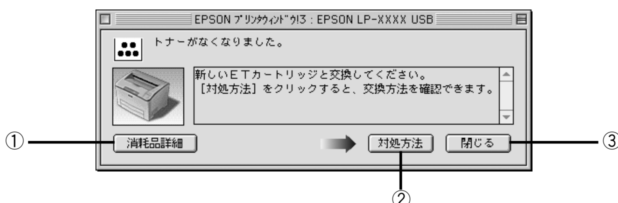
印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

②［閉じる］ボタン

ダイアログを閉じます。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。



ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①［消耗品詳細］ボタン

クリックすると、［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

☞ 本書 194 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

③［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、Macintosh がほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。バックグラウンドプリントを行う場合は、Macintosh ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。





- ［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も Macintosh で他の作業ができますが、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。
- プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

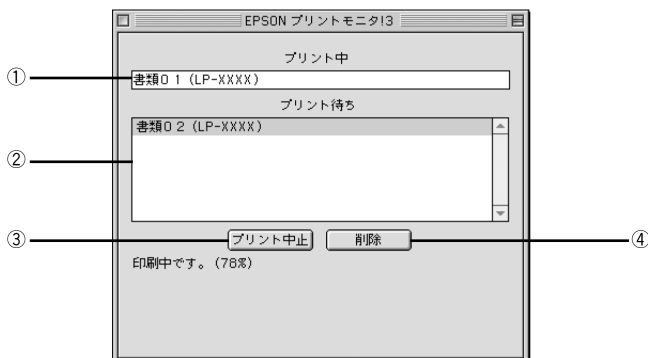


共有プリンタの設定がオンになっているプリンタがあるため、LP-XXXXはバックグラウンド設定を「切」にできません。
全てのプリンタの共有設定をオフにしてから再度バックグラウンド設定を「切」にしてください。

OK

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が使用できます。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。



①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。



印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

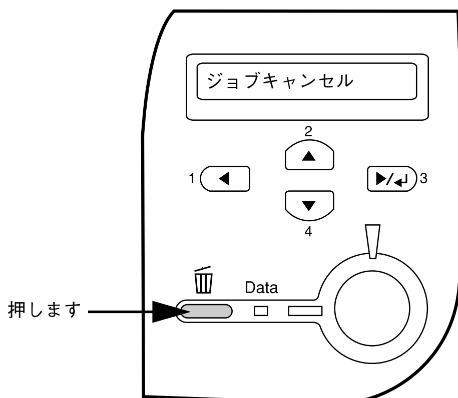
④［削除］ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

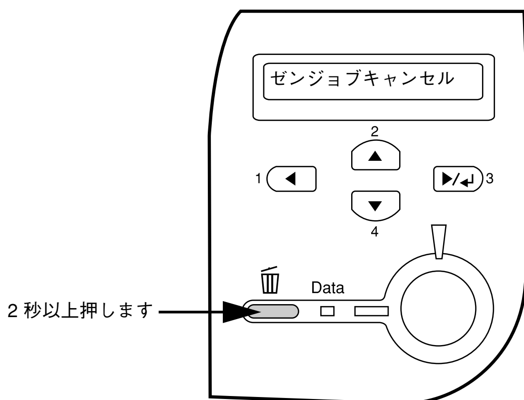
印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下の方法でプリンタ上の印刷データを削除します。

● 印刷中のデータ（ジョブ単位）を削除する場合は、プリンタの［ジョブキャンセル］スイッチを押します。



● すべての印刷データを削除するには、［ジョブキャンセル］スイッチを 2 秒以上押し続けます。プリンタが受信したすべての印刷データが消去され、データランプが消灯します。



コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

- **コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。**
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

- **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 から印刷を中止します。**

① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。
☞ 本書 199 ページ「印刷状況を表示する」
② EPSONプリントモニタ!3で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。
印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

プリンタソフトウェアの削除方法

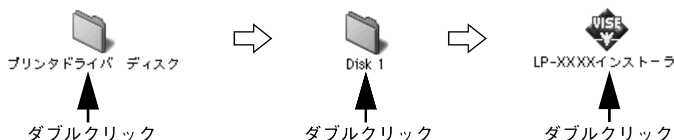
プリンタソフトウェアを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタソフトウェア（プリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ!3）を削除（アンインストール）する必要があります。

1 **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。**

2 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。**

3 **EPSONプリンタソフトウェアCD-ROM内の[プリンタドライバ　ディスク]ー[Disk 1］の順に開き、［LP-7900/LP-9100 インストーラ］をダブルクリックします。**

［プリンタドライバ　ディスク］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。



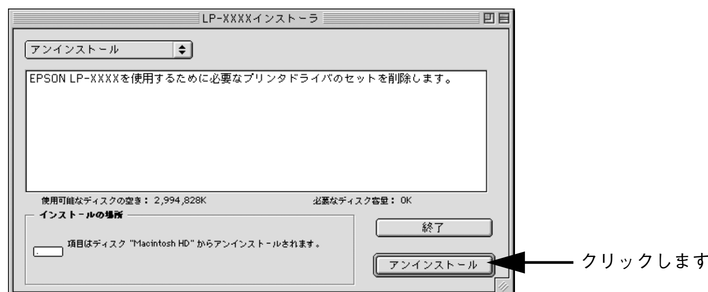
4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

5 **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**



6 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

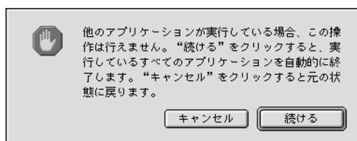
プリンタソフトウェアの削除が始まります。



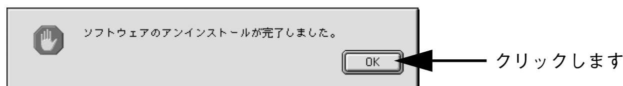


ポイント

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。



7 ［OK］ボタンをクリックします。



8 ［終了］ボタンをクリックします。



以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

操作パネルからの設定

操作パネルから設定する場合の説明と、メッセージの内容やスイッチ操作によって実行できる機能について説明しています。

操作パネルによる設定

ここでは、操作パネルでの設定変更の方法と設定モードの詳細について説明します。

通常の印刷に必要な設定はプリンタドライバで実行できますので、基本的に操作パネルで設定する必要はありません（ただし DOS は除く）。また、操作パネルとプリンタドライバの双方で設定できる項目は、基本的にプリンタドライバの設定が優先されます。ただし一部の設定項目については、どちらの設定を優先するかをプリンタドライバ上で選択することができます。
☞ Windows：本書 77 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 166 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

設定項目の内容をご覧いただき、必要な場合に操作パネルでの設定を行ってください。ただし以下の項目については通常の印刷であっても設定が必要です。

- オプションの手差しトレイに用紙をセットした場合
  →セットした用紙のサイズを設定してください。
  ☞ 本書 216 ページ「キュウシソウチメニュー」


ポイント

長尺紙、不定形紙の場合は設定する必要はありません。

- 用紙タイプの選択機能を使用する場合
  →各給紙装置に用紙タイプを設定してください。
  ☞ 本書 216 ページ「キュウシソウチメニュー」
  ☞ 本書 41 ページ「用紙タイプ選択機能」

下記のメニューはプリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
プリンタジョウホウメニュー	トナーザンリョウ ノベインサツマイスウ
キュウシソウチメニュー	カセット 1 ヨウシサイズ カセット 2 ヨウシサイズ * カセット 3 ヨウシサイズ *

* の付いている設定項目は、オプション装着時のみ表示されます。


ポイント

上記以外の設定項目でも、情報を表示・印刷したり、機能を実行する設定項目には、変更する設定値はありません。

操作手順の概要

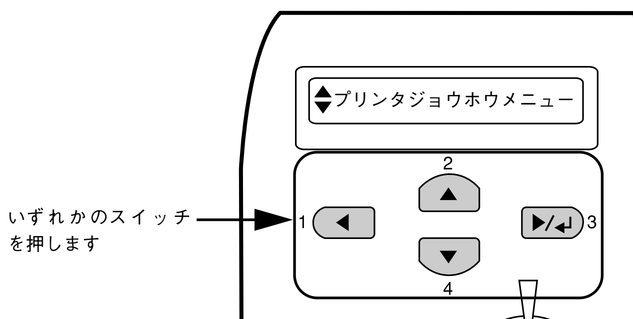
操作パネルでプリンタの設定を変更する場合は、ディスプレイに［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されている状態から、次の手順で操作してください。

1 以下のページを参照して、変更または実行したい設定メニュー、設定項目、設定値を確認します。

本書210ページ「設定項目の説明」

2 ディスプレイ下のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、ディスプレイには［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。

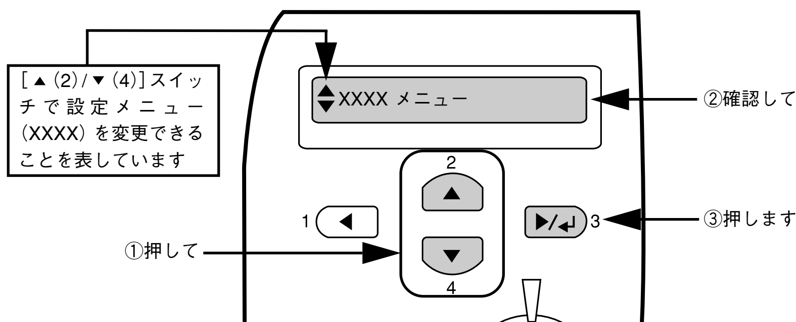


3 設定メニューを選択します。

①［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して設定メニュー（XXXX）の表示を切り替えます。

② 1 で確認した設定メニューが表示されていることを確認します。

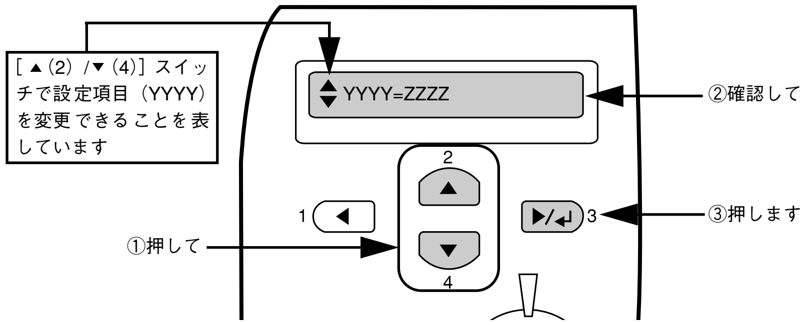
③［▶/↵(3)］スイッチを押します。



4 次の手順（設定項目の階層）へ進みます。

5 設定項目を選択します。

① [▲(2)] または [▼(4)] スイッチを押して設定項目（YYYY）の表示を切り替えます。
② 1 で確認した設定項目が表示されていることを確認します。
③ [▶/↵(3)] スイッチを押します。なお、設定値を表示するだけの設定項目や設定値のない設定項目もあります。



- ディスプレイに設定項目（YYYY）と設定値（ZZZZ）を表示している場合は、次の 5（設定値の階層）へ進んでください。

YYYY=ZZZZ

- ディスプレイに設定値を表示するだけの設定項目[カセット 1〜3 ヨウシサイズ]を選択した場合は、6 へ進んでください。

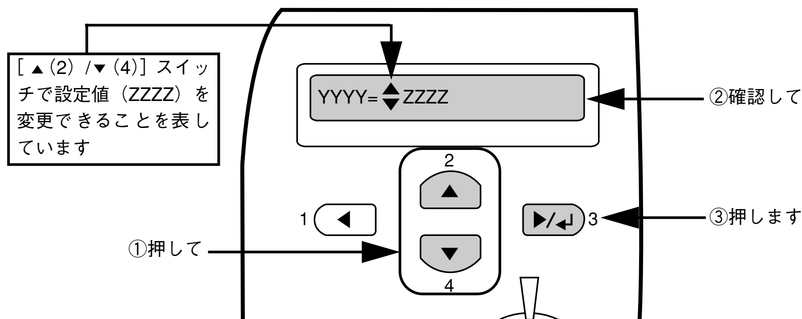
<例> カセット1 ヨウシサイズ =A4

- ディスプレイに設定項目（YYYY）だけを表示している場合は、設定項目（YYYY）の機能が実行されます。ここで操作は終了です。機能実行後に、設定モードを抜けて通常の操作モードへ自動的に戻ります。

YYYY

6 **設定値を選択します。**

①［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して設定値（ZZZZ）の表示を切り替えます。
② **1** で確認した設定値が表示されていることを確認します。
③［▶/↵(3)］スイッチを押します。



設定値が有効となり、設定項目の階層へ戻ります。


ポイント

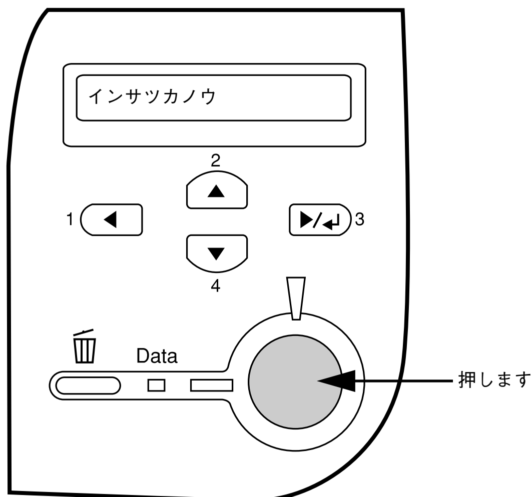
- ［▶/↵(3)］スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。
- 一部の設定は、プリンタの電源を一旦オフにして、再度オンにしてから有効になります。詳細は、以下のページを参照してください。
本書 210 ページ「設定項目の説明」

7 **さらに設定を変更する場合は、ここまでと同様のスイッチ操作を行います。**

- ほかの設定メニューへ移動する場合は、［◀(1)］スイッチを 1 回押します。
- 設定を終了する場合は、次の **8** へ進みます。

8 **［印刷可］スイッチを押して、設定モードから抜け出します。**

- ［印刷可］スイッチを押すと、どの階層からも直接操作モードへ戻ることができます。
- ［◂（1）］スイッチを押すと各階層からは順番に前の階層へ戻りますので、最後に通常の操作モードへ戻ることができます。



設定モードが終了し、［インサツカノウ］または［セツデン］状態に戻ります。

設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定モードで変更できる設定メニュー、設定項目、および設定値について説明します。


ポイント

- 以下の一覧表で設定値の欄に「－」と記載している設定項目には、変更する設定値がありません。[▶/↵ (3)] スイッチを押すと、各項目の設定を表示・印刷したり、機能を実行します。
- プリンタに装着していないオプション用の設定は表示されません。

　　　　で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。

設定メニュー	設定項目	設定値	参照ページ
プリンタジョウホウメニュー	ステータスシート *1	－	215
	I/F カードジョウホウ *2	－	215
	PS3 ステータスシート *3	－	215
	PS3 フォントリスト *3	－	215
	ROM モジュールA ジョウホウ *4	－	215
	トナーザンリョウ	－	215
	ノベインサツマイスウ	－	215
キュウシソウチメニュー	MP ヨウシサイズ	ジドウ*5（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ *5、W ハガキ（官製往復ハガキ）、Q ハガキ（官製四面連刷ハガキ）、LT（Letter）、HLT（Half-Letter）*5、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、ヨウ0*5、ヨウ 4*5、チョウ 3、カク 2	216
	カセット 1 ヨウシサイズ	－*6	216
	カセット 2 ヨウシサイズ *7	－*6	216
	カセット 3 ヨウシサイズ *7	－*6	216
	MP タイプ	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ、OHP シート、ラベル	216
	カセット 1 タイプ	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ	216
	カセット 2 タイプ *7	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ	216
	カセット 3 タイプ *7	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ	216

設定メニュー	設定項目	設定値	参照ページ
プリンタモードメニュー	パラレル	ジドウ（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page、PS3*3	217
	USB	ジドウ（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page、PS3*3	217
	I/F カード *2	ジドウ（初期設定）、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page、PS3*3	217
インサツメニュー	ページサイズ	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、W ハガキ（官製往復ハガキ）、Q ハガキ（官製四面連刷ハガキ）、LT（Letter）、HLT（Half-Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、ヨウ 0、ヨウ 4、チョウ 3、カク 2	218
	ヨウシホウコウ	タテ（初期設定）、ヨコ	218
	カイゾウド	キレイ（初期設定）、ハヤイ	218
	RIT	ON（初期設定）、OFF	218
	トナーセーブ	シナイ（初期設定）、スル	218
	インサツノウドレベル	1 ～ 5（初期設定 3）	218
	シュクショウ	OFF（初期設定）、80%	218
	イメージホセイ	1（初期設定）、2	219
	ウエオフセット	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）	219
	ヒダリオフセット	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）	219
	ウエオフセット B*8	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）	219
	ヒダリオフセット B*8	-30.0 ～ 30.0mm（初期設定 0mm）	219

設定メニュー	設定項目	設定値	参照ページ
プリンタセッテイメニュー	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ（初期設定）、English	221
	セツデンジカン	5 フン（初期設定）、15 フン、30 プン、60 プン、120 プン	221
	I/F タイムアウト	20 ～ 600 ビョウ（初期設定 60 ビョウ）	221
	キュウシグチ	ジドウ（初期設定）、MP、カセット 1、カセット 2*7、カセット 3*7	221
	MP ユウセン	スル（初期設定）、シナイ	222
	コピーマイスウ	1 ～ 999（初期設定 1）	222
	リョウメンインサツ *8	OFF（初期設定）、ON	222
	トジホウコウ *8	ロングエッジ（初期設定）、ショートエッジ	222
	カミシュ	フツウ（初期設定）、アツガミ、トクアツガミ、OHP シート	222
	ハクシセツヤク	スル（初期設定）、シナイ	223
	ジドウハイシ	スル（初期設定）、シナイ	223
	ヨウシサイズフリー	OFF（初期設定）、ON	223
	ジドウエラーカイジョ	シナイ（初期設定）、スル	223
	ページエラーカイヒ	OFF（初期設定）、ON	223
	トナーコウカンエラーヒョウジ	シナイ（初期設定）、スル	224
	LCD コントラスト	1 ～ 15（初期設定 7）	224
リセットメニュー	ワーニングクリア	―	225
	オールワーニングクリア	―	225
	リセット	―	225
	リセットオール	―	225
	セッテイショキカ	―	225
パラレル I/F セッテイメニュー	パラレル I/F*9	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ	226
	ACK ハバ *9	ミジカイ（初期設定）、ヒョウジュン	226
	ソウホウコウ *9	ECP（初期設定）、OFF、ニブル	226
	ジュシンバッファ *9	ヒョウジュン（初期設定）、サイダイ、サイショウ	226
USB I/F セッテイメニュー	USB I/F*9	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ	227
	ジュシンバッファ *9	ヒョウジュン（初期設定）、サイダイ、サイショウ	227

設定メニュー	設定項目	設定値	参照ページ
I/F カードセッテイメニュー*2	I/F カード *9	ツカウ（初期設定）、ツカワナイ	228
	I/F カードセッテイ *10	シナイ（初期設定）、スル	228
	IP アドレスセッテイ *11	パネル（初期設定）、ジドウ、PING	228
	IP Byte 1*11	0 〜 255（初期設定 192）	228
	IP Byte 2*11	0 〜 255（初期設定 168）	228
	IP Byte 3*11	0 〜 255（初期設定 192）	228
	IP Byte 4*11	0 〜 255（初期設定 168）	228
	SM Byte 1*11	0 〜 255（初期設定：255）	229
	SM Byte 2*11	0 〜 255（初期設定：255）	229
	SM Byte 3*11	0 〜 255（初期設定：255）	229
	SM Byte 4*11	0 〜 255（初期設定：0）	229
	GW Byte 1*11	0 〜 255（初期設定255）	229
	GW Byte 2*11	0 〜 255（初期設定255）	229
	GW Byte 3*11	0 〜 255（初期設定255）	229
	GW Byte 4*11	0 〜 255（初期設定255）	229
	NetWare*11	ON（初期設定）、OFF	229
	AppleTalk*11	ON（初期設定）、OFF	229
	NetBEUI*11	ON（初期設定）、OFF	229
	I/F カードショキカ *11	ー	229
	ジュシンバッファ *9	ヒョウジュン（初期設定）、サイダイ、サイショウ	229
ESC/PS カンキョウメニュー	レンゾクシ	OFF（初期設定）、F15 → B4 ヨコ、F15→ A4 ヨコ、F10 → A4 タテ	230
	モジコード	カタカナ（初期設定）、グラフィック	230
	キュウシイチ	8.5mm（初期設定）、22mm	230
	カッコクモジ	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	230
	ゼロ	0（初期設定）、Ø	230
	ヨウシイチ	ヒダリ（初期設定）、チュウオウ、チュウオウ -5、チュウオウ +5	231
	ミギマージン	ヨウシハバ（初期設定）、136 ケタ	231
	カンジショタイ	ミンチョウ（初期設定）、ゴシック	231

設定メニュー	設定項目	設定値	参照ページ
ESC/Page カンキョウメニュー	フッキカイギョウ	スル（初期設定）、シナイ	232
	カイページ	スル（初期設定）、シナイ	232
	CR	CR ノミ（初期設定）、CR+LF	232
	LF	CR+LF（初期設定）、LF ノミ	232
	FF	CR+FF（初期設定）、FF ノミ	232
	エラーコード	OFF（初期設定）、ON	232
	フォントタイプ	1（初期設定）、2、3	232
	フォームオーバーレイ *4	OFF（初期設定）、ON	233
	フォームバンゴウ *4	1（初期設定）～512	233
PS3 カンキョウメニュー *3	PS3 エラーシート	OFF（初期設定）、ON	234
	IMAGE PROTECT	OFF（初期設定）、ON	234

*1 プリンタドライバからも印刷可能です。

*2 オプションのインターフェイスカードを装着した場合のみ表示されます。

*3 LP-9100 にオプションの PostScript3 モジュールを装着した場合のみ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。

*4 LP-9100 にオプションの ROM モジュール（ROM モジュール情報あり）を装着した場合のみ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。

*5 標準の MP カセットを取り外してオプションの手差しトレイを装着している場合は、[ジドウ]、[ハガキ]、[HLT]、[ヨウ 0]、[ヨウ 4]は表示されません。表示されない設定が選択されていた場合は、[A4]となります。

*6 プリンタが自動検知した用紙サイズが設定値として表示されます（表示のみで変更できません）。

*7 オプションのユニバーサルカセットユニット装着時のみ表示されます。

*8 オプションの両面印刷ユニット装着時のみ表示されます。

*9 設定を変更した場合は、プリンタの電源を一旦オフにして、再度オンにする必要があります（電源再投入後に、設定が有効となります）。

*10 設定が可能なインターフェイスカードの装着時のみ表示されます。

*11 ［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定しすると、設定が表示されて変更できるようになります。ただし、［IP アドレスセッテイ］が［ジドウ］のときは表示されません。

プリンタジョウホウメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵（3）］スイッチを押して実行します。

設定項目	I/F カードジョウホウ	オプションのインターフェイスカードを装着したときだけ表示されます。オプションインターフェイスカードに関する情報を印刷します。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵（3）］スイッチを押して実行します。

設定項目	PS3ステータスシート	LP-9100 にオプションの PostScript ROM モジュールを装着したときだけ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。PostScript3 プリンタとして使用する場合の、現在の設定一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵（3）］スイッチを押して実行します。

設定項目	PS3フォントリスト	LP-9100 にオプションの PostScript ROM モジュールを装着したときだけ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。PostScript3 プリンタとして利用できるフォントのリストを印刷します。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵（3）］スイッチを押して実行します。

設定項目	ROM モジュール A ジョウホウ	LP-9100 にオプションの ROM モジュールを装着したときだけ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。オプション ROM モジュールに関する情報を印刷します。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵（3）］スイッチを押して実行します。

設定項目	トナーザンリョウ	ET カートリッジ内のトナーの残量を表示します。 〈表示〉 E＊＊＊＊ F： 100%≧ トナー残量＞ 75% E＊＊＊ F： 75%≧ トナー残量＞ 50% E＊＊ F： 50%≧ トナー残量＞ 25% E＊ F： 25%≧ トナー残量＞ 0% E F： トナー残量＝ 0%
設定値	ー	表示のみで変更はできません。 ［印刷可 ］スイッチを押して終了します。

設定項目	ノベインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数をディスプレイに表示します。
設定値	ー	表示のみで変更はできません。 ［印刷可］スイッチを押して終了します。

キュウシソウチメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	MP ヨウシサイズ	MP カセットまたはオプションの手差しトレイにセットした用紙サイズを設定します。
設定値	ジドウ *（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ *（官製ハガキ）、W ハガキ（官製往復ハガキ）、Q ハガキ（官製四面連刷ハガキ）、LT（Letter）、HLT*（Half Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、ヨウ 0*、ヨウ 4*、チョウ3、カク2 * 標準のMP カセットを取り外してオプションの手差しトレイを装着している場合は、[ジドウ]、[ハガキ]、[HLT]、[ヨウ 0]、[ヨウ 4] は表示されません（手差しトレイは用紙サイズを自動検知しません。また、官製往復ハガキと官製四面連刷ハガキは給紙できますが、官製ハガキは給紙できません）。表示されない設定が選択されていた場合は、[A4] となります。	

設定項目	カセット 1 ヨウシサイズ	カセット 1（標準の用紙カセット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します。
設定値	ー	A4、A3、A5、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）のいずれかを表示するのみで変更できません。[印刷可] スイッチを押して終了します。

設定項目	カセット 2 ヨウシサイズ カセット 3 ヨウシサイズ	オプションのユニバーサルカセットユニット装着時のみ、用紙カセット（上から2〜3段目）にセットした用紙サイズを表示します。
設定値	ー	A4、A3、A5、B4、B5、LT（Letter）、LGL（Legal）のいずれかを表示するのみで変更できません。[印刷可] スイッチを押して終了します。

設定項目	MP タイプ	標準の MP カセットまたはオプションの手差しトレイにセットした用紙のタイプ（種類）を設定します。給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定してください。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ、OHP シート、ラベル	

設定項目	カセット 1 タイプ	標準の用紙カセット（1 段目）にセットした用紙のタイプ（種類）を設定します。給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定してください。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ	

設定項目	カセット 2 タイプ カセット 3 タイプ	オプションのユニバーサルカセットユニット装着時のみ表示され、用紙カセット（上から2〜3 段目）にセットした用紙タイプを設定します。給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定してください。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ	

プリンタモードメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル	プリンタが動作するモードをインターフェイスごとに設定します。ただし、[I/F カード] はオプションのインターフェイスカードを装着した場合にのみ表示されます。
	USB	
	I/F カード	
設定値	ジドウ（初期設定）	受信したデータに合わせて、自動的にプリンタモードを設定します。通常はこの設定で使用してください。
	ESC/PS	ESC/P スーパーモードになります。DOS アプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド（コントロールコード）がESC/P であるか、PC-PR201H であるかを自動判別します。ほとんどの DOS アプリケーションソフトでは、ESC/Page モードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P（VP-1000）エミュレーションモードになります。海外版 DOS アプリケーションソフトを使用する場合や、国内版 DOS アプリケーションソフトで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Page モードになります。通常は設定する必要がありません。
	PS3	LP-9100 にオプションの PostScript ROM モジュールを装着したときだけ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。PostScript3 プリンタとしてのみ使用する場合に設定します。

インサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ページサイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
設定値	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、W ハガキ（官製往復ハガキ）、Q ハガキ（官製四面連刷ハガキ）、LT（Letter）、HLT（Half-Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、ヨウ 0、ヨウ 4、チョウ3、カク2	

設定項目	ヨウシホウコウ	用紙方向を選択します。
設定値	タテ（初期設定）	用紙の長辺を縦方向として印刷し、印刷結果が縦長になります。（ポートレート）
	ヨコ	用紙の長辺を横方向として印刷し、印刷結果が横長になります。（ランドスケープ）

設定項目	カイゾウド	印刷の解像度の選択をします。
設定値	キレイ（初期設定）	600dpi で印刷します。
	ハヤイ	300dpi で印刷します。

ポイント

［カイゾウド］を［キレイ］（600dpi）にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリ不足で印刷ができないことがあります。このときは、［ハヤイ］（300dpi）で印刷してください。［キレイ］（600dpi）で印刷するためには、プリンタのメモリを増設する必要があります。

設定項目	RIT	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能（Resolution Improvement Technology）を設定します。
設定値	ON（初期設定）	輪郭を補正します。
	OFF	輪郭を補正しません。

設定項目	トナーセーブ	トナーの消費量を削減します。トナーセーブを行うと、文字の輪郭内の黒ベタ領域をハーフトーンにし、輪郭部分（右、下）にエッジを付加します。
設定値	シナイ（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	スル	トナー使用量を約 50%削減します。

設定項目	インサツノウドレベル	印刷濃度を調整します。
設定値	1～5（初期設定：3）	印刷濃度は、1（薄い）から 5（濃い）までの5段階で調整します。

設定項目	シュクショウ	印刷データを約 80% に縮小して印刷します。
設定値	OFF（初期設定）	100% 原寸のまま印刷します。
	80%	80% 縮小して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	イメージホセイ	イメージデータの補正方式を選択します。
設定値	1（初期設定）	標準の補正方式です。通常はこの設定で使用してください。
	2	• ESC/P または ESC/PS モードのとき： 罫線が正しく印刷されないときに設定します。 • ESC/Page モードのとき： 本機に対応していないドライバを使用していて、グラフィックに問題があるときに設定します。

設定項目	ウエオフセット	用紙の上端に対して、印刷開始位置の上下オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（上方向）から 30.0mm（下方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

設定項目	ヒダリオフセット	用紙の左端に対して、印刷開始位置の左右オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（左方向）から 30.0mm（右方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

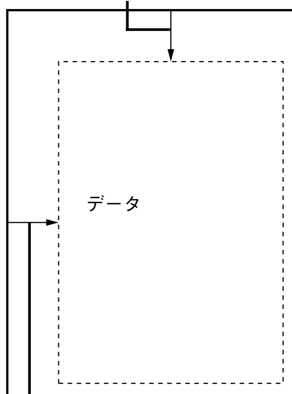
設定項目	ウエオフセットB	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。用紙裏面の上端に対して、印刷開始位置の上下オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（上方向）から 30.0mm（下方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

設定項目	ヒダリオフセットB	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。用紙裏面の左端に対して、印刷開始位置の左右オフセット値を設定します。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （初期設定：0mm）	オフセット値を -30.0mm（左方向）から 30.0mm（右方向）まで 0.5mm 単位で設定します。

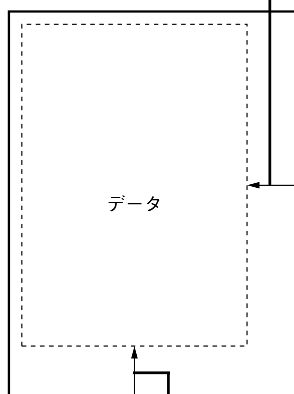


- オフセット値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。
- オフセット値を0mm以外に設定した場合、印刷領域からはみ出した一部印刷データが印刷されないことがあります。
- 上下左右のオフセット量は、以下のように設定します。

例 1）



例 2）



プリンタセッテイメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヒョウジゲンゴ	ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ（初期設定）	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。

設定項目	セツデンジカン	頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。
設定値	5 フン（初期設定）	節電状態になるまでの時間を 5 分に設定します。
	15 フン	節電状態になるまでの時間を 15 分に設定します。
	30 プン	節電状態になるまでの時間を 30 分に設定します。
	60 プン	節電状態になるまでの時間を 60 分に設定します。
	120 プン	節電状態になるまでの時間を 120 分に設定します。

設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 〜 600 ビョウ （初期設定 60 ビョウ）	1 秒単位で設定できます。

設定項目	キュウシグチ	給紙方法を選択します。
設定値	ジドウ（初期設定）	印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に探し、その給紙装置から給紙します。
	MP	標準の MP カセットまたはオプションの手差しトレイから給紙します。
	カセット 1	標準の用紙カセット 1 から給紙します。
	カセット 2	オプションのユニバーサルカセットユニットを装着している場合に表示され、2 段目の用紙カセット 2 から給紙します。
	カセット 3	オプションのユニバーサルカセットユニットを装着している場合に表示され、3 段目の用紙カセット 3 から給紙します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	MP ユウセン	［給紙装置］の設定が［自動選択］、かつ MP カセットまたはオプションの手差しトレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、MP カセット / 手差しトレイからの給紙を優先するかどうかを設定できます。
設定値	スル（初期設定）	MP カセットまたはオプションの手差しトレイからの給紙を優先します。
	シナイ	用紙カセットからの給紙を優先します。

設定項目	コピーマイスウ	コピー印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷した後、次ページのデータを印刷します。
設定値	1～999（初期設定：1）	設定した枚数分コピーして印刷します。

設定項目	リョウメンインサツ	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。両面印刷ユニットを使用するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	両面印刷ユニットを使用しません。
	ON	両面印刷ユニットを使用します。


ポイント

地球資源の有効活用のため、両面印刷ユニットを装着した場合は［ON］で使用されることを推奨します。

設定項目	トジホウコウ	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。とじしろは、［デバイスメニュー］の各オフセットで設定します。
設定値	ロングエッジ（初期設定）	用紙の長辺側を綴じる位置にします。
	ショートエッジ	用紙の短辺側を綴じる位置にします。

設定項目	カミシュ	紙の種類を選択します。
設定値	フツウ（初期設定）	普通紙、再生紙などを使用するときに選択します。
	アツガミ	厚紙（紙厚 91 ～ 157g/m²）を使用する場合に選択します。なお、用紙サイズをハガキ（［ハガキ］、［W ハガキ］、［Q ハガキ］）または封筒（［ヨウ 0］、［ヨウ 4］、［チョウ 3］、［カク 2］）にした場合は、自動的に厚紙対応モードに切り替わります（表示は変わりません）。
	トクアツガミ	特厚紙（紙厚 158 ～ 216g/m²）を使用する場合に選択します。なお、オプションの両面印刷ユニット装着時は選択しないでください（両面印刷ユニットで特厚紙は使用できません）。
	OHP シート	OHP シートを使用するときに選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ハクシセツヤク	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH 等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	スル（初期設定）	白紙ページを印刷しません。
	シナイ	そのまま白紙ページを印刷（排紙）します。

設定項目	ジドウハイシ	印刷データによっては最後に排紙コマンドを送らない場合があります。そのような場合に、プリンタ内に残ったデータを自動的に印刷して排紙できます。
設定値	スル（初期設定）	［キョウツウメニュー］の［I/F タイムアウト］で設定した時間経過後、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
	シナイ	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

設定項目	ヨウシサイズフリー	［ヨウシコウカン xxxxx yyyy］と［ヨウシサイズエラー］のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	上記 2つのエラー状態を検出した場合、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。
	ON	上記 2 つのエラーメッセージを表示しません。

設定項目	ジドウエラーカイジョ	［ページエラーオーバーラン］、［ヨウシコウカン xxxxx yyyy］、［メモリオーバー　メモリガタリマセン］のエラーが発生した場合、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	上記のエラーが発生した場合、エラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。
	スル	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約 5 秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

設定項目	ページエラーカイヒ	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷時間が長くなりますので、通常は［OFF］に設定し、ページエラーが発生するときだけ［ON］に設定します。
設定値	OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
	ON	ページエラー回避機能を使用します。


ポイント

［ページエラーカイヒ］を［ON］にすると、［メモリオーバー　メモリガタリマセン］エラーも回避できる場合があります。なお、［ON］にしても［メモリオーバー メモリガタリマセン］エラーが発生した場合は、メモリを増設してください（［ジュシンバッファ］の設定を［サイショウ］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	トナーコウカンエラーヒョウジ	ET カートリッジのトナーがなくなったときに、エラーメッセージを表示するかしないかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	トナー交換エラーを表示しません。
	スル	トナー交換エラーを表示します。

設定項目	LCD コントラスト	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。
設定値	0 ～ 15 （初期設定 7）	0 ～ 15 のレベル範囲内で設定できます。

リセットメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ワーニングクリア	操作パネルの液晶ディスプレイに表示されているワーニングメッセージを消します。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵(3)］スイッチを押して実行します。

設定項目	オールワーニングクリア	発生しているすべてのワーニングメッセージを操作パネルの液晶ディスプレイから消します。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵(3)］スイッチを押して実行します。

設定項目	リセット	プリンタをリセットします。ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたときに行ってください。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵(3)］スイッチを押して実行します。

設定項目	リセットオール	プリンタをリセットオールします。電源をオン（｜）にした直後の状態までプリンタを初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵(3)］スイッチを押して実行します。

設定項目	セッテイショキカ	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定は除く *）をすべて初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵(3)］スイッチを押して実行します。

* インターフェイスの設定を含めたすべてのパネル設定値を初期化するには、［ジョブキャンセル］スイッチを押したままプリンタの電源をオンにします。

パラレル I/F セッテイメニュー

パラレルインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル I/F	パラレルインターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	パラレルインターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	パラレルインターフェイスを使用しません。

設定項目	ACK ハバ	パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。
設定値	ミジカイ（初期設定）	約 1μS に設定します。
	ヒョウジュン	約 10μS に設定します。

設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。
設定値	ECP（初期設定）	双方向通信について、ECP モードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。
	ニブル	双方向通信について、ニブルモードに対応します。



- ［ニブル］と［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
- ［ECP］で使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。
- コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は［ニブル］に設定してください。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

USB I/F セッテイメニュー

USB インターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	USB I/F	USB インターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	USB インターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	USB インターフェイスを使用しません。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

I/F カードセッテイメニュー

本機に装着したオプションのインターフェイスカードに対する設定項目です。装着したインターフェイスによって設定できる項目は異なります（設定する必要のない項目は表示されません）。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F カード	オプションのインターフェイスカードを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	オプションのインターフェイスカードを使用します。
	ツカワナイ	オプションのインターフェイスカードを使用しません。

設定項目	I/F カードセッテイ	装着しているインターフェイスカードの設定を、操作パネルで行うか、行わないかを選択します。
設定値	シナイ（初期設定）	ネットワークの設定項目は設定できなくなります。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的に［シナイ］に設定されて不用意に設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	パネル（初期設定）	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワーク上にあるDHCP サーバからIP アドレスを自動取得します。取得した IP アドレスはプリンタに記憶されないため、プリンタのリセットまたは電源のオフの後、起動のたびにネットワークから取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。


ポイント

- 操作パネルからの IP アドレスの設定方法は、以下のページを参考にしてください。
  本書 235 ページ「IP アドレスを操作パネルから設定するには」
- ARPコマンド /PINGコマンドからの IP アドレスの設定方法については、オプションのネットワーク I/F カードの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	IP Byte 1	TCP/IP のIP アドレスを0 から255 の範囲で設定します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
	IP Byte 2	
	IP Byte 3	
	IP Byte 4	
設定値	0 ～255 （初期設定：192.168.192.168）	IP Byte 1 から IP Byte 4 を任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	SM Byte 1	TCP/IP の Subnet Mask を 0 から 255 の範囲で設定します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
	SM Byte 2	
	SM Byte 3	
	SM Byte 4	
設定値	0 ～ 255 （初期設定：255.255.255.0）	SM Byte 1 から SM Byte 4 を任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	GW Byte 1	TCP/IP の Gateway アドレスを、0 から 255 の範囲で設定します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
	GW Byte 2	
	GW Byte 3	
	GW Byte 4	
設定値	0 ～ 255 （初期設定：255.255.255.255）	GW Byte 1 から GW Byte 4 を任意の値に設定します。設定値はネットワーク管理者にお尋ねください。

設定項目	NetWare	インターフェイスカードを装着したプリンタが NetWare 環境で使用できるかどうかを選択します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	NetWare 環境で使用できます。
	OFF	NetWare 環境で使用できません。

設定項目	AppleTalk	インターフェイスカードを装着したプリンタが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	AppleTalk ネットワークで使用できません。

設定項目	NetBEUI	インターフェイスカードを装着したプリンタが NetBEUI を使用できるかどうかを選択します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に設定できます。
設定値	ON（初期設定）	NetBEUI を使用できます。
	OFF	NetBEUI を使用できません。

設定項目	I/F カードショキカ	インターフェイスカードの設定を初期化します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に実行できます。
設定値	ー	設定値はありませんので［▶/↵（3）］スイッチを押して実行します。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

ESC/PS カンキョウメニュー

ESC/PS または ESC/P モードに対する設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	レンゾクシ	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	縮小しません。
	F15→ B4 ヨコ	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙へのデータを B4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F15→ A4 ヨコ	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙へのデータを A4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F10→ A4 タテ	254 × 279.4mm（10 × 11 インチ）の連続紙へのデータを A4 縦長の用紙に縮小して印刷します。

設定項目	モジコード	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コードを切り替えます。コード表については、別売のリファレンスマニュアルを参照してください。
設定値	カタカナ（初期設定）	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

設定項目	キュウシイチ	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 用紙の印刷開始位置を選択します。
設定値	8.5mm（初期設定）	8.5mm にします。
	22mm	22mm にします。

設定項目	カッコクモジ	• ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
設定値	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	

設定項目	ゼロ	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
設定値	0（初期設定）	「0」を選択します。
	Ø	「Ø」を選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヨウシイチ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 横方向の印字範囲（136桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定でPC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、「チュウオウ」を選択してください。 なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
設定値	ヒダリ（初期設定）	左合わせに設定します。
	チュウオウ	中央合わせに設定します。
	チュウオウ-5	中央合わせで、オフセット量を-5mmにします。
	チュウオウ+5	中央合わせで、オフセット量を+5mmにします。

設定項目	ミギマージン	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 右マージンを選択します。
設定値	ヨウシハバ（初期設定）	使用する用紙の印刷可能領域いっぱいにします。
	136ケタ	用紙サイズに関係なく136桁（13.6インチ）にします。136桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。

設定項目	カンジショタイ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 漢字に使用する書体を選択します。
設定値	ミンチョウ（初期設定）	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。

ESC/Page カンキョウメニュー

ESC/Page モードに対する設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フッキカイギョウ	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動復帰改行動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

設定項目	カイページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動改ページ動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

設定項目	CR	CR の動作を選択します。
設定値	CR ノミ（初期設定）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR+LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。

設定項目	LF	LF（改行）の動作を選択します。
設定値	CR+LF（初期設定）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF ノミ	LF（改行）動作のみを行います。

設定項目	FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
設定値	CR+FF（初期設定）	FF（改ページ）と同時に CR （復帰）動作も行います
	FF ノミ	FF（改ページ）動作のみを行います。

設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	無視します。
	ON	スペースに置き換えます。

設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1（初期設定）	15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォームオーバーレイ	フォームデータを保存したオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールを LP-9100 に装着したときだけ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。フォームオーバーレイ印刷を行うか行わないかを選択できます。
設定値	OFF（初期設定）	フォームオーバーレイ印刷は行いません。
	ON	フォームオーバーレイ印刷を行います。なお、ESC/P モードの場合にもフォームオーバーレイ印刷を行います（ただし、［ESC/PS カンキョウメニュー］の［レンゾクシ］を［OFF］に設定している場合のみ）。

設定項目	フォームバンゴウ	フォームデータを保存したオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールを LP-9100 に装着したときだけ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。フォームオーバーレイROMモジュールに保存したフォームの登録番号を設定できます。
設定値	1～512（初期設定：1）	設定した登録番号のフォームを使ってフォームオーバーレイ印刷を行います。

PS3 カンキョウメニュー

PostScript3 モードに対する設定項目です。LP-9100 にオプションの PostScript3 モジュールを装着した場合のみ表示されます（LP-7900 の場合は表示されません）。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	PS3エラーシート	PostScript エラー発生時に、エラー状態を記載したシートを印刷するかしないかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	PostScript エラー発生時にエラーシートを印刷しません。
	ON	PostScript エラー発生時にエラーシートを印刷します。

設定項目	IMAGE PROTECT	メモリが不足する場合の印刷画像の保護（圧縮）方法を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	非可逆圧縮を行います。少ないメモリでも印刷できるように効率よく画像データを圧縮できますが、元の画像データ状態に戻さないので解像度が落ちたり、階調の再現性が低下したりします。
	ON	可逆圧縮を行います。元の画像データ状態に戻せるように画像データを圧縮できますので、解像度が落ちたり階調の再現性が低下することはありません。メモリ不足で印刷できない場合がありますので、その場合はプリンタのメモリを増設してから設定してください。

IP アドレスを操作パネルから設定するには

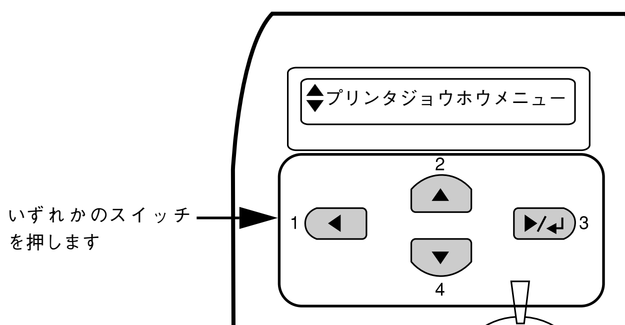
オプションのネットワーク I/F カードを装着した場合、プリンタの操作パネルから IP アドレスなどの TCP/IP の設定が可能です。ここでは、操作パネルからオプションのネットワークカードの IP アドレスを設定する方法を説明します。



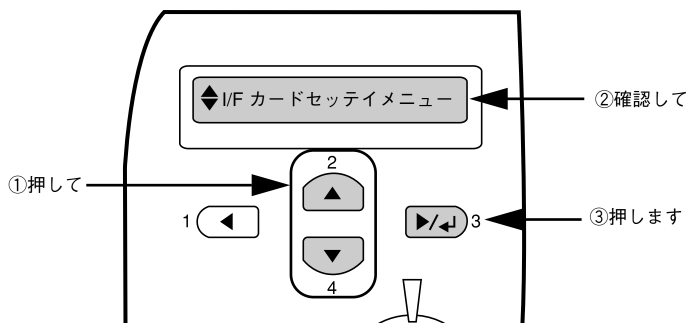
- 操作パネル以外の設定方法についてはネットワーク I/F カードの取扱説明書をご覧ください。
- ［▲(2)］［▶/↵(3)］［▼(4)］スイッチで切り替えたディスプレイの表示は、［◀(1)］スイッチで元に戻すことができます。
- IP アドレスの取得方法には［パネル］［ジドウ］［PING］のいずれかが選択できますが、操作パネルから IP アドレスの設定を行う場合は、［パネル（初期設定)］を選択してください。

1 ディスプレイ下のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。

設定モードに入ると、ディスプレイには［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。



2 ［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［I/F カードセッテイメニュー］を表示させ、［▶/↵(3)］スイッチを押します。



3 **ディスプレイに［I/F カード＝ツカウ］と表示されていることを確認します。**

［I/F カード＝ツカワナイ］になっている場合は、次の操作を行います。

① ［▶/↵ (3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。

② ［▲ (2)］または［▼ (4)］スイッチを押して、［I/F カード＝ツカウ］にします。

③ ［▶/↵ (3)］スイッチを押します。

4 **［▲(2) /▼(4)］スイッチを押して［I/Fカードセッテイ］を表示させ、設定値を［シナイ］から［スル］に変更します。**

① ［I/F カードセッテイ＝シナイ］の表示で［▶/↵ (3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。

② ［▲ (2)］または［▼ (4)］スイッチを押して、［I/F カードセッテイ＝スル］にします。

③ ［▶/↵ (3)］スイッチを押します。

5 **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［IPアドレスセッテイ＝パネル］になっていることを確認します。**

［IP アドレスセッテイ＝ジドウ］または［IP アドレスセッテイ＝ PING］になっている場合は、次の操作を行います。

① ［▶/↵ (3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。

② ［▲ (2)］または［▼ (4)］スイッチを押して、［IPアドレスセッテイ＝パネル］にします。

③ ［▶/↵ (3)］スイッチを押します。

6 **各アドレスを設定します。**

① ［▲ (2)］または［▼ (4)］スイッチを押して、［IP Byte 1］と表示させます。これは、現在の設定項目が IP アドレスの 1 バイト目であることを示します。［▲ (2)］または［▼ (4)］スイッチを押すたびに項目名が以下のように切り替わりますので、設定項目を表示させてください。

設定項目	意味
IP Byte 1/2/3/4	IP アドレスの 1/2/3/4 バイト目を設定します。（初期設定：192.168.192.168）
SM Byte 1/2/3/4	サブネットマスクの 1/2/3/4 バイト目を設定します。（初期設定：255.255.255.0）
GW Byte 1/2/3/4	ゲートウェイアドレスの 1/2/3/4 バイト目を設定します。（初期設定：255.255.255.255）

② ［▶/↵ (3)］スイッチを押して設定値の階層に進みます。

③ ［▲ (2)］または［▼ (4)］スイッチを押して、希望の数値を表示させます。

④ ［▶/↵ (3)］スイッチを押します。

必要に応じて①～④の操作を繰り返します。

7 **各アドレスの設定が終了したら、［印刷可］スイッチを押します。**

設定モードを抜けて［インサツカノウ］と表示されますが、ネットワーク I/F カードの初期化が終了するまでしばらくお待ちください。



設定直後は、ネットワーク I/F カードの初期化（ネットワーク I/F カードのランプが赤色に点灯 *）が行われるため、プリンタの電源を切ったり、プリンタをリセットオールしたり、［I/F カードジョウホウ］を印刷したりしないでください。

* ランプの点灯状態については、ネットワーク I/F カードの取扱説明書を参照してください。



IP アドレスが正しく登録されたかは、ネットワーク I/F カードの初期化終了後に［プリンタジョウホウメニュー］の［I/F カードジョウホウ］を印刷することによって確認できます。

本書 215 ページ「I/F カードジョウホウ」

印刷待機時の消費電力を効率よく節約するには

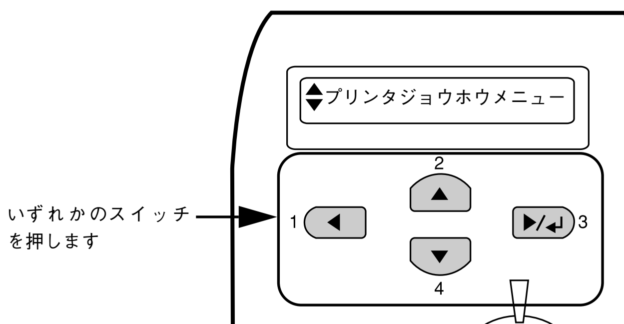
節電機能とは、印刷待機時の消費電力を節約する機能です。設定時間（初期設定は 5 分）が経過すると節電状態に入ります。

使用状況に応じて設定時間を変更することにより、効率的に消費電力を節約することができます。ここでは、操作パネルから設定する方法を説明します。


ポイント

- ［▲(2)］［▶/↵(3)］［▼(4)］スイッチで切り替えたディスプレイの表示は、［◀(1)］スイッチで元に戻すことができます。
- 変更した設定は、すべてのインターフェイスに対して有効です。
- 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始まで数秒かかります。

1. **ディスプレイ下のいずれかのスイッチを押して、設定モードに入ります。**
設定モードに入ると、ディスプレイには［プリンタジョウホウメニュー］と表示されます。



2. **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［プリンタセッテイメニュー］を表示させ、［▶/↵(3)］スイッチを押します。**

3. **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して［セツデンジカン=（現在の設定値)］を表示させ、［▶/↵(3)］スイッチを押します。**

4. **［▲(2)］または［▼(4)］スイッチを押して節電モードに入るまでの時間を変更し、［▶/↵(3)］スイッチを押します。**
変更した設定値（5 フン、15 フン、30 プン、60 プン、120 プン）が有効となり、設定項目の階層へ戻ります。

5. **［印刷可］スイッチを 1 回押すか、［◀(1)］スイッチを 2 回押して、設定モードから抜け出します。**
設定モードが終了し、［インサツカノウ］または［セツデン］状態に戻ります。

プリンタの状態や設定値を印刷するには

プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものをステータスシートといいます。ステータスシートを印刷することにより、プリンタの現在の情報が得られます。

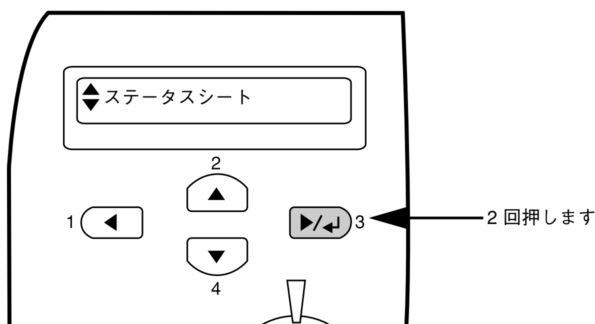
ステータスシートの印刷は、次の場合に行います。
- プリンタの動作に異常がないかを確認する場合。
- プリンタの現在の設定状態を確認したい場合。
- プリンタにオプションを装着した場合（装着したオプションが正しく認識されていれば、ステータスシートの印刷内容に、そのオプションが追加されます）。


ポイント

- ［▲(2)］［▶/↵(3)］［▼(4)］スイッチで切り替えたディスプレイの表示は、［◀(1)］スイッチで元に戻すことができます。
- ステータスシートはプリンタドライバからも印刷できます。
  Windows：本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」
  Macintosh：本書 181 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
- ステータスシートがうまく印刷されないときは、以下のページを参照してください。
  本書 317 ページ「困ったときは」

1 プリンタに用紙をセットして、電源をオン (I) にし、印刷可状態にします。
印刷可ランプが点灯し、ディスプレイに［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されていることを確認します。

2 ［▶/↵(3)］スイッチを 2 回押します。
ディスプレイに［ステータスシート］と表示されます。



3 もう一度 ［▶/↵(3)］スイッチを押し、ステータスシートを印刷します。
- ディスプレイの表示とデータランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒時間がかかります）。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯し［インサツカノウ］状態になります。

16 進ダンプ印刷するには

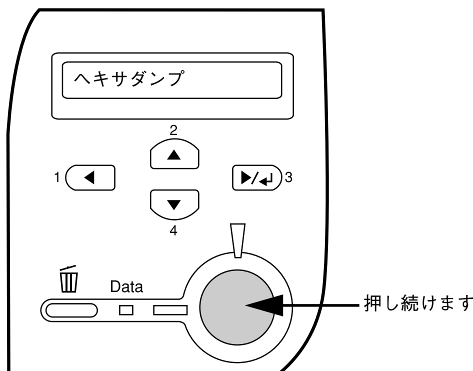
16 進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数文字で印刷する機能です。コンピュータからプリンタへ正しくデータが送られているかどうか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに使うと便利です。



- この機能は、ネットワーク接続時には使用できません。
- Windows で EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用している場合は、[印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してください。
  本書 84 ページ「[ユーティリティ］ダイアログ」

1. **プリンタに用紙をセットして、電源がオフ (○) であることを確めます。**

2. **［印刷可］スイッチを押しながら、電源をオン (I) にします。**
   ディスプレイの表示が［ヘキサダンプモード］から［ヘキサ ダンプ］と表示されるまで、[印刷可］スイッチを押し続けます。



3. **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**
   プリンタは送られてきたデータを 16進数とそれに対応する英数文字などで印刷します。



印刷中は電源をオフ (○) にしないでください。用紙詰まりの原因になります。

4. **印刷が終了したら、データランプが消灯していることを確認します。**
   データランプが点灯している場合、プリンタ内に印刷されていないデータが残っています。この場合は［印刷可］スイッチを押して印刷不可状態にした後、[印刷可］スイッチを 2 秒間押すと、プリンタ内のデータが印刷されて排紙されます。

5. **16 進ダンプの印刷が終了したら、16 進ダンプモードを解除します。**
   電源をオフ (○) にすると、次の電源オンからは通常のモードで起動します。

リセットの仕方

リセット

リセットは、ディスプレイに［リセットシテクダサイ］と表示されたときに行います。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。リセットは、操作パネルの設定モードで実行します。以下のページを参照してください。

☞ 本書 225 ページ「リセット」


ポイント

- ［リセットシテクダサイ］と表示された場合に、リセットオールを行わないように注意してください。
- プリンタが印刷データの処理をしているとき、あるいは一部の DOS アプリケーションソフトで印刷中もしくは印刷データ待ちのときにパネル設定を変更すると、［リセットシテクダサイ］と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

リセットオール

リセットオールを行うと、プリンタは印刷の中止を行います。プリンタは電源をオン（｜）にした直後の状態まで初期化され、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。リセットオールは、操作パネルの設定モードで実行します。以下のページを参照してください。

☞ 本書 225 ページ「リセットオール」

液晶ディスプレイの表示メッセージについて

プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイのメッセージやランプの点灯状態によってプリンタ本体の状態を表示しています。メッセージの内容には次の 3 種類があります。

- ステータスメッセージ
  プリンタの現在の状態を示します。
- ワーニングメッセージ
  プリンタに何らかの問題が発生しています。適切な処置をしてください。
- エラーメッセージ
  プリンタに何らかのエラーが発生していて印刷が実行できない、あるいは指定された条件での印刷が実行できずにプリンタ側で自動的にエラー回避の手段を取ったことを表示します。

ステータスメッセージ

表示	説明
RAM CHECK	RAM をチェックしています。
ROM CHECK	ROM をチェックしています。
ROM モジュール　X　カキコミチュウ	ROM モジュールにデータを書き込んでいます。
インサツカノウ	印刷可能な状態です。
ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
エラーカイジョデキマセン	発生しているエラーに対して適切な処置を行ってください。
オフライン	印刷データの作成やデータ受信は行いますが、印刷動作を開始しない状態です。［印刷可］スイッチを押すと、現在の状態を表示します。
システムチェック	自己診断と、初期化を行っています。
ジョブ　キャンセル	印刷処理を中止して、データ（ジョブ単位）を削除しました。
セッテイヘンコウ　デキマセン	操作パネルの設定モードがロックされているため、設定を変更できません。
セツデン	節電状態です。データを受信したとき、またはリセットしたときなどに解除されます。
ゼンジョブキャンセル	印刷処理を中止して、すべてのデータを削除しました。
プリンタ　レイキャクチュウ	プリンタを冷却中です。しばらくお待ちください。
ヨウシ　ハイシチュウ	プリンタ内に残っている印刷データを、［印刷可］スイッチによって印刷・排紙中です。
リセット　（オール）	リセット（オール）処理中です。
リセット　シテクダサイ	印刷実行中にパネル設定を変更しました。次のどちらかの操作を行ってください。 • リセットを行います。直後に変更が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。 • ［印刷可］スイッチを押します。印刷実行後に変更が反映されます。

ワーニングメッセージ

プリンタに何らかの問題が発生しています。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。



ポイント

- ワーニングメッセージは、操作パネルの設定モードの［ワーニングクリア］で消すことができます。
☞本書 225 ページ「ワーニングクリア」
- 同時にいくつかの問題が発生していると、複数のワーニングメッセージを重ねて表示します。すべてのワーニングメッセージを一度に消すには、操作パネルの設定モードの［オールワーニングクリア］を実行します。
☞本書 225 ページ「オールワーニングクリア」

ワーニングメッセージ	説明	処置
ET カートリッジ　ジュミョウマジカ	取り付けられているETカートリッジは、もうすぐ使用できなくなります。	早めに新しいETカートリッジと交換してください。新しい ET カートリッジをセットし、A カバーを閉じると、ワーニング状態が自動的に解除されます。 ☞ 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」
Reserve JobCanceled	プリンタへ印刷データを送ることができませんでした。	印刷待ちのジョブ数が制限を越えているか、プリンタのメモリが不足している状態です。印刷待ちのジョブ数が減ってから印刷するか、解像度を下げて再印刷する、またはプリンタのメモリを増設してください。
インサツ　デキマセンデシタ	間違ったプリンタドライバで印刷を実行し、印刷できませんでした。	ワーニングクリアを実行すると、メッセージを消去します。本機のプリンタドライバを使って印刷を実行します。
カイゾウドヲ　オトシマシタ	メモリ不足により指定された解像度での印刷ができず、解像度を下げて印刷しました。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、ジョブキャンセルを行います。 印刷後に表示を消すには、ワーニングクリアを実行します。 再度印刷するときは解像度を下げて印刷してください。またはメモリを増設してください。
トナーガ　ノコリスクナク　ナリマシタ	トナー残量が少なくなりました。	早めに新しいETカートリッジと交換してください。オールワーニングクリアを実行すると、メッセージを消去します（メッセージを消去しなくても使用上問題ありません）。

ワーニングメッセージ	説明	処置
ブスウシテイ　デキマセンデシタ	指定した部数の印刷データを扱うためのメモリが足りないため、1部だけ印刷します。	プリンタドライバで解像度を下げて印刷することで、プリンタが扱う印刷データの量が少なくなり、複数部の印刷が可能になる場合があります。
メモリノ　ゾウセツヲ　オススメシマス	印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、ジョブキャンセルを行います。 印刷後に表示を消すには、ワーニングクリアを実行します。 再度印刷するときは、解像度を下げて印刷してください。またはメモリを増設してください。
ヨウシサイズ　カクニン	給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。	用紙サイズを確認してください。[プリンタセッテイメニュー]の[ヨウシサイズフリー]を[ON]に設定しておくことにより、[ヨウシサイズエラー]のメッセージは表示されなくなります。 本書223ページ「ヨウシサイズフリー」
ヨウシタイプ　カクニン	印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	メッセージはワーニングクリアを実行すると消えます。操作パネルの設定で、各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。 本書216ページ「キュウシソウチメニュー」

エラーメッセージ

プリンタに何らかのエラーが発生していて印刷が実行できない、あるいは指定された条件での印刷が実行できずにプリンタ側で自動的にエラー回避の手段を取ったことを表示します。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。

エラーメッセージ	説明	処置
xx　ヲ　ヨコナガニイレテクダサイ	以下の表示給紙装置で、用紙のセット方向が違います（縦長にセットされています）。 • C1：標準の用紙カセット（C1） • C2、C3：オプションの用紙カセット（上段 C2 または下段 C3）	用紙を正しく横長にセットしてください。
I/F カード　エラー	本プリンタでは使用できないインターフェイスカードが挿入されています。	一旦プリンタの電源をオフにした後、インターフェイスカードを抜きます。
Invalid PS3	LP-9100 に装着した PostScript3 ROM モジュールが正しく認識されません（LP-7900 の場合は、このエラーは発生しません）。	一旦プリンタの電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、保守契約店あるいは販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。連絡先はスタートアップガイド巻末に記載されています。
ROM モジュール X　カキコミエラー	ROM モジュールがデータを書き込めないモジュールであるか、データの書き込みが正常に終了しませんでした。または、ROM モジュールが装着されていません。	一旦プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを取り外します。ROM モジュールを確認してください。
ROM モジュール A　フォーマットエラー	LP-9100 のスロット A に装着した書き込み可能な ROM モジュールが未フォーマットです（LP-7900 の場合は、このエラーは発生しません）。	• ROM　モジュールに初めてデータを書き込む場合は、問題ありません。そのまま書き込んでも正常に使用できます。 • すでにデータの書き込みを行った ROM モジュールでこのエラーが発生した場合は、[印刷可] スイッチを押してメッセージを消し、再度書き込みを行ってください。それでも同じエラーが発生する場合は、ROM モジュールが破損している可能性がありますので、プリンタの電源をオフにして ROM モジュールを取り外し、保守契約店あるいは販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。連絡先はスタートアップガイド巻末に記載されています。

エラーメッセージ	説明	処置
ROM モジュール A　リードエラー	利用できない ROM モジュールが LP-9100 のスロット A に装着されています（LP-7900 の場合は、このエラーは発生しません）。	一旦プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを取り外します。本機で使用できる ROM モジュールかどうか型番で確認してください。
ServiceReq　Cxxxx	サービスコールエラーが発生しました。	一旦プリンタの電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、保守契約店あるいは販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。連絡先はスタートアップガイド巻末に記載されています。
カバーガ　アイテイマス	A カバーまたは B カバーが開いています。	カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。
カミヅマリ xxxx	以下の表示位置で紙詰まりが発生し、正常に給紙が行われませんでした。 • A：プリンタ内部の給紙経路 • A B:プリンタ内部の給紙経路または排紙部 • MP A:MP カセットまたはオプションの手差しトレイ（MP トレイ） • C1 A、C2 A、C3 A：標準の用紙カセット（C1）またはオプションの用紙カセット（上段C2 または下段C3） • DM：オプションの両面印刷ユニット	メッセージで紙詰まりの発生した位置を確認し、詰まった紙を取り除きます。ウォーミングアップ終了後、紙詰まりが発生したページから印刷が開始されます。詳細な手順は、以下のページを参照してください。 本書 329 ページ「用紙が詰まったときは」
サービスヘレンラククダサイ　Exxx	サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、保守契約店あるいは販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。連絡先はスタートアップガイド巻末に記載されています。
トナーカートリッジ　ID エラー	取り付けたET カートリッジは使用できません。	正しいET カートリッジを取り付けてください。

エラーメッセージ	説明	処置
トナーカートリッジ　コウカン	ET カートリッジのトナーがなくなりました。	新しいET カートリッジと交換してください。 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」 このメッセージは、[印刷可] スイッチを押すと一時的に消去できます。ただし、1 枚印刷するごとにエラーが発生します。エラーが発生するたびに [印刷可] スイッチを押してエラーを解除してください。 本書 224 ページ「トナーコウカンエラーヒョウジ」
トナーカートリッジヲ　イレテクダサイ	ET カートリッジがセットされていません。	ET カートリッジをセットし、A カバーを閉じると、エラー状態が自動的に解除されます。 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」
ページエラー　オーバーラン	印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追い付きません。	[プリンタセッテイメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] が [シナイ] に設定されている場合は、次のどちらかの操作を行ってください（[ジドウエラーカイジョ] を [スル] にしておくと、一定時間（5 秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 本書 223 ページ「ジドウエラーカイジョ」 • [印刷可] スイッチを押します。 • ジョブキャンセルを行います。 [プリンタセッテイメニュー] の [ページエラーカイヒ] を [ON] にすると、このエラーは発生しません。 本書 223 ページ「ページエラーカイヒ」 また、印刷品質を [はやい] に設定する、あるいは [印刷モード] を [標準（PC）]（Windows）または [CRT 優先]（Macintosh）にすることによってエラーの発生を回避できる場合があります。 Windows：本書 77 ページ「[拡張設定] ダイアログ」 Macintosh：本書 163 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

エラーメッセージ	説明	処置
メモリオーバー　メモリガタリマセン	処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できなくなりました。	[プリンタセッテイメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]が[シナイ]の場合は、次のどちらかの操作を行ってください（[ジドウエラーカイジョ]を[スル]にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 本書 223 ページ「ジドウエラーカイジョ」 • [印刷可] スイッチを押します。 • ジョブキャンセルを行います。 再度印刷するときは、プリンタドライバで印刷品質を[はやい]に設定するか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。
ヨウシコウカン　xxxxx　yyyy	給紙を行おうとした給紙装置(xxxxx)にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ（yyyy）が異なっています。 <給紙装置の表示> • MP:MP カセットまたはオプションの手差しトレイ • C1：標準の用紙カセット（C1） • C2：オプションの上段用紙カセット（C2） • C3：オプションの下段用紙カセット（C3）	[プリンタセッテイメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]が[シナイ]に設定されている場合は、以下の3つのうち、どれかの操作を行ってください（[ジドウエラーカイジョ]を[スル]にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 本書 223 ページ「ジドウエラーカイジョ」 • 給紙装置に正しいサイズの用紙をセットします。[印刷可]スイッチを押して印刷します。 • 用紙を交換しないで　[印刷可]スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 • ジョブキャンセルを行います。

エラーメッセージ	説明	処置
ヨウシナシ　xxxxx　yyyy	以下のような場合に表示されます。 (1)印刷のために給紙しようとした給紙装置（xxxxx）に、用紙サイズ（yyyy）がセットされていません。 (2)すべての給紙装置に用紙がセットされていません。 <給紙装置の表示> • MP:MP カセットまたはオプションの手差しトレイ • C1：標準の用紙カセット（C1） • C2：オプションの上段用紙カセット（C2） • C3：オプションの下段用紙カセット（C3）	（1）の場合 給紙装置に正しいサイズの用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。 （2）の場合 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。
リョウメンインサツ　デキマセン	両面印刷ユニットで両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能な設定のため、両面印刷の実行を中止します。	操作パネルで設定する［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］によって以下のように異なります。 本書 223 ページ「ジドウエラーカイジョ」 • ［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合、［印刷可］スイッチを押します。［印刷可］スイッチを押すと、片面印刷で印刷を再開します。 • ［ジドウエラーカイジョ］が［スル］の場合、一定時間（5 秒）後に片面印刷で印刷を再開します。
リョウメンインサツ　メモリガタリマセン	両面印刷ユニットで両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため裏面側が印刷できません。この場合、表面側のみ印刷して排紙します。	操作パネルで設定する［プリンタセッテイメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］によって以下のように異なります。 本書 223 ページ「ジドウエラーカイジョ」 • ［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合、［印刷可］スイッチを押します。［印刷可］スイッチを押すと、裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され、排紙されます。 • ［ジドウエラーカイジョ］が［スル］の場合、一定時間（5 秒）後に裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され、排紙されます。

エラーメッセージ	説明	処置
リョウメン　エラー 001	両面印刷ユニットがプリンタから外れました。	一旦電源をオフにし、両面印刷ユニットを正しく取り付けてから、再度電源をオンにします。
リョウメン　カバーガ　アイテイマス	両面印刷ユニット装着時、両面ユニットのカバーが開いています。または確実に閉じていません。	両面印刷ユニットのカバーを確実に閉じます。カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
リョウメン　ヨウシサイズ　エラー	両面印刷ユニットで両面印刷時、給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。裏面を印刷後に用紙を排紙し、印刷を停止しました。	正しいサイズの用紙をセットした後で［印刷可］スイッチを押すと、両面印刷を実行します。



添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法について説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B*1 フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

*1 OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット *2	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
2of5	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

*2 チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
[基本設定]	[印刷品質]	きれい（600dpi）
[基本設定] - [詳細設定]	[トナーセーブ]	チェックマークなし（OFF）
[レイアウト]	[拡大 / 縮小]	チェックマークなし（OFF）
	[割り付け]	チェックマークなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
  （例＜＝＞ ⇨ ⟺）

入力時の注意について

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  ☞ 本書 259 ページ「各バーコードの概要」



トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

スタートアップガイド 34 ページ「システム条件の確認」

ハードディスク：15 ～ 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

1. Windows を起動してから、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

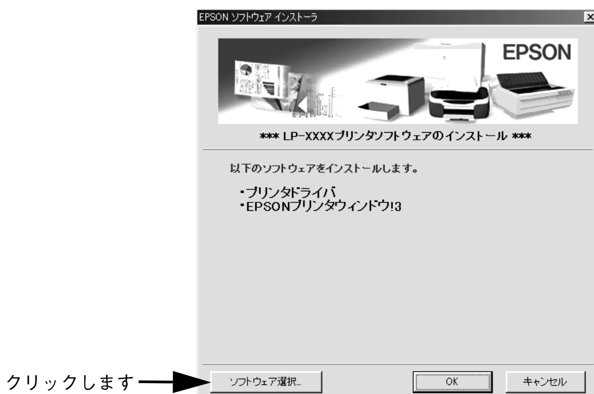
2. 以下の画面が表示されたら［ソフトウェアのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。





上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

3 ［ソフトウェア選択］ボタンをクリックします。



4 以下の画面が表示されたら、［バーコードフォント］にチェックが付いていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。





プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

5 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

6 **インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］ボタンをクリックします。**

使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。



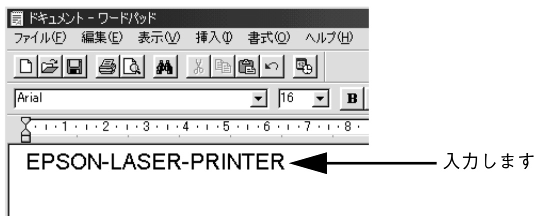
7 **インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

以上でEPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここでは Windows 95/98/Me に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

1 ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。

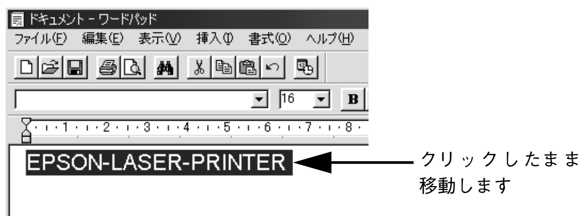




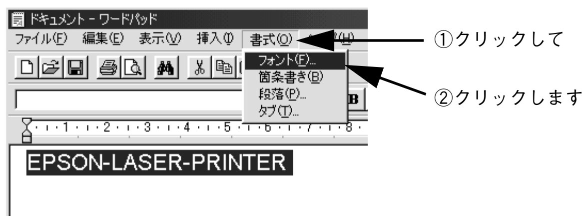
文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

2 入力した文字をマウスでドラッグして選択します。

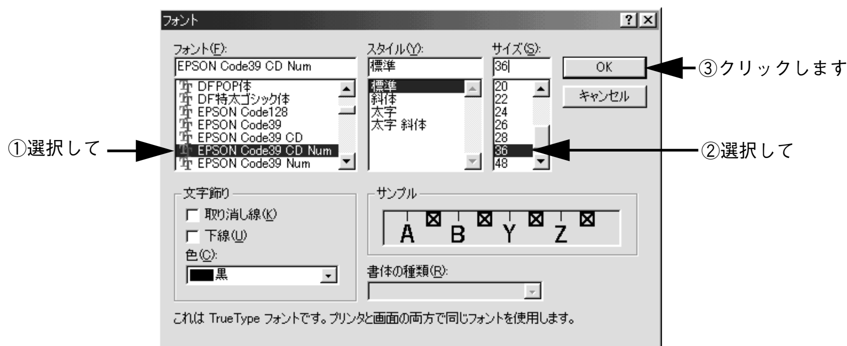
選択した範囲が反転表示になります。



3 ［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。



4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。




ポイント

Windows NT4.0/2000/XP では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。



6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。


ポイント

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバが エラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 • EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	52 ～ 130pt（Windows NT/2000/XP は96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	12345670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので､それ以外はJAN-8と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	36 ～90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	12345670

JAN-13（標準バージョン）			
・JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。 ・EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	12 桁		
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン　・レフト / ライトガードバー ・チェックキャラクタ　・OCR-B　・センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
・JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。 ・バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 ・日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	12 桁		
キャラクタのサイズ	36 ～90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン　・レフト / ライトガードバー ・チェックキャラクタ　・OCR-B　・センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 Short に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567 890128

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">● UPC-A は､アメリカのUniversal Product Codeで制定されたUPC-AのRegularタイプです｡(UPC Symbol Specification Manual)
● Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">11 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● レフト / ライトマージン　● レフト / ライトガードバー
● チェックデジット　● OCR-B　● センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">● UPC-E は、アメリカのUniversal Product Code で制定された UPC-A のZero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。(UPC Symbol Specification Manual)</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">6 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● レフト / ライトマージン　● レフト / ライトガードバー
● OCR-B　● チェックデジット　● ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">

Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはCode39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
スペースを“__”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“__”（アンダーライン）を入力してください。
1 行に2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字（A ～ Z、0 ～9）
記号（－　．　スペース　＄　／　＋　％）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">

Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 ～ 104pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

左 / 右クワイエットゾーン
スタート / ストップキャラクタ
コードセットの変更キャラクタ
チェックデジット

</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

Interleaved 2of5			
● Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5） ● EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。 ● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。 ● Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） OCR-B なしの場合：26pt 以上 保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt OCR-B ありの場合：36pt 以上 保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● 左 / 右クワイエットゾーン　● スタート / ストップキャラクタ　● チェックデジット ● 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
印刷例	入力時	EPSON ITF に変換	印刷
	1234567	1234567	
		EPSON ITF CD Num に変換	印刷
		1234567	12345670

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）ー新郵便番号（4 桁）ー住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが､バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9)、英文字（A ～Z)、記号（ー）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 ～ 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時のー（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 – 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本製品に添付のEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM にはEPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。



CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントの保証サイズは12 ポイントです。また、OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

Windows でのインストール

1. Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 以下の画面が表示されたら、［ソフトウェアのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。





上の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

3 ［ソフトウェア選択］ボタンをクリックします。



4 以下の画面が表示されたら、インストールするフォントをクリックして［OK］ボタンをクリックします。




ポイント

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

5 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

6 フォントインストール終了とソフトウェア終了のダイアログが表示されたら、続けて［OK］ボタンをクリックします。

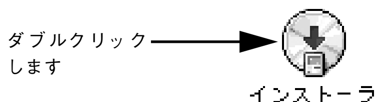
2種類のフォントを選択してインストールする場合は、再度 5 と 6 の操作を行います。

以上でTrueTypeフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。

Macintosh でのインストール

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

2. ［インストーラ］をダブルクリックします。



3. 次の画面が表紙されたら、［ソフトウェアのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。



4. ［ソフトウェア選択］ボタンをクリックします。



5 次の画面が表示されたら、［EPSON TrueType フォント（8 書体）のインストール］をクリックして［OK］ボタンをクリックします。



6 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

7 次の画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



以上でフォントのインストールは終了です。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介と装着方法について説明します。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2003 年 3 月現在のものです。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	ー
	NEC	PC-98NX シリーズ		
PC98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	#8238	*1 *2
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1 *2
	NEC	PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801 シリーズデスクトップ（14 ピン）	#8238	*1 *2 *3
		PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1 *2 *3

*1 拡張漢字（表示専用 7921 ～ 7C7E）は印刷できません。
*2 Windows 95/98/Me の双方向通信機能および EPSON プリンタウィンドウ !3 は、コンピュータの機能制限により対応できません。
*3 ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。



- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータと本機の間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECP モード対応コンピュータを ECP モードで接続する場合、PRCB4N をご使用ください。

接続方法については以下のページを参照してください。
☞ スタートアップガイド 19 ページ「パラレルインターフェイスケーブルの接続」

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

型番	商品名
USBCB2	EPSON USB ケーブル



USB ハブ（HUB：複数のコンピュータをネットワーク環境へ接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法については以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド 20 ページ「USB インターフェイスケーブルの接続」

ET カートリッジ

印刷用のトナーが入ったカートリッジです。

型番	商品名
LPA3ETC14	ET カートリッジ（約 6,000 枚印刷可能）*1
LPA3ETC15	ET カートリッジ（約 10,000 枚印刷可能）*1

*1 印刷可能枚数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナー消費量は異なります。

交換方法については以下のページを参照してください。

☞ 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。設定などについてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
PRIF4	シリアルI/F カード （バッファ：32KB）	本機をシリアルで接続するためのオプションです。
PRIF5E	IEEE1284双方向パラレル I/F カード	本機に IEEE1284 規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう 1 つ増設するためのオプションです。
PRIF13	IBM5577 プリンタエミュレーションカード	本機に装着することで、IBM5577-H02 プリンタのエミュレーションを実現するオプションです。
PRIFNW3S	100BASE-TX/10BASE-T マルチプロトコルEthernet I/F カード	IPX/SPX 、TCP/IP 、AppleTalk 、NetBEUI に対応しています。本機を Ethernet 接続するためには、次のいずれかのケーブルが必要です。 • Ethernet 100BASE-TX シールドツイストペアケーブル（カテゴリー5） • Ethernet 10BASE-T ツイストペアケーブル

取り付け方法については以下のページを参照してください。

本書 286 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

手差しトレイ

標準の MP カセットと取り替えて装着する、手差し給紙専用のユニットです。

型番	商品名	備考
LPA3TT1	手差しトレイ	• **使用できる用紙種類：** 普通紙、特殊紙*1 • **使用できる用紙サイズ：** A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4、官製往復 / 官製四面連刷ハガキ、封筒（長形 3 号、角形 2 号）、不定形紙 *2（長尺紙 *3 を含む）

*1 官製ハガキ、封筒（洋形 0/4 号）を除く

*2 100 〜 297mm（用紙幅）× 148 〜 508mm（用紙長）

*3 最大 297mm（用紙幅）× 900mm（用紙長）

取り付け方法については以下のページを参照してください。

本書 297 ページ「手差しトレイの取り付け」

手差しトレイへの用紙のセット方法は以下のページを参照してください。

本書 25 ページ「手差しトレイへの用紙のセット」

ユニバーサルカセットユニット

オプションのユニバーサルカセットユニットをプリンタ下部に 2 段まで自由に組み合わせて装着することができます。

型番	商品名	備考
LPA3UC1	250 枚ユニバーサルカセットユニット（付属の用紙カセットは標準の用紙カセットと同じです）	• **使用できる用紙種類 *：** 普通紙（用紙厚 60 ～ 90g/m²） • **使用できる用紙サイズ：** A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL） • **用紙カセット容量：** 最大 250 枚（普通紙 64g/m²）
LPA3UC2	550 枚ユニバーサルカセットユニット	• **使用できる用紙種類 *：** 普通紙（用紙厚 60 ～ 90g/m²） • **使用できる用紙サイズ：** A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL） • **用紙カセット容量：** 最大 550 枚（普通紙 64g/m²）

* 用紙種類については、以下のページを参照してください。
本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」

取り付け方法については以下のページを参照してください。
本書 289 ページ「ユニバーサルカセットユニットの取り付け」
用紙のセット方法は、以下のページを参照してください。
本書 17 ページ「MP カセット / 用紙カセットへの用紙のセット」

用紙カセット

標準の用紙カセットまたはオプションの 250 枚ユニバーサルカセットユニット（LPA3UC1）の用紙カセットと差し替えて使用できる用紙カセットのみをご用意しています。

型番	商品名	備考
LPA3YC1	用紙カセット	• **使用できる用紙種類 *：** 普通紙（用紙厚 60 ～ 90g/m²） • **使用できる用紙サイズ：** A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL） • **用紙カセット容量：** 最大 250 枚（普通紙 64g/m²）

* 用紙種類については、以下のページを参照してください。
本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙カセットの着脱方法と用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
本書 17 ページ「MP カセット / 用紙カセットへの用紙のセット」

両面印刷ユニット

用紙の両面に印刷するための装置です。

型番	商品名	備考
LPA3RU1	両面印刷ユニット	• **使用できる用紙種類 * ：** 普通紙（用紙厚 60 ～ 90g/m²）、 厚紙（用紙厚 91 ～ 157g/m²） • **使用できる用紙サイズ：** A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、 Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、 Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、 Ledger（B）

*　用紙種類については、以下のページを参照してください。
本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」

取り付け方法については以下のページを参照してください。
本書 293 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」

増設メモリ

メルコ製の以下のメモリを使用することにより、プリンタの内部メモリ（標準搭載メモリ容量 *1 LP-7900: 8MB/LP-9100:16MB）を増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。

*1　標準搭載のメモリを取り外すことはできません。

使用できるメモリの入手方法などについては、（株）メルコのお客様窓口までお問い合わせください。

型番	容量	プリンタのメモリ容量
EP01-16M シリーズ	16MB	**LP-7900：**24MB **LP-9100：**32MB
EP01-32M シリーズ	32MB	**LP-7900：**40MB **LP-9100：**48MB
EP01-64M シリーズ	64MB	**LP-7900：**72MB **LP-9100：**80MB
EP01-128M シリーズ	128MB	**LP-7900：**136MB **LP-9100：**144MB

取り付け方法については以下のページを参照してください。
本書 281 ページ「増設メモリ /ROM モジュールの取り付け」

PostScritp3 モジュール

LP-9100 のオプション ROM スロット A に装着して、PostScript3 プリンタとして動作させます（LP-7900 には装着できません）。

型番	商品名
LP91CPSROM	PostScript3 ROM モジュール

取り付け方法については以下のページを参照してください。
☞ 本書 281 ページ「増設メモリ /ROM モジュールの取り付け」



フォームオーバーレイ ROM モジュールと同時に装着することはできません。

PostScript3 プリンタとしての使用方法については、オプションに添付の取扱説明書を参照してください。

フォームオーバーレイ ROM モジュール

LP-9100 のオプション ROM スロット A に装着して、オプションのフォームオーバーレイユーティリティ（EPSON Form!4）で作成したフォームデータ（書式データ）を登録します（LP-7900 には装着できません）。

型番	商品名
LPFOLR4M2	フォームオーバーレイ ROM モジュール（4MB）

取り付け方法については以下のページを参照してください。
☞ 本書 281 ページ「増設メモリ /ROM モジュールの取り付け」



PostScript3 モジュールと同時に装着することはできません。

登録したフォームデータは Windows プリンタドライバ上で呼び出して使用できます。また、プリンタの動作モードが ESC/Page または ESC/P モードの場合は、操作パネルの［ESC/Page カンキョウメニュー］から呼び出して使用できます。
☞ 本書 63 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」
☞ 本書 232 ページ「ESC/Page カンキョウメニュー」

フォームオーバーレイユーティリティソフト

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。フォームオーバーレイユーティリティソフトは、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。

型番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（Windows 上で使用可能）

作成したフォームデータを使用しての印刷はWindowsプリンタドライバ上で行います。

本書 63 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」

リファレンスマニュアル

プリンタ制御コマンドの説明書です。ESC/Page または ESC/P コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名	機種固有情報について
ESC/Page リファレンスマニュアルー第4 版ー	ESC/Page リファレンスマニュアルの情報にはすべての機種に共通な情報と機種固有の情報があります。本機の機種固有情報につきましては、LP-9200の項目をご覧ください。
ESC/P リファレンスマニュアルー第2 版ー	本機は ESC/P J84 に分類されます。


ポイント

上記マニュアルにつきましてはエプソン OA サプライ（株）にてお取り扱いをしています。エプソン OA サプライ（株）のお問い合わせ先は、スタートアップガイド巻末に記載されています。

使用済み ET カートリッジの回収について

資源の有効利用と地球環境保全のために



エプソン純正トナーカートリッジ（ET カートリッジ）は、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。

トナーカートリッジの回収については、カートリッジの梱包箱と添付の説明書をご確認ください

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法については、カートリッジの梱包箱をご覧ください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。



回収方法の詳細につきましては、エプソン純正トナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソン販売株式会社のホームページ「I Love EPSON」でもご確認いただけます。

http://www.i-love-epson.co.jp/

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp	
お電話で	電話番号：0120 － 251 － 528（フリーダイヤル）	
	受付時間：月～金曜日　AM9:00 ～ PM6:15 土曜日　AM9:00 ～ PM5:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）	

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日
	北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	取り扱いカード：UC、JCB、VISA、Master、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。
	電話番号：0120 － 251 － 528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

増設メモリ /ROM モジュールの取り付け

ここでは、本機に増設メモリや ROM モジュールを取り付ける方法について説明します。装着できる増設メモリやROM モジュールについては、以下のページを参照してください。なお、ROM モジュールはLP-9100 にのみ装着できます（LP-7900 には装着できません）。

☞ 本書 276 ページ「増設メモリ」
☞ 本書 277 ページ「PostScritp3 モジュール」（LP-9100 のみ）
☞ 本書 277 ページ「フォームオーバーレイ ROM モジュール」（LP-9100 のみ）



LP-9100 にフォームオーバーレイ ROM モジュールと PostScript3 モジュールを同時に装着することはできません。

取り付けは以下の手順に従ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。



指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。指示以外のネジは取り外さないでください。

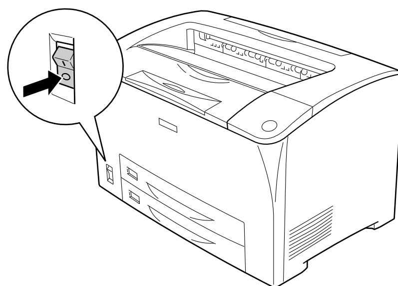


本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。



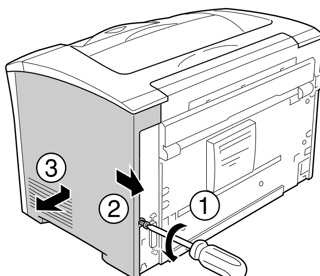
増設メモリおよび ROM モジュールの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 プリンタの電源をオフ（○）にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。



2 **プリンタ正面から見て右側のカバーを取り外します。**

カバーを固定しているプリンタ背面のネジ（1 個）を左に回して緩めます。さらに、右カバーを後方へ引き出して外側へ取り外します。

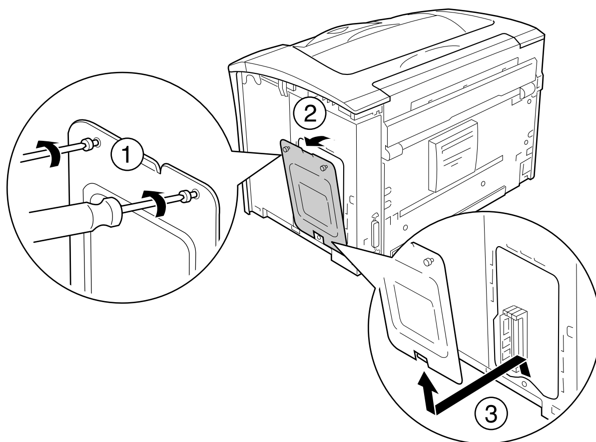




右カバーをプリンタ本体から取り外しても、右カバー固定用のネジは右カバーから外れないようになっています。

3 **金属のカバーを取り外します。**

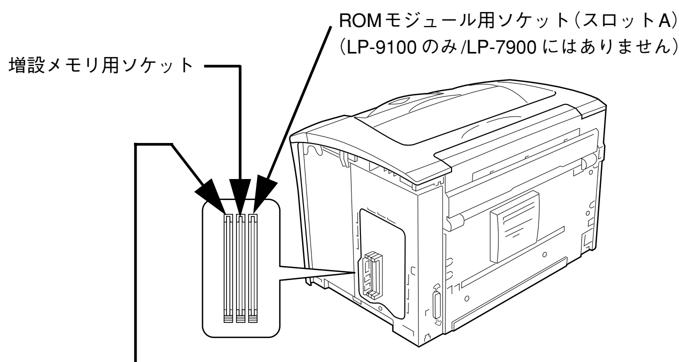
プラスドライバを使用して、止めネジ（2 本）を緩めます。カバーの上側にある切り欠き部を持ち、手前に外します。





止めネジは金属のカバーから外れません。

4 下図を参照して、増設メモリ用ソケットとROMモジュール用ソケットの位置を確認します。





標準搭載のメモリは取り外さないでください。プリンタが動かなくなります。また、標準搭載のメモリを取り外して、増設メモリに交換することはできません。

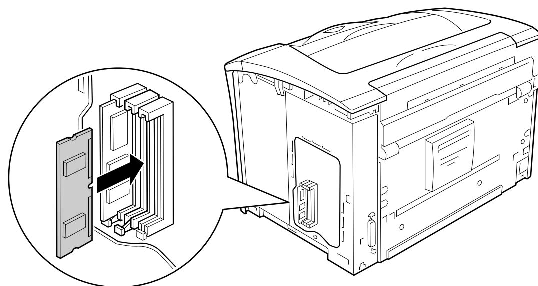
5 増設メモリ/ROMモジュールを取り付けます。

以下の図では、増設メモリの取り付けを例にしていますが、ROMモジュールの場合も取り付け方法は同じです。それぞれ、4 で確認した専用ソケットに取り付けてください。

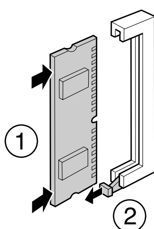


- 装着する際、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 逆差ししないように注意してください。

① 増設メモリ/ROMモジュール底部のくぼみがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、増設メモリ/ROMモジュール専用のソケットに差し込みます。

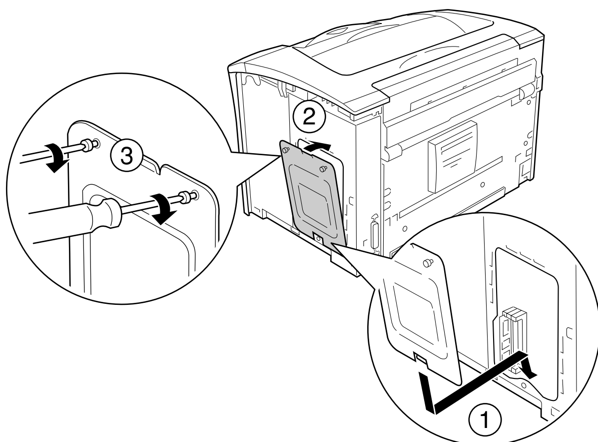


② ソケット下側のボタンが飛び出すまで、増設メモリ /ROM モジュールの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。



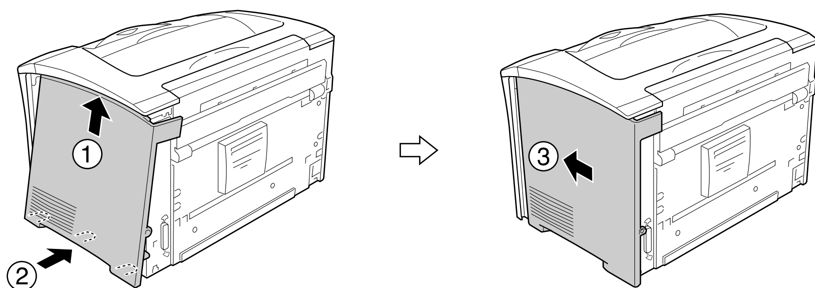
6 **金属のカバーを取り付け、ネジで固定します。**

カバー下側のツメを本体部分に引っかけてから、カバーを取り付けます。2 本のネジでカバーを固定します。

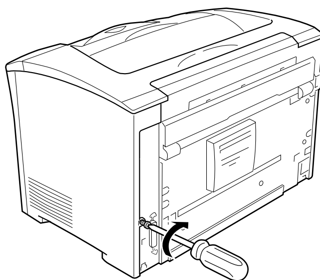


7 **右カバーをプリンタに取り付けます。**

右カバーの上部をプリンタ側にはめ込んで下部を押さえてから、前方へ押し戻して取り付けます。



8 **プリンタ背面のネジを締めて、右カバーをプリンタに固定します。**



⚠注意	右カバーの固定用のネジは確実に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分だと、プリンタの移動や運搬時などに右カバーが外れてけがや損傷の危険があります。

9 **取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続して、プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

10 **プリンタが増設メモリ /ROM モジュールを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。

本書 239 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

- 増設メモリを取り付けた場合、［実装メモリ］の項目に標準装備のメモリと増刷したメモリの総メモリ容量が印刷されます。
- ROM モジュールを取り付けた場合、［オプション］の項目に［フォームオーバーレイ］または［Adobe PostScript3］と印刷されます（LP-9100 の場合のみ)。



ポイント

- 増設メモリは以下の方法でも確認できます。
  ①プリンタの電源をオン (I) にします。
  ②プリンタの起動時に、液晶ディスプレイに［RAM CHECK XX.XMB］と表示されます。この［XX.XMB］の値が、［標準装備のメモリ容量＋増設メモリの容量］であることを確認します。
  （標準のメモリ容量：LP-7900/8MB、LP-9100/16MB）
- Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに対して設定する必要があります。ただし、ROM モジュールを取り付けた場合はその必要はありません。
  本書 301 ページ「オプション装着時の設定（Windows)」
- 本機は、メモリが効率的に使用されるような設定をプリンタのコントローラが自動的に行っていますので、キャッシュバッファや受信バッファの容量の設定は基本的に不要です。

以上で増設メモリ /ROM モジュールの取り付けは終了です。

インターフェイスカードの取り付け

ここでは、本機にインターフェイスカードを取り付ける方法について説明します。装着できるインターフェイスカードについては、以下のページを参照してください。
☞ 274 ページ「インターフェイスカード」

取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。



指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。指示以外のネジは取り外さないでください。

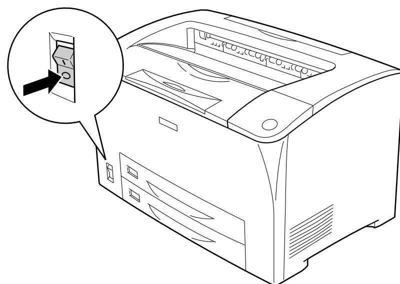


本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。



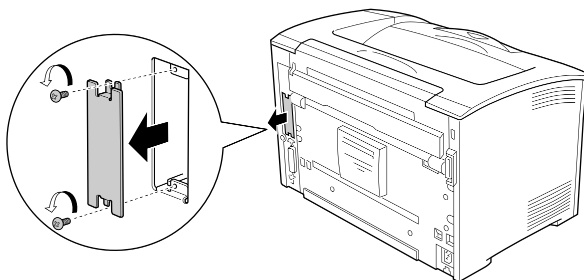
インターフェイスカードの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1. **プリンタの電源をオフ(○)にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**



2 **プリンタ背面のコネクタカバーを取り外します。**

コネクタカバーはネジ 2 個で固定されていますので、ネジを緩めて取り外します。

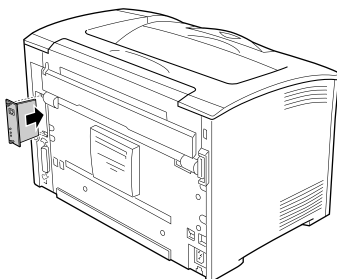



ポイント

取り外したコネクタカバーとネジは、インターフェイス カードを取り外した際に必要となりますので、大切に保管してください。

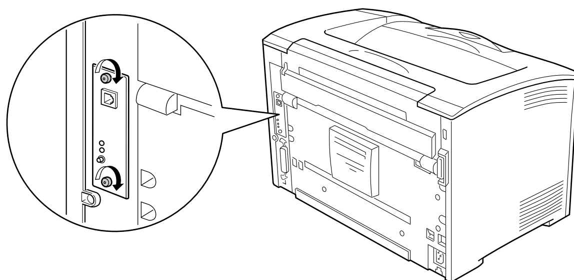
3 **インターフェイスカードをスロットに差し込みます。**

インターフェイスカードの上下両側をプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。



4 **インターフェイスカードに付属のネジ（2 個）で固定します。**

インターフェイスカードのコネクタとプリンタ側のコネクタがしっかりかみ合うまで差し込んでから、ネジを締め付けて固定します。



5 **取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続して、プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

6 **プリンタがインターフェイスカードを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。
☞ 本書 239 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」
正しく取り付けられているときは、［インターフェイス］の項目に［I/F　カード］と印刷されます。

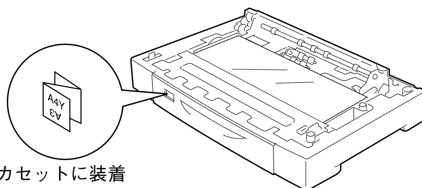
以上でインターフェイスカードの取り付けは終了です。

ユニバーサルカセットユニットの取り付け

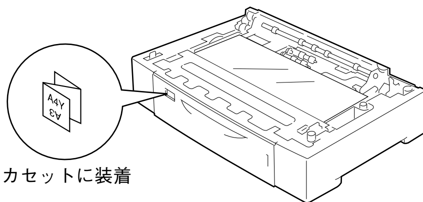
ここでは、250 枚ユニバーサルカセットユニット（型番：LPA3UC1）と 550 枚ユニバーサルカセットユニット（型番：LPA3UC2）を取り付ける方法について説明しています。ユニバーサルカセットユニットについては、以下のページを参照してください。
本書 275 ページ「ユニバーサルカセットユニット」



- 250 枚ユニバーサルカセットユニット（LPA3UC1）には、以下の同梱品が入っています。取り付けの前に同梱品の不足や損傷のないことを確認してから作業を始めてください。



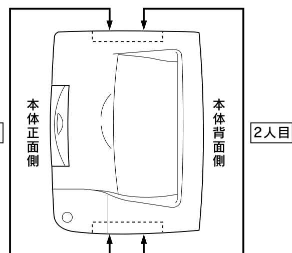
- 550 枚ユニバーサルカセットユニット（LPA3UC2）には、以下の同梱品が入っています。取り付けの前に同梱品の不足や損傷のないことを確認してから作業を始めてください。



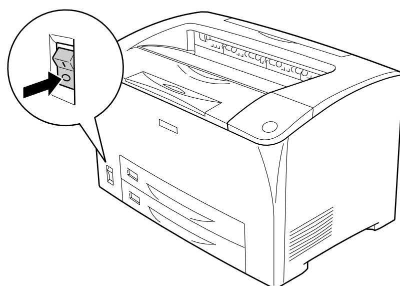
オプションのユニバーサルカセットユニットは、最大 2 段まで自由な組み合わせで増設が可能です。取り付けは以下の手順に従って行ってください。

注意

- 本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品は重いので（約 20kg）、開梱や移動の際、1 人で運ばないでください。必ず 2 人以上で運んでください。プリンタを持つときは右図のように本体をはさんで 2 人で持ち、取っ手に手をかけて運んでください。
- プリンタを運ぶ際は右図以外の部分に手をかけないでください。プリンタが破損するおそれがあります。



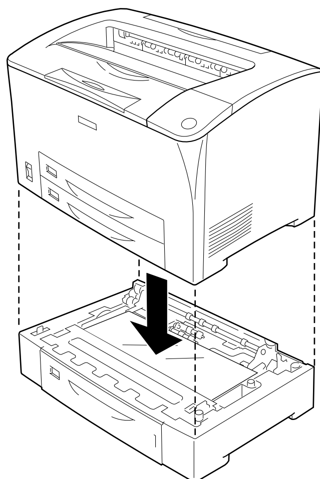
1 **プリンタの電源をオフ（○）にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**



2 **プリンタを設置する場所に250枚ユニバーサルカセットユニットや550枚ユニバーサルカセットユニットを置き、その上にプリンタを置きます。**

プリンタの四隅とユニバーサルカセットユニットの四隅が合うように取り付け位置を合わせてから、プリンタをユニバーサルカセットユニットの上に重ねて置きます。

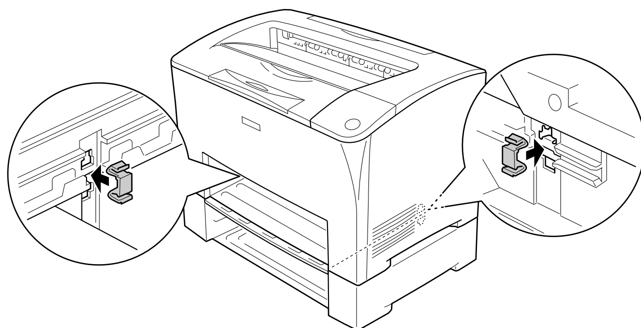
＜例＞550 枚ユニバーサルカセットユニットを 1 段増設



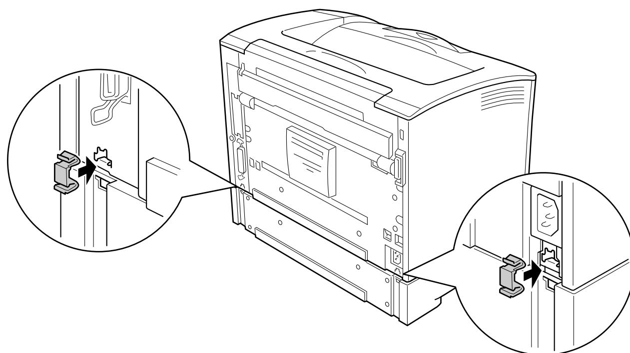
オプションのユニバーサルカセットユニットを 2 段増設する場合は、プリンタを設置する場所に 3 段目（標準用紙カセット 1 から数えて一番下）にするユニバーサルカセットユニットを置き、その上に 2 段目にするユニバーサルカセットユニットを置いてからプリンタを置いてください。

3 **用紙カセットを取り出し、オプションのユニバーサルカセットユニットに同梱の固定用部品（4 個）で、プリンタ本体とユニバーサルカセットユニットを固定します。**

① プリンタ本体の MP カセットと用紙カセット、オプションのユニバーサルカセットユニットの用紙カセットを取り出し、下図のようにユニバーサルカセットユニットの内側とプリンタ本体を固定用部品を使って 2 箇所固定します。



② プリンタ背面の下図の 2 箇所に固定用部品を取り付けます。





オプションのユニバーサルカセットユニットを 2 段増設する場合は、2 段目のユニバーサルカセットユニットと 3 段目のユニバーサルカセットユニットを同様の手順で固定してください。

4 **用紙をオプションの用紙カセットにセットして、ユニバーサルカセットユニットに差し込みます。**

用紙のセット方法については以下のページを参照してください。

本書 17 ページ「MP カセット / 用紙カセットへの用紙のセット」

5 **標準の MP カセットと用紙カセットをプリンタ本体に差し込みます。**



標準の MP カセットは上段の給紙位置に、標準の用紙カセットは下段の給紙位置にしかセットできません。上下位置を換えて無理にセットしないでください。

6 **取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続して、プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

7 **増設したオプションのユニバーサルカセットユニットをプリンタが正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。

本書 239 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

正しく取り付けられているときは、[給紙装置］の項目に［カセット 2]（1 段装着時）/［カセット 2、3]（2 段装着時）と印刷されます。



Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに対して設定する必要があります。

本書 301 ページ「オプション装着時の設定（Windows)」

以上でオプションのユニバーサルカセットユニットの取り付けは終了です。

両面印刷ユニットの取り付け

ここでは、両面印刷ユニット（型番：LPA3RU1）を取り付ける方法について説明しています。両面印刷ユニットについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 276 ページ「両面印刷ユニット」
☞ 本書 29 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

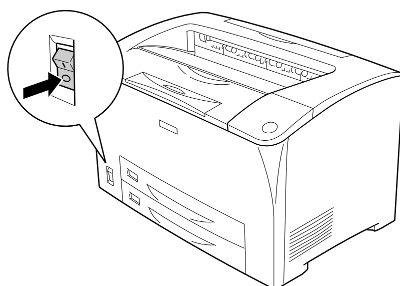


LP-7900 で両面印刷ユニットを使用する場合は、プリンタメモリの増設をお勧めします。

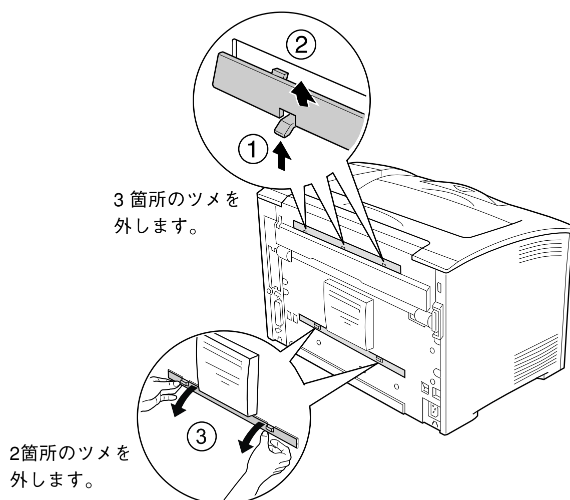
取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

⚠注意　本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

1 プリンタの電源をオフ（○）にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。



2 本体背面にある B カバー上の用紙経路カバーと本体背面下側にある用紙経路カバーをそれぞれ取り外します。

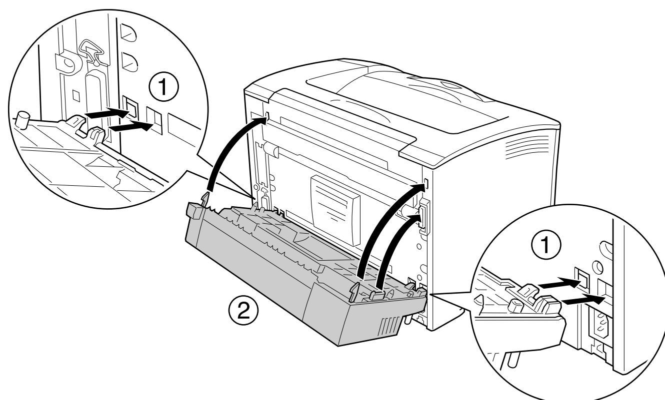



ポイント

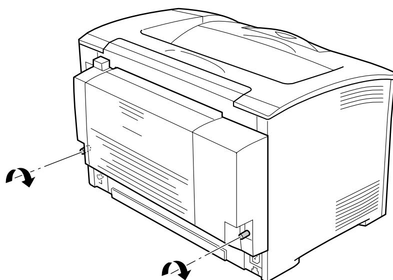
取り外した用紙経路カバーは大切に保管してください。

3 両面印刷ユニットを取り付けます。

図のようにプリンタ背面の受け部に両面印刷ユニットのツメをかけてから、両面印刷ユニットをプリンタ本体に取り付けます。



4 **両面印刷ユニットの両側下部に取り付けてあるネジ（2 個）を締めて固定します。**



5 **取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続して、プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

6 **プリンタが両面印刷ユニットを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。
本書 239 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」
正しく取り付けられているときは、［給紙装置］の項目に［両面ユニット］と印刷されます。



Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに対して設定する必要があります。
本書 301 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」

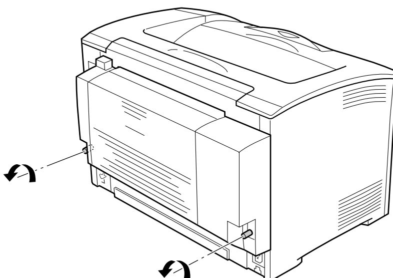
以上で両面印刷ユニットの取り付けは終了です。

両面印刷ユニットの取り外し

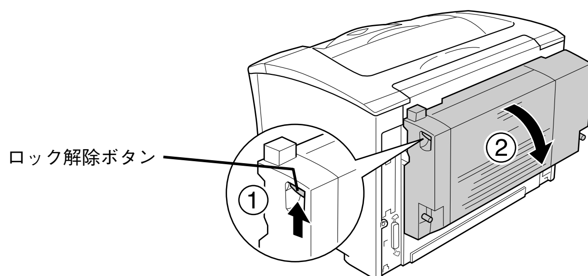
両面印刷ユニットを取り外すときは、以下の手順に従ってください。

1 **プリンタの電源をオフ（○）にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**

2 **両面印刷ユニットの両側下部に取り付けてあるネジ（2 個）を緩めます。**



3 ロック解除ボタンを押してフックを解除し、両面印刷ユニットを取り外します。



4 保管していたBカバーの用紙経路カバーを取り付けます。

5 取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続して、プリンタの電源をオン（ | ）にします。

以上で両面印刷ユニットの取り外しは終了です。

手差しトレイの取り付け

ここでは、本機に手差しトレイ（型番：LPA3TT1）を取り付ける方法について説明します。手差しトレイについては、以下のページを参照してください。

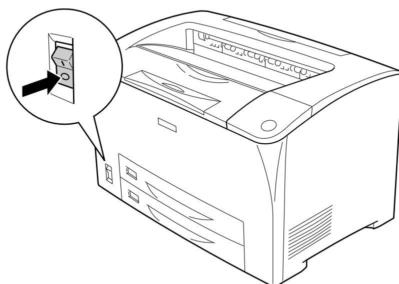
本書 274 ページ「手差しトレイ」

手差しトレイへの用紙のセット方法は以下のページを参照してください。

本書 25 ページ「手差しトレイへの用紙のセット」

取り付けは以下の手順に従って行ってください。

1. **プリンタの電源をオフ（○）にします。**



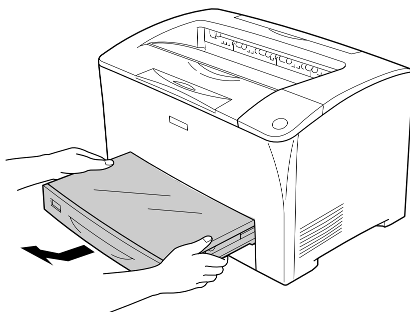


ポイント

- 手差しトレイと MP カセットを交換して取り付ける場合は、必ず電源をオフにして交換してください。電源をオンのまま交換すると、正しく給紙できません。
- 手差しトレイを装着した場合、操作パネル上は「MP」、プリンタドライバ上は「MP カセット」として扱われます。

2. **MP カセットを引き抜きます。**

カセットを手前に引き出し、少し持ち上げて完全に引き抜きます。

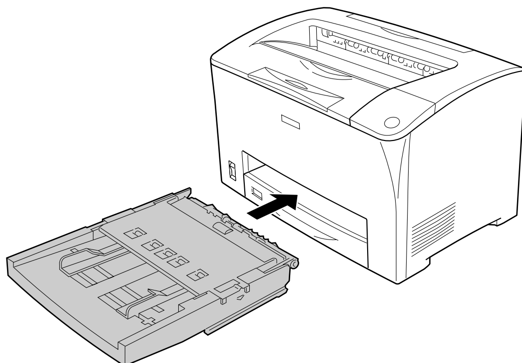




ポイント

取り外した MP カセットは大切に保管してください。

3 **MP カセットを取り外した給紙口に、手差しトレイを奥まで差し込んで取り付けます。**



4 **プリンタの電源をオン（ | ）にします。**

5 **プリンタが手差しトレイを正しく認識していることを確認します。**

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。

本書 239 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

正しく取り付けられているときは、[給紙装置] の項目に [MP トレイ] と印刷されます。

以上で手差しトレイの取り付けは終了です。

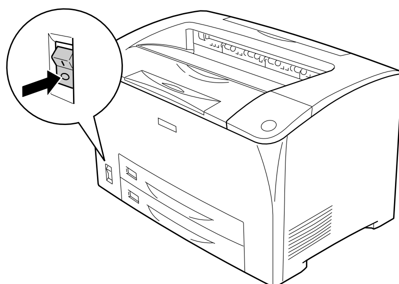

ポイント

手差しトレイへの給紙は、直前に印刷した用紙が完全に排紙されてから行ってください。印刷中に給紙すると直前の印刷用紙の延長として給紙される場合があります。

手差しトレイの取り外し

手差しトレイを取り外すときは、以下の手順に従ってください。

1. **プリンタの電源をオフ（○）にします。**



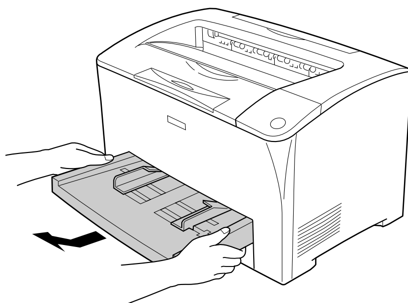


ポイント

手差しトレイと MP カセットを交換して取り付ける場合は、必ず電源をオフにして交換してください。電源をオンのまま交換すると、正しく給紙できません。

2. **手差しトレイを引き抜きます。**

手差しトレイを手前に引き出し、少し持ち上げて完全に引き抜きます。



以上で手差しトレイの取り外しは終了です。



ポイント

手差しトレイを取り外したら、標準の MP カセットを取り付けてご使用ください。

用紙カセットの取り付け

オプションの用紙カセット（型番：LPA3YC1）は、標準の用紙カセットまたはオプションの 250 枚ユニバーサルカセットユニットの用紙カセットと差し替えて使用します。オプションの用紙カセットについては、以下のページを参照してください。

本書 275 ページ「用紙カセット」

オプションの用紙カセットの着脱方法と用紙のセット方法については以下のページを参照してください。

本書 17 ページ「MP カセット / 用紙カセットへの用紙のセット」

オプション装着時の設定（Windows）

メモリや給紙装置などのオプションを装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。



- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- ここでは Windows 98 のプロパティ画面を掲載しますが、手順は同じです。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

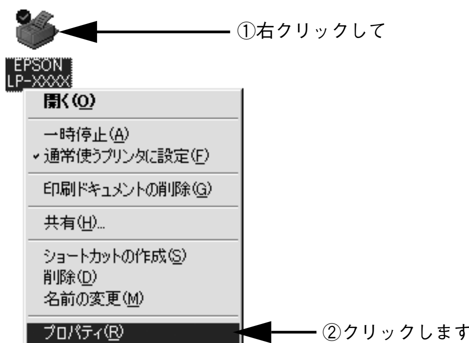
［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

2 **LP-7900/LP-9100 のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。**

このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。

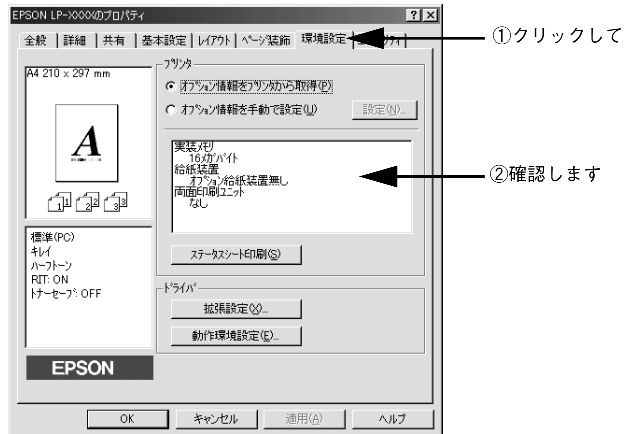




通信エラーが発生した場合は、［OK］ボタンをクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 ［環境設定］タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。

- ［オプション情報をプリンタから取得］が選択された状態で自動的にオプション情報が取得できれば、装着したオプションをリストに表示します。**6** へ進みます。



- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。**4** へ進みます。

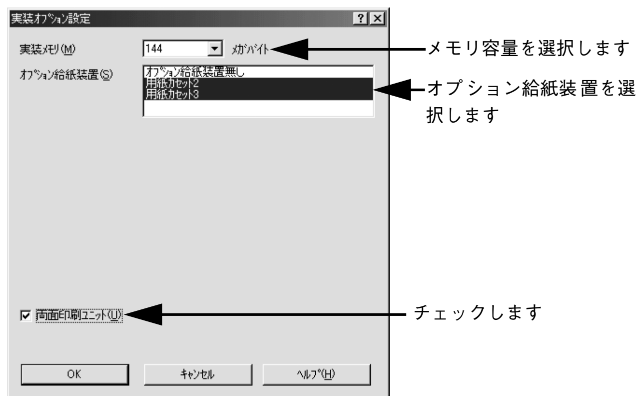
4 ［オプション情報を手動で設定］をクリックして、［設定］ボタンをクリックします。

［実装オプション設定］ダイアログが開きます。



5 **装着したオプションを選択して、[OK] ボタンをクリックします。**

- [実装メモリ] リストから、増設したメモリの容量を含めてプリンタの総メモリ容量を選択します。
- [オプション給紙装置] リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。
- 両面印刷ユニットを装着した場合は、チェックボックスをチェックします。



設定の詳細は、以下のページを参照してください。
本書 76 ページ「[実装オプション設定] ダイアログ」

6 **[OK] ボタンをクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。**

以上でオプションの設定は終了です。


ポイント

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。
本書 239 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などについて説明しています。

ET カートリッジの交換

ET カートリッジについて

本機で使用可能な ET カートリッジは次の通りです。

型番	商品名
LPA3ETC14	ET カートリッジ（約 6,000 枚印刷可能）*1
LPA3ETC15	ET カートリッジ（約 10,000 枚印刷可能）*1

*1 印刷可能枚数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナー消費量は異なります。



本製品は純正 ET カートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

交換時期

- A4 サイズの紙に面積比で約5% の連続印刷を行った場合、1つのETカートリッジで約6,000 枚（LPA3ETC14）/ 約 10,000 枚（LPA3ETC15）まで印刷できます。ただし、使用状況によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 では、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。トナーが残り少なくなると交換を促すメッセージが表示されますので、新しいET カートリッジと交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しいET カートリッジと交換してください。
  ☞ Windows：本書 85 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  ☞ Macintosh：本書 191 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

交換時の注意



ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- 一度プリンタに取り付けた ET カートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、ET カートリッジを室温に慣らすため 1 時間以上待ってから使用してください。
- ET カートリッジの感光体保護シャッタは開けないでください。また、カートリッジ内部の感光体（青色の部分）には手を触れないでください。印刷品質が低下します。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

保管上の注意

> ⚠注意　子供の手の届かないところに保管してください。

- ET カートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 80% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT ディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。

使用済み ET カートリッジ

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み ET カートリッジの回収方法については、新しい ET カートリッジに添付されておりますご案内シート、または以下のページを参照してください。

☞ 本書 279 ページ「使用済み ET カートリッジの回収について」

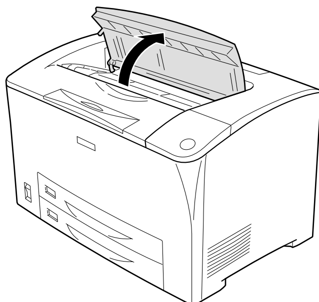
やむを得ず、使用済み ET カートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

> ⚠警告　ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

ET カートリッジの交換手順

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。以下の手順に従ってください。

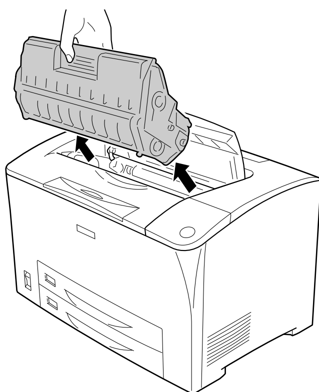
1. **プリンタの A カバーをゆっくり開けます。**



2. **取っ手を持ち、使用済みの ET カートリッジを引き上げて取り外します。**

使用済みの ET カートリッジについては、以下のページを参照してください。

本書 306 ページ「使用済み ET カートリッジ」





ET カートリッジは火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。



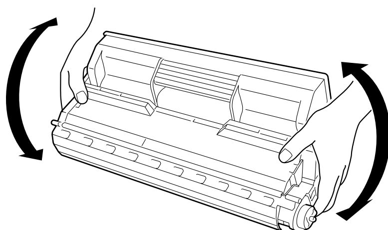
使用中に ET カートリッジを取り外したときは、定着器部分に触れないでください。内部は高温（約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。定着器部分の冷却には、プリンタの電源を切ってから 40 分以上必要です。



プリンタ内部の転写ローラやギアには手を触れないでください。故障や印刷品質劣化の原因になります。

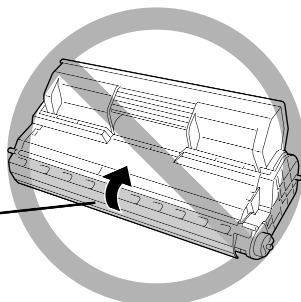
3 **新しいETカートリッジを梱包箱から取り出し、図のように左右に傾けながら7～8回ゆっくり振ります。**

ETカートリッジ内部のトナーが均一な状態にします。



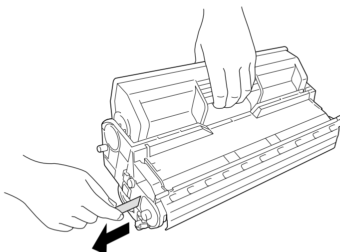


- 感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。



- 取り出したETカートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

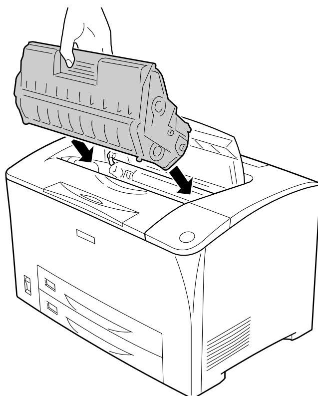
4 **ETカートリッジを平らな場所に置き、保護材（黄色のシールドテープ）を引き抜きます。**



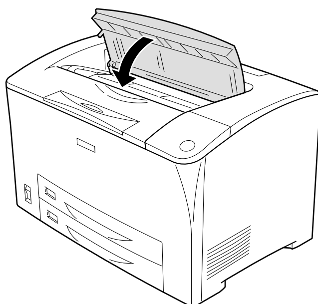
5 **ETカートリッジをプリンタに取り付けます。**

①ET カートリッジ上面に表示されている矢印をプリンタの A カバー側に向けて ET カートリッジをセットします。

②両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。



6 **プリンタのAカバーをしっかり閉じます。**





ET カートリッジを取り付けたまま、プリンタを運搬しないでください。トナーがプリンタ内部にこぼれ、印刷品質に影響を与えたり、故障の原因となります。

以上でETカートリッジの交換は終了です。

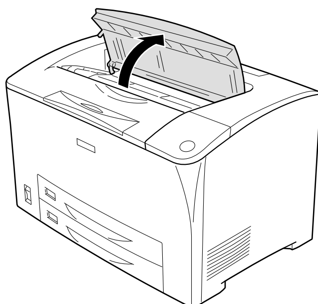
給紙ローラのクリーニング

用紙トレイから給紙できなくなったときにはプリンタ内部の給紙ローラをクリーニングしてください。

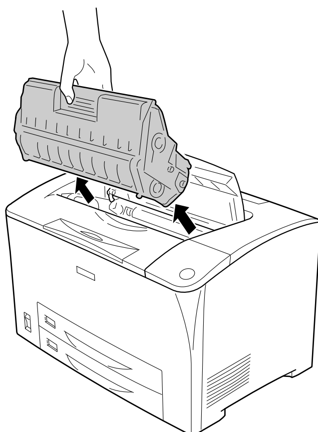


- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

1 プリンタの電源をオフ（〇）にして、プリンタの A カバーをゆっくり開けます。



2 取っ手を持ち、ET カートリッジを引き上げます。

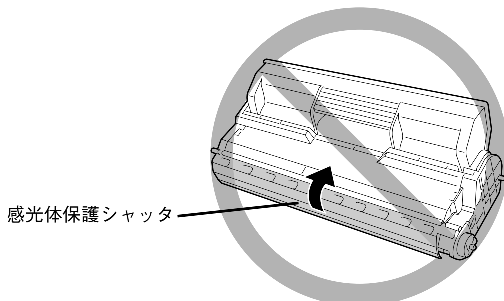




使用中に ET カートリッジを取り外したときは、定着器部分に触れないでください。内部は高温（約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。定着器部分の冷却には、プリンタの電源を切ってから 40 分以上必要です。



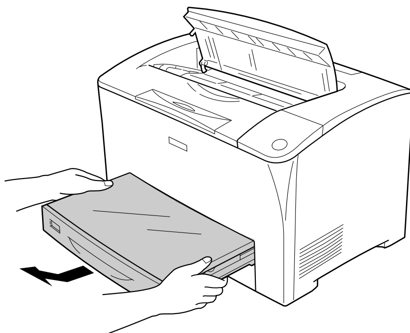
- プリンタ内部の転写ローラやギアには手を触れないでください。故障や印刷品質劣化の原因になります。
- 感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。



- 取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

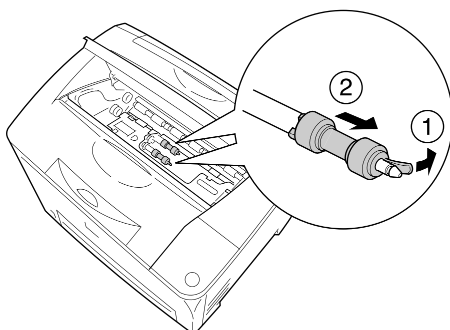
3 **MP カセットをプリンタから引き抜きます。**

カセットを手前に引き出し、少し持ち上げて完全に引き抜きます。



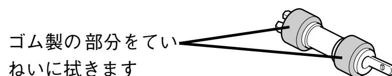
4 **給紙ローラ（2 個）を取り外します。**

給紙ローラ先端のフック外して、給紙ローラをていねいに引き抜きます。



5 **水を湿らせてかたく絞った布で給紙ローラのゴム部分をていねいに拭きます。**

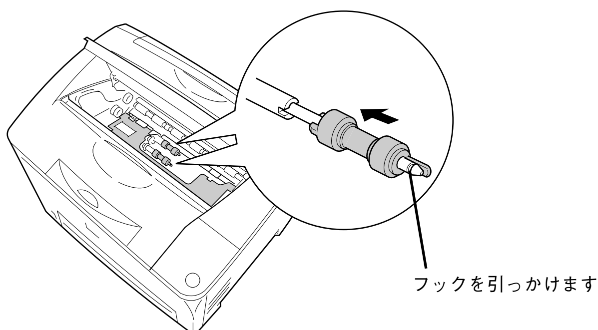
給紙ローラのゴム部分は 2 箇所あります。



6 **給紙ローラを軸に差し込んで固定します。**

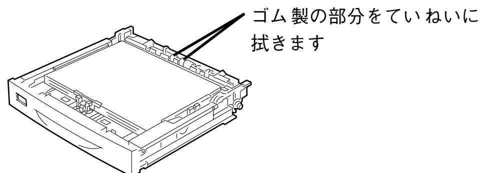
① 給紙ローラ側の凸部分（2 箇所）が軸側の凹部分（2 箇所）にはまるように軸に差し込みます。なお、給紙ローラが軸に差し込みにくい場合は、給紙ローラ周辺の金属フレーム先端を少し持ち上げるようにして差し込みます。

② 給紙ローラ先端のフックを軸の凹部分に引っかけて固定します。

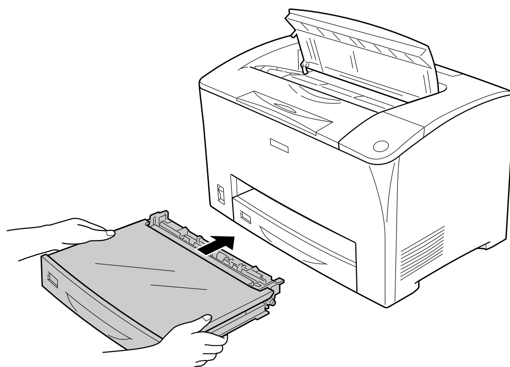


7 **カセットの給紙ローラのゴム部分を拭きます。**

MP カセットと用紙カセット（標準およびオプション）の給紙ローラ（奥側の先端）のゴム部分を、5 と同様に水を湿らせてかたく絞った布で、ていねいに拭きます。



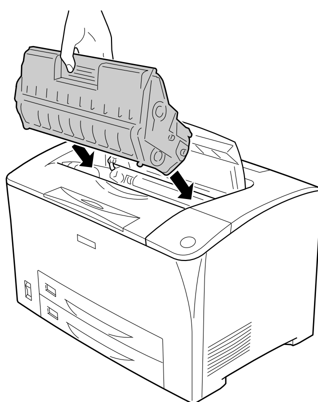
8 **MP カセットをプリンタに差し込みます。**



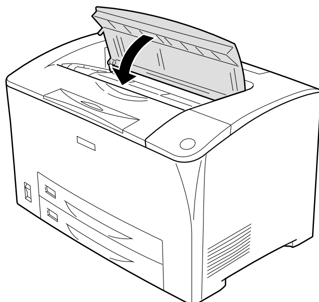
9 **ET カートリッジをプリンタに取り付けます。**

① ET カートリッジ上面に表示されている矢印をプリンタの A カバー側に向けて ET カートリッジをセットします。

② 両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。



10 プリンタのＡカバーをしっかり閉じます。



以上で給紙ローラのクリーニングは終了です。

プリンタの清掃

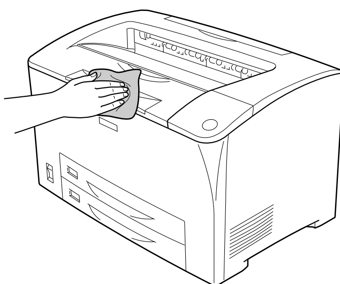
プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

⚠注意	プリンタの清掃は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。



- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。



プリンタの輸送と移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

輸送の方法

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などをすべて外し、もう一度梱包してください。以下のものが取り付けられている場合は、取り外してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- ET カートリッジ
- オプションの 250 枚ユニバーサルカセットユニット /550 枚ユニバーサルカセットユニット（装着時のみ）
- オプションの両面印刷ユニット（装着時のみ）
  本書 295 ページ「両面印刷ユニットの取り外し」
- オプションの手差しトレイ（装着時のみ）
  本書 299 ページ「手差しトレイの取り外し」

輸送時の注意

プリンタ本体に梱包材を付けて、梱包箱に入れます。プリンタは精密機械ですので、梱包方法によっては輸送中に思わぬ破損を招くことも考えられます。下記の注意に従って、確実に梱包してください。

- 取り外した使用中 / 使用済みの ET カートリッジは、常に水平を保ちながら取り扱ってください。トナーがこぼれることがあります。
- 製品購入時に使用されていた梱包材を使用して購入時の状態で梱包してください。



- プリンタからETカートリッジを必ず取り外してください。取り外したカートリッジは、製品購入時の梱包箱か袋などに入れて輸送してください。
- 製品購入時に取り付けられていた輸送用の保護材を必ず取り付けて輸送してください。

移動の方法

プリンタを設置していた台を代えたり、隣の部屋に移動する場合は、付属品をすべて取り外す必要はありません。以下の部品のみを取り外して、振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- オプションの 250 枚ユニバーサルカセットユニット /550 枚ユニバーサルカセットユニット（装着時のみ）

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

電源コンセントに電気が来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。



ポイント

以上の 3 点を確認の上で電源スイッチをオン (I) にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）、またはお買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口へのご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

印刷できない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ スタートアップガイド 19 ページ「コンピュータと接続する」

プリンタが印刷できない状態です。

プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示を確認します。エラーが表示されている場合は、以下のページを参照し、対処してから［印刷可］スイッチを押します。

☞ 本書 242 ページ「液晶ディスプレイの表示メッセージについて」

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。解像度を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

- ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。
- オプションの I/F カードの取扱説明書を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows の場合

LP-7900/LP-9100 のプリンタドライバが、［コントロールパネル］の［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダにアイコンとして登録されていますか？また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

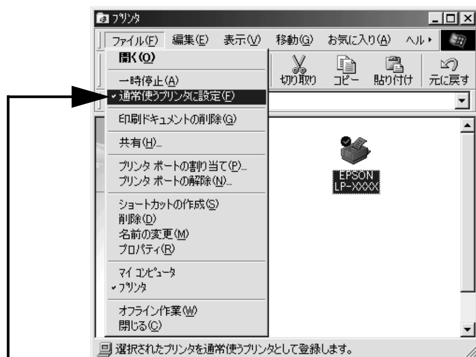
1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**
   - **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**
     ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
   - **Windows XP の場合**

   ① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
   ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷へ進みます。
   ② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
   ③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  使用するプリンタ名（LP-7900/LP-9100）を選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。



［通常使うプリンタに設定］にチェックマークが付いているか確認します。

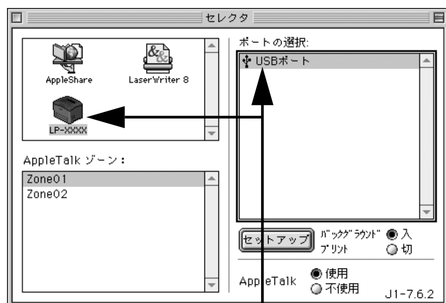
- **Windows XP の場合**

  ［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名（LP-7900/LP-9100）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Macintosh の場合

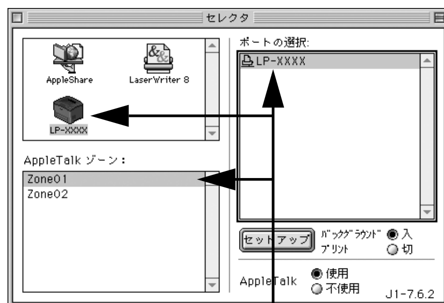
お使いの機種のプリンタドライバが、セレクタ画面で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

＜ USB 接続の場合＞



選択したプリンタドライバが正しいか確認します。

＜ AppleTalk接続の場合＞



選択したプリンタドライバが正しいか確認します。

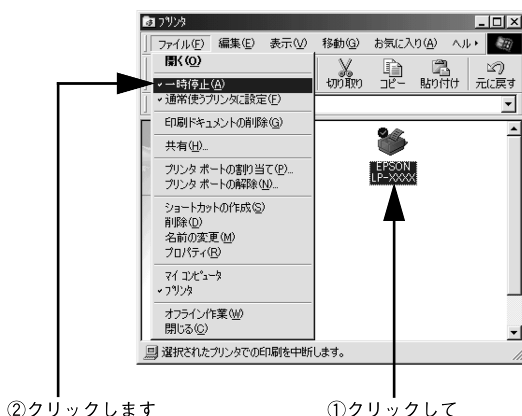
Windows プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows 95/98/Me の場合

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

② LP-7900/LP-9100 のアイコンをクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。



Windows NT4.0/2000/XP の場合

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

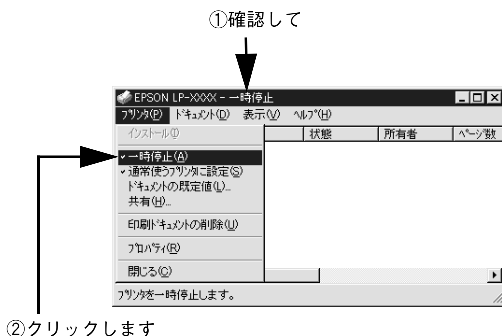
- **Windows NT4.0/2000 の場合**
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-7900/LP-9100 のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は[プリンタ]メニューの[一時停止]をクリックしてチェックを外します。



Windows プリンタドライバの［接続ポート］を確認してください。

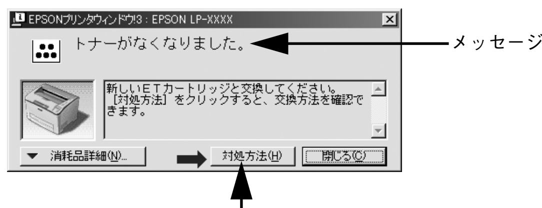
プリンタドライバの[接続ポート]の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。
本書 121 ページ「プリンタ接続先の変更」

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合に、プリンタに問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容を一読して必要な手段を講じてください。

＜例＞Windows の EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合



［対処方法］ボタンがある場合には、そのボタンをクリックすると対処方法が表示されます。対処方法に従って問題を解決することができます。



ポイント

プリンタにエラーや問題が発生すると、プリンタのエラーランプが点滅して液晶ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。以下のページに詳しく対処方法を説明していますので参照してください。
本書 242 ページ「液晶ディスプレイの表示メッセージについて」

操作パネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？

ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。

本書 243 ページ「ワーニングメッセージ」
本書 245 ページ「エラーメッセージ」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

Windows プリンタドライバの設定を確認してください。

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合､ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定についての詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Macintosh のセレクタでプリンタを選択していない

正しいプリンタドライバが選択されていますか？

本プリンタのプリンタドライバを選択してください。

スタートアップガイド 47 ページ「プリンタドライバの選択」

正しいゾーン、プリンタが選択されていません。

プリンタが接続されているゾーンを確認して、印刷するプリンタを選択してください。

Macintosh のセレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない

QuickDraw GX を使用していませんか？

本プリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。
QuickDraw GX を使用停止にしてください。
☞ スタートアップガイド 45 ページ「システム条件の確認」

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違いませんか？

プリンタの接続されているゾーンを選択してください。

プリンタ名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタを選択してください。

エラーが発生する

Macintosh をお使いの場合、Mac OS 8.6 〜 9.x を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、MacOS 8.6 〜 9.x です。
☞ スタートアップガイド 45 ページ「システム条件の確認」

プリンタのメモリ容量は十分ですか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷品質（解像度）を［はやい］にすると印刷できる場合があります。
☞ Windows：本書 47 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」
またはプリンタへのメモリの増設をお勧めします。

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を 8MB 以上（32MB 以上を推奨）に増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？

設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。

本書 12 ページ「用紙について」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

MP カセットや用紙カセットが正しくセットされていますか？

用紙カセットを正しくセットしてください。

本書 17 ページ「MP カセット / 用紙カセットへの用紙のセット」

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートを印刷して、給紙装置の用紙サイズを確認してください。

Windows：本書 73 ページ「[環境設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 181 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」
本書 239 ページ「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

Windows：本書 47 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「[プリント] ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

改ページ命令がアプリケーションソフトから送られていますか？

アプリケーションソフトによっては、データの最後に排紙命令を出さないものもあります。[印刷可] スイッチを押して印刷可ランプを消してから [印刷可] スイッチを約 2 秒間押してください。


給紙ローラが汚れていませんか？
給紙ローラを拭いてください。
本書 310 ページ「給紙ローラのクリーニング」

紙詰まりエラーが解除されない


詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
A カバーを一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、エプソンサービスコールセンターまたは保守契約店にご連絡ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

用紙を二重送りしてしまう


用紙どうしがくっついていませんか？
用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。


官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。


本機以外のプリンタで裏面に印刷された用紙を使用していませんか？
一度印刷した後の裏紙は使用できません。
本書 13 ページ「印刷できない用紙」
用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。
本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」


用紙が完全に排紙される前に手差しトレイに給紙していませんか？
オプションの手差しトレイへの給紙は、必ず直前に印刷した用紙が完全に排紙されてから行ってください。
25 ページ「手差しトレイへの用紙のセット」


MP カセットへセットした用紙の用紙指定は正しくされていますか？
MP カセットで用紙サイズを自動検知できるのは、A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、官製ハガキのみです。それ以外のサイズの用紙をセットする場合は、操作パネルで［MP ヨウシサイズ］を設定してください。
本書 216 ページ「MP ヨウシサイズ」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？

特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ I ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。）

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？（ローカル接続時）

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

☞ 本書 272 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？（ローカル接続時）

Windows の場合、双方向通信機能の設定を確認してください。

- Windows 95/98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

I/F カードがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

NetWare 共有プリンタを監視するには、監視するプリンタにインターフェイスカード（PRIFNW3S）を装着する必要があります。



他のインターフェイスから印刷していませんか？

印刷の終了後に再度印刷を実行してみてください。



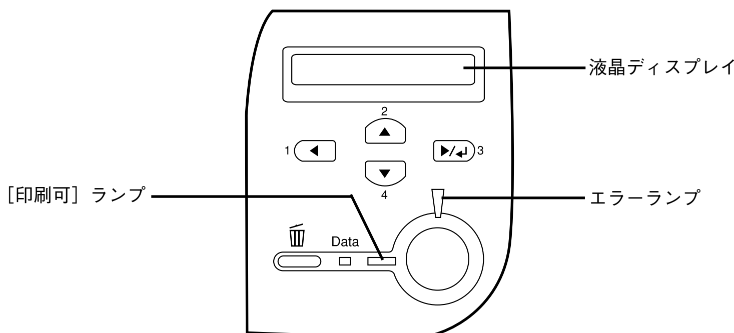
お使いのネットワーク環境（NetBEUI 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時など）によっては、EPSON プリンタウィンドウ !3 がネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。このような場合には、［ユーティリティ］タブ内の［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してお使いください。

本書 84 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

用紙が詰まったときは

用紙が詰まる主な原因と、詰まった用紙を取り除く方法を説明します。

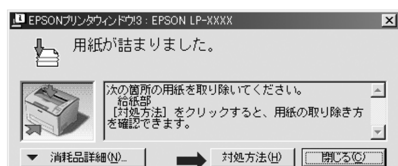
紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプが消灯し、エラーランプが点灯して液晶ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。本書の手順に従って用紙を取り除いてください。



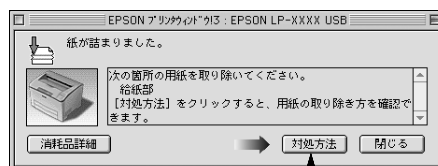
また、EPSON プリンタウィンドウ!3 が紙詰まりをお知らせします。［対処方法］ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従って作業してください。

Windows：本書 85 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Macintosh：本書 191 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

Windows：給紙口で詰まった場合



Macintosh：給紙口で詰まった場合



以下の表でメッセージを確認し、該当する参照ページの説明に従って詰まった用紙を取り除いてください。

液晶ディスプレイのメッセージ	EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージ	用紙詰まりの発生箇所	参照ページ
カミヅマリ　MP A	次の箇所の用紙を取り除いてください。給紙部	MP カセットまたはオプションの手差しトレイ	331 ページ
カミヅマリ　C1 A	次の箇所の用紙を取り除いてください。給紙部	用紙カセット（標準 1 段目）	
カミヅマリ　C2 A	次の箇所の用紙を取り除いてください。給紙部	オプションのユニバーサルカセットユニット（増設 2 段目）	
カミヅマリ　C3 A	次の箇所の用紙を取り除いてください。給紙部	オプションのユニバーサルカセットユニット（増設 3 段目）	
カミヅマリ　A	次の箇所の用紙を取り除いてください。内部	プリンタ内部の給紙経路	334 ページ
カミヅマリ　A　B	次の箇所の用紙を取り除いてください。排紙部	プリンタ内部の給紙経路または排紙部	338 ページ
カミヅマリ　DM	次の箇所の用紙を取り除いてください。両面印刷ユニット	オプションの両面印刷ユニット	343 ページ



紙詰まりの状態で放置しないでください。詰まった場所によっては、定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- 用紙が正しくセットされていない
- MP カセットや用紙カセットが正しくセットされていない
- 操作パネルで設定したMP カセットの用紙サイズと実際の用紙サイズが合っていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
  本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている
  本書 310 ページ「給紙ローラのクリーニング」

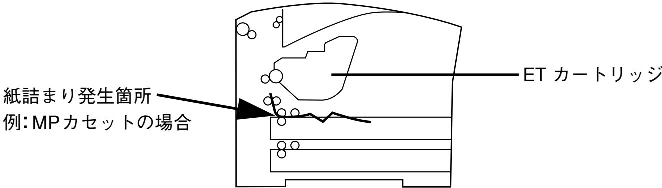


- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。

カミヅマリ MP A、C1 A、C2 A、C3 A（給紙部）

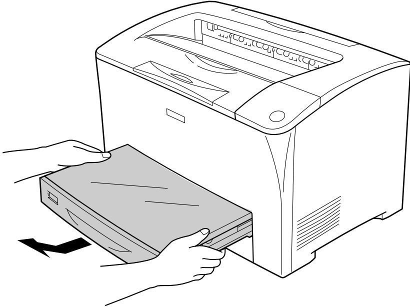
プリンタの液晶ディスプレイやEPSONプリンタウィンドウ!3に以下のいずれかのメッセージが表示されたら、MP カセットまたは用紙カセット（標準またはオプション）から詰まった用紙を取り除いてください。

液晶ディスプレイのメッセージ	EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージ	用紙詰まりの発生箇所
カミヅマリ　MP A	次の箇所の用紙を取り除いてください。 給紙部	MP カセットまたはオプションの手差しトレイ
カミヅマリ　C1 A	次の箇所の用紙を取り除いてください。 給紙部	用紙カセット（標準 1 段目）
カミヅマリ　C2 A	次の箇所の用紙を取り除いてください。 給紙部	オプションのユニバーサルカセットユニット（増設 2 段目）
カミヅマリ　C3 A	次の箇所の用紙を取り除いてください。 給紙部	オプションのユニバーサルカセットユニット（増設 3 段目）



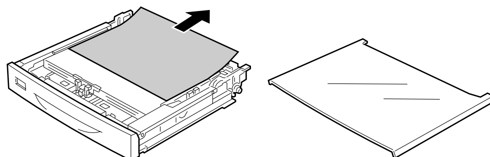
ここでは、用紙カセットで詰まった用紙を取り除く手順を図で示して説明します。用紙カセット（標準またはオプション）の場合も基本的な手順は同じですので、詰まった用紙を探して取り除いてください。

1. **MP カセットや用紙カセット（標準またはオプション）をプリンタから引き抜きます。**
   カセットを手前に引き出し、少し持ち上げて完全に引き抜きます。



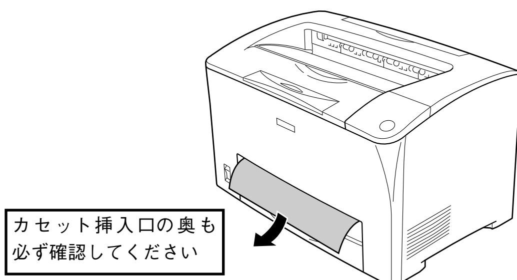
2 **カセット内に詰まった用紙があるか確認し、あれば取り除きます。**

カセットのカバーを取り外して詰まった用紙を取り除き、カバーを用紙カセットに取り付けます。



3 **プリンタやオプションのユニバーサルカセットユニットの給紙部で用紙が詰まっているときは、矢印の方向にゆっくり用紙を引き抜きます。**

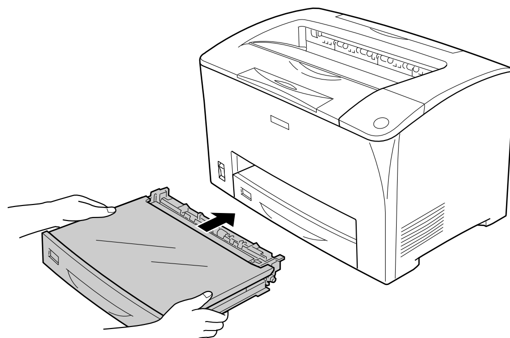
オプションの手差しトレイで用紙が詰まっている場合も、同様に矢印の方向にゆっくり用紙を引き抜きます。



用紙がプリンタ内部の給紙経路に引き込まれて取り除けない場合や、詰まった用紙が見つからない場合は、プリンタのA カバーを開けて詰まった用紙を取り除きます。

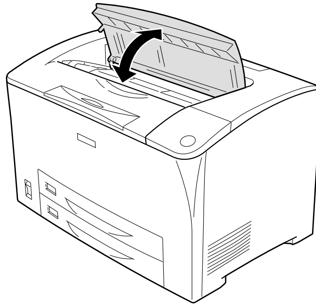
本書 334 ページ「カミヅマリ A（内部）」

4 **残りの用紙がカセットに正しくセットされていることを確認してから、カセットをプリンタ本体にセットし直します。**



5 プリンタのAカバーを一旦開閉します。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いたあと、プリンタのAカバーを開閉することで解除されます。





MP カセットや用紙カセットの給紙口から詰まった用紙を引き抜いた場合、用紙を引き抜いた後も液晶ディスプレイに［ヨウシガツマリマシタ］と表示されていることがあります。これは、プリンタのAカバーを開閉しないと紙詰まりのエラーが解除されないためです。プリンタ内部に詰まった紙がなくても、Aカバーの開閉を1回行ってください。

液晶ディスプレイの表示が［ウォームアップ］→［インサツカノウ］へと戻ることを確認します。正常に印刷排紙できなかったページは自動的に再度印刷されます。

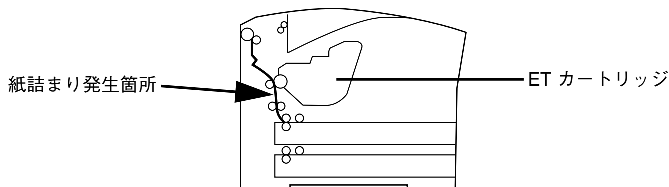


詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

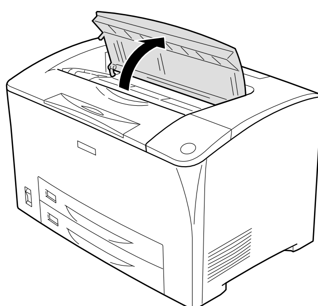
カミヅマリ A（内部）

プリンタの液晶ディスプレイやEPSON プリンタウィンドウ !3 に以下のメッセージが表示されたら、プリンタ内部の給紙経路から詰まった用紙を取り除いてください。

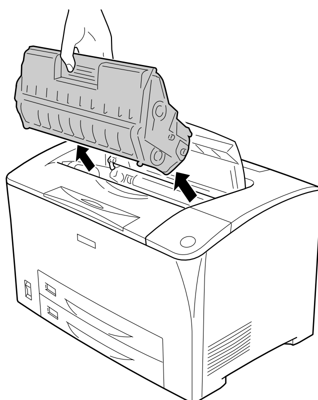
液晶ディスプレイのメッセージ	EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージ	用紙詰まりの発生箇所
カミヅマリ　A	次の箇所の用紙を取り除いてください。 内部	プリンタ内部の給紙経路



1 Aカバーを開けます。



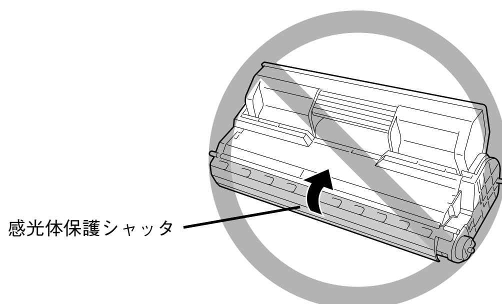
2 取っ手を持ち、ET カートリッジを引き上げて取り外します。



⚠注意　使用中に ET カートリッジを取り外したときは、定着器部分に触れないでください。内部は高温（約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。定着器部分の冷却には、プリンタの電源を切ってから 40 分以上必要です。

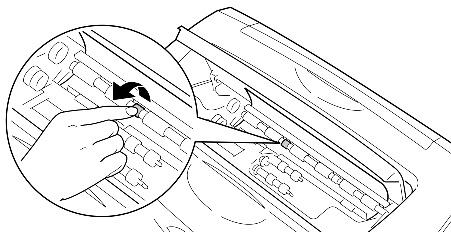


- プリンタ内部の転写ローラやギアには手を触れないでください。故障や印刷品質劣化の原因になります。
- ET カートリッジを取り出してから､詰まった用紙を取り除いてください｡ET カートリッジを取り出さずに詰まった用紙を無理に引き出すと、印字不良等の原因になります。
- 感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。



- 取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

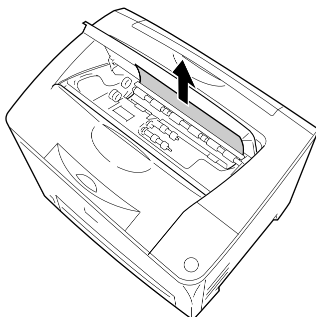
3　詰まっている用紙を取り出しにくい場合は、図のように緑色のローラを手前に回して詰まった用紙にたるみを作り、引き抜きやすくします。





緑色以外のゴムローラには触れないでください。紙詰まりの原因となります。

4 **詰まっている用紙を図の矢印の方向に引き抜きます。**



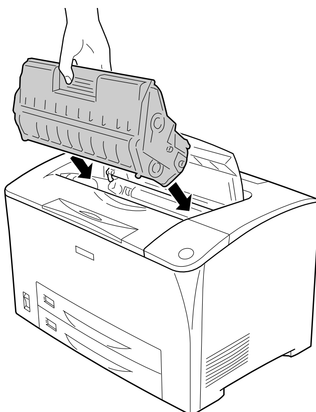


詰まった用紙は、必ず矢印の方向へゆっくり引き抜いてください。

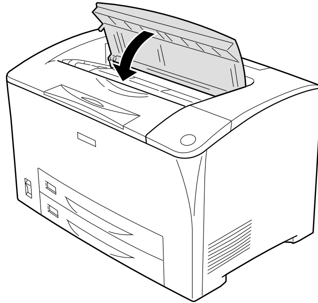
5 **ET カートリッジをプリンタに取り付けます。**

①ET カートリッジ上面に表示されている矢印をプリンタの A カバー側に向けて ET カートリッジをセットします。

② 両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。



6 **プリンタのＡカバーをしっかり閉じます。**



液晶ディスプレイの表示が［ウォームアップ］→［インサツカノウ］へと戻ることを確認します。正常に印刷排紙できなかったページは自動的に再度印刷されます。

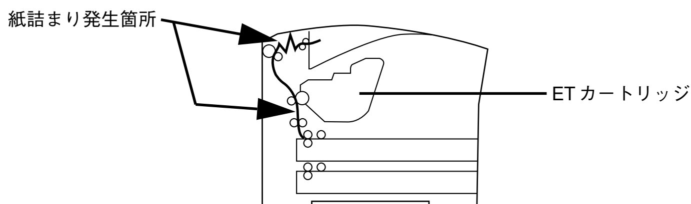


詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

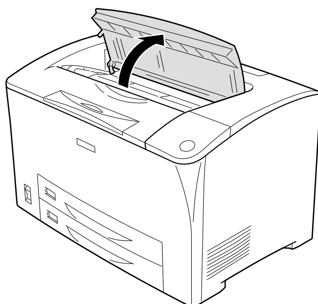
カミヅマリ A B（排紙部）

プリンタの液晶ディスプレイやEPSON プリンタウィンドウ !3 に以下のメッセージが表示されたら、プリンタ内部の給紙経路または排紙部から詰まった用紙を取り除いてください。

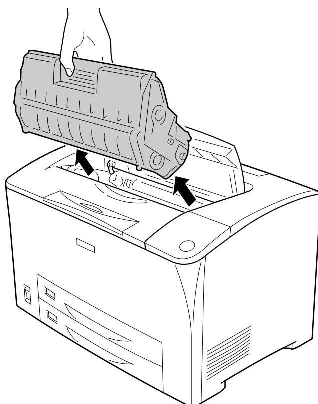
液晶ディスプレイのメッセージ	EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージ	用紙詰まりの発生箇所
カミヅマリ　A　B	次の箇所の用紙を取り除いてください。 排紙部	プリンタ内部の給紙経路または排紙部



1. A カバーを開けます。



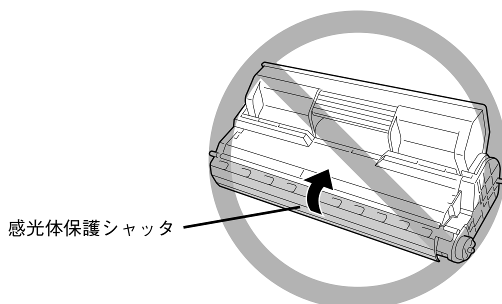
2. 取っ手を持ち、ET カートリッジを引き上げて取り外します。



⚠注意 使用中に ET カートリッジを取り外したときは、定着器部分に触れないでください。内部は高温（約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。定着器部分の冷却には、プリンタの電源を切ってから 40 分以上必要です。



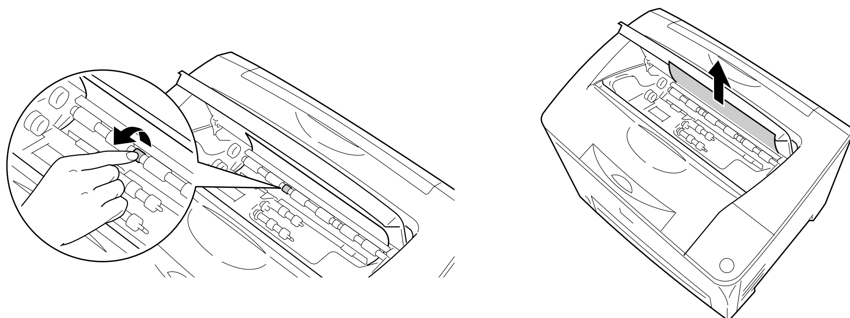
- プリンタ内部の転写ローラやギアには手を触れないでください。故障や印刷品質劣化の原因になります。
- ET カートリッジを取り出してから、詰まった用紙を取り除いてください。ET カートリッジを取り出さずに詰まった用紙を無理に引き出すと、印字不良等の原因になります。
- 感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。



- 取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

3 **詰まっている用紙がないか確認し、あれば引き抜きます。**

- 詰まった用紙が見つからない場合は、4 へ進みます。
- 詰まっている用紙は、右側の図のように矢印の方向に引き抜きます。用紙が取り出しにくい場合は、左側の図のように緑色のローラ部分を手前に回して詰まった用紙にたるみを作り、引き抜きやすくします。用紙を取り除いたら 8 へ進みます。



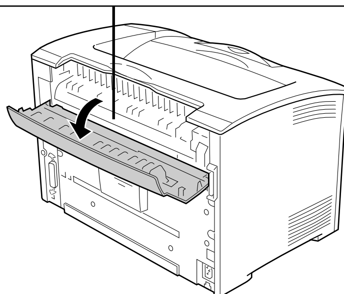

注 意

- 緑色以外のゴムローラには触れないでください。紙詰まりの原因となります。
- 詰まった用紙は、必ず矢印の方向へゆっくり引き抜いてください。

4 **プリンタのＢカバーを開けます。**



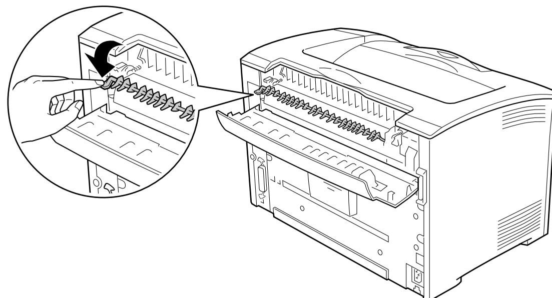
Ｂカバーを開けたとき、定着器に手を触れないようご注意ください。内部は約200度と高温のため火傷の原因になります。定着器部分の冷却には、プリンタの電源を切ってから40分以上必要です。



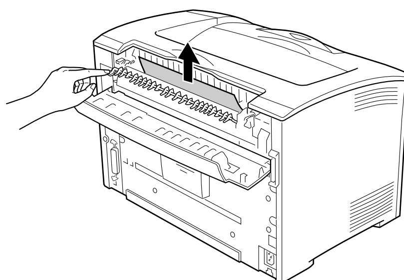

ポイント

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、両面印刷ユニットのカバーを開けてからプリンタのＢカバーを開けます。

5 図の用紙押さえレバー（緑色★印付き）を手前に半回転させ、用紙押さえを開けます。



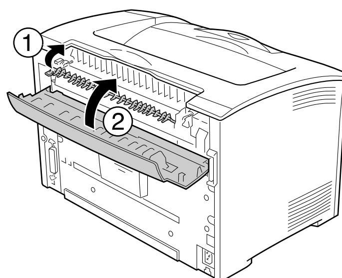
6 詰まっている用紙があれば、用紙押さえを開けたままの状態で、用紙を図の矢印の方向に引き抜きます。





詰まった用紙は、必ず矢印の方向へゆっくり引き抜いてください。

7 用紙押さえを閉じてから、B カバーを閉じます。



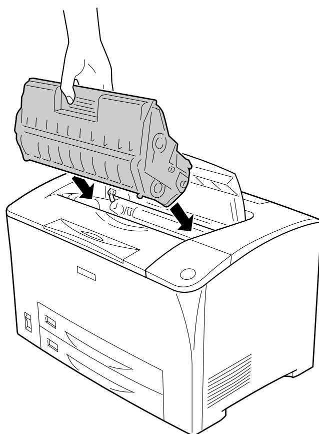


オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、プリンタの B カバーを閉めてから両面印刷ユニットのカバーを閉めます。

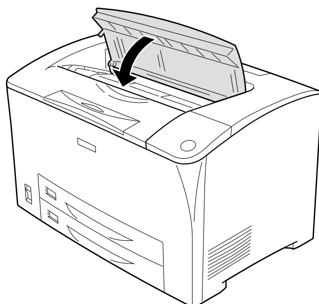
8 **ET カートリッジをプリンタに取り付けます。**

①ET カートリッジ上面に表示されている矢印をプリンタの A カバー側に向けて ET カートリッジをセットします。

② 両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。



9 **プリンタの A カバーをしっかり閉じます。**



液晶ディスプレイの表示が［ウォームアップ］→［インサツカノウ］へと戻ることを確認します。正常に印刷排紙できなかったページは自動的に再度印刷されます。

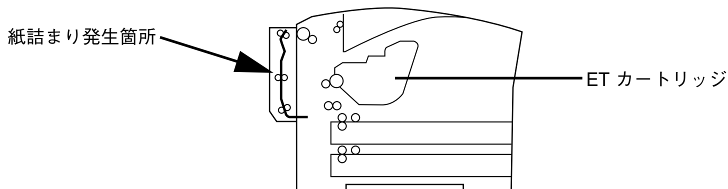


詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

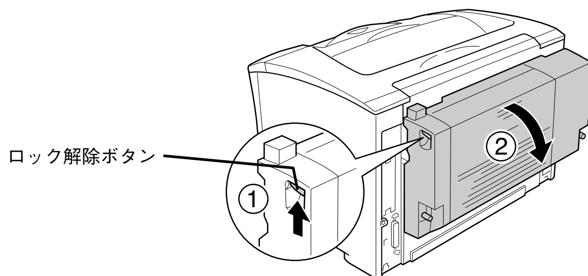
カミヅマリ DM（両面印刷ユニット）

プリンタの液晶ディスプレイや EPSON プリンタウィンドウ !3 に以下のメッセージが表示されたら、オプションの両面印刷ユニットから詰まった用紙を取り除いてください。

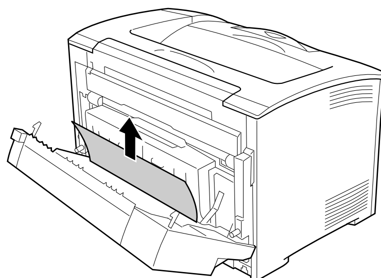
液晶ディスプレイのメッセージ	EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージ	用紙詰まりの発生箇所
カミヅマリ　DM	次の箇所の用紙を取り除いてください。 両面印刷ユニット	オプションの両面印刷ユニット



1. **両面印刷ユニットのカバーロック解除ボタンを押してカバーを開けます。**



2. **詰まった用紙を取り除きます。**



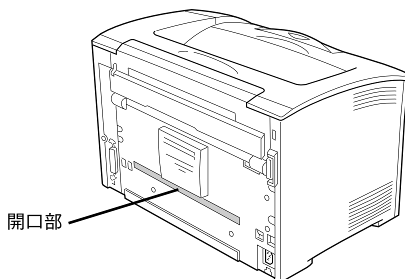
用紙がプリンタ内部の排紙経路上に残って取り除けない場合や、排紙部に送り出されて取り除けない場合は、プリンタの A カバーや B カバーを開けて詰まった用紙を取り除きます。

本書 338 ページ「カミヅマリ A B（排紙部）」

3 **両面印刷ユニットのカバーを元通りに閉じます。**



上記の手順で詰まった用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、両面印刷ユニットをプリンタ本体から取り外し、プリンタ本体背面下部の開口部で紙詰まりが発生していないかを確認してください。



用紙が詰まっていた場合は、その用紙を取り除いた後、両面印刷ユニットを元通りに取り付けてください。

本書 293 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」

液晶ディスプレイの表示が［ウォームアップ］→［インサツカノウ］へと戻ることを確認します。正常に印刷排紙できなかったページは自動的に再度印刷されます。



詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

印刷品質に関するトラブル

ET カートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正ET カートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。ET カートリッジは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できる ET カートリッジの当社純正品については、以下のページを参照してください。

本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

きれいに印刷できない

［RIT］機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

Windows：本書 50 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

印刷品質（解像度）が［きれい］（600dpi）に設定されていますか？

印刷品質（解像度）を［きれい］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、メモリを増設してください。

Windows：本書 47 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

Macintosh で、文字とグラフィックスデータが重なった印刷データを印刷していませんか？

文字とグラフィックスを重ねていて問題がある場合は、印刷モードを［CRT 優先］に設定して印刷してください。

Macintosh：本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

Macintosh で PGI 機能を使用する際に、［画質］が［速度優先］に設定されていませんか？

［PGI］の［画質］を［品質優先］に設定します。

Macintosh ：本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

トナーセーブ機能を使用していませんか?
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。
Windows:本書 50 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Macintosh:本書 163 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

裏紙に印刷していませんか?
本機で印刷した用紙を裏返して、もう一度給紙装置にセットして印刷すると、汚れやかすれが発生し、きれいに印刷できない場合があります。両面印刷を行う場合は、本機にオプションの両面印刷ユニットを装着してお使いください。
本書 293 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」

印刷の濃淡が思うように印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか?
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。
Windows:本書 50 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Macintosh:本書 163 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

プリンタドライバの[明暗]の設定を確認してください。
[グラフィック]の明暗設定を調整してください。
Windows:本書 50 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Macintosh:本書 163 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

印刷濃度の設定は適切ですか?
印刷濃度を調整してみてください。
Windows:本書 77 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
Macintosh:本書 166 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

印刷が薄いまたはかすれる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定は適切ですか？

印刷濃度を調整してください。

☞ Windows：本書 77 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 166 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しい ET カートリッジに交換してください。

☞ 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

ET カートリッジにトナーが残っていますか？

トナー残量を確認して、新しい ET カートリッジに交換してください。

☞ Windows：本書 91 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Macintosh：本書 193 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能を解除してください。

☞ Windows：本書 50 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 163 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙] の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、[用紙種類] を設定してください。

☞ Windows：本書 47 ページ「[基本設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 158 ページ「[プリント] ダイアログ」

黒点が印刷される

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、新しい ET カートリッジに交換してください。

☞ 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

周期的に汚れがある

プリンタ内の用紙経路が汚れていませんか？

用紙を数枚印刷してください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しいET カートリッジに交換してください。

本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

Windows：本書 47 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

黒い部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

用紙全体が黒く印刷されてしまう

ETカートリッジは正しくセットされていますか？
ET カートリッジを正しくセットし直してください。
本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

ETカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

黒線が印刷される

ETカートリッジが損傷または劣化している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

何も印刷されない

ETカートリッジは正しくセットされていますか？
ET カートリッジを正しくセットしてください。
本書 307 ページ「ET カートリッジの交換手順」

ETカートリッジの保護材（黄色のシールドテープ）が抜かれていますか？
黄色のシールドテープを引き抜いてください。
本書 307 ページ「ET カートリッジの交換手順」

プリンタ内で用紙が詰まっている可能性があります。
プリンタ内部 / 排紙部での用紙詰まりがないか確認してください。
本書 334 ページ「カミヅマリ A（内部）」
本書 338 ページ「カミヅマリ A B（排紙部）」

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ETカートリッジにトナーが残っていますか？
トナー残量を確認して、新しい ET カートリッジに交換してください。
Windows：本書 91 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Macintosh：本書 193 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
☞ 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

白抜けがおこる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？
適切な用紙を使用してください。
☞ 本書 12 ページ「印刷できる用紙の種類」

印刷濃度の設定は適切ですか？
印刷濃度を調整してください。
☞ Windows：本書 77 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 166 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
☞ Windows：本書 47 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れていませんか？
用紙を数枚印刷してください。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows：本書 134 ページ「印刷の中止方法」

☞ Macintosh：本書 200 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

TrueType フォントをプリンタフォントに置換していませんか？

プリンタドライバで TrueType フォントをプリンタフォントに置換しないように設定してください。

Windows の場合

［拡張設定］ダイアログの［TrueType フォント］設定［TrueType フォントでそのまま印刷］をクリックします。

☞ 本書 77 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

Macintosh の場合

［プリント］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログにある［プリンタフォント使用］の［漢字］/［欧文］をクリックしてチェックを外します。

☞ 本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

☞ 本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

プリンタモードの設定が間違っていませんか？

通常は［ジドウ］（初期設定）に設定してください。

☞ 本書 217 ページ「プリンタモードメニュー」

DOS アプリケーションソフトで正しい文字コードを選択していますか？

文字コード表を確認して、正しい文字コードを選択してください。

画面の表示が旧 JIS で表示されていませんか？

本機は、新 JIS コード（JISX0208-1990）を使用しています。アプリケーションの取扱説明書を参照して、画面の表示を新 JIS コードの設定にしてください。

プログラムを組む際に、コントロールコードが間違っていませんか？

ESC/P または ESC/Page のコントロールコードでプログラムしてください。ESC/P では、先頭行に［ESC@］のコードを入れてください。

ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？

パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。

本書 219 ページ「イメージホセイ」

ページの左右で切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

Windows：本書 47 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」


ポイント

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できる場合があります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。たとえば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

Windows：本書 55 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」
Macintosh：本書 170 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

Windows：本書 47 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 152 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバまたは操作パネルで印刷開始位置のオフセットを調整してください。

Windows：本書 77 ページ「[拡張設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 166 ページ「[拡張設定］ダイアログ」
本書 219 ページ「ウエオフセット」
本書 219 ページ「ヒダリオフセット」
本書 219 ページ「ウエオフセット B」
本書 219 ページ「ヒダリオフセット B」

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトで、お使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、お使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定してください。

エプソン PC シリーズ、NECPC-9800 シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

- エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
- NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

ESC/PS モードで印刷する場合、右マージンの設定が適切でない場合があります。

パネル設定で［ESC/PS カンキョウメニュー］の［ミギマージン］設定を修正してください。

本書 231 ページ「ミギマージン」

ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？

パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。

本書 219 ページ「イメージホセイ」

設定と異なる印刷をする

パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

楕円のような模様が印刷される

トナー残量が残り少ない可能性があります。

トナー残量が少ないと楕円のような 模様が印刷されることがあります。トナー残量を確認してトナーを交換してください。

☞ Windows：本書 91 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Macintosh：本書 193 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 305 ページ「ET カートリッジの交換」

ハーフトーンの印刷が画面と異なる

［PGI］機能を使用していませんか？

アプリケーションソフトが独自のハーフトーン処理を行っている場合、［PGI］機能を使用すると、意図した印刷結果が得られない場合があります。［PGI］機能を使用しないで印刷してください。

☞ Windows：本書 50 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

外字データまたはフォーマットデータが印刷できない

I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？

DOS で本機をお使いの場合、I/F タイムアウトが短いと正しく印刷できない場合があります。I/F タイムアウトの設定を長くしてください。

☞ 本書 221 ページ「I/F タイムアウト」

定形紙に思い通りの位置に印刷できない

MP カセットへセットした用紙の用紙指定は正しくされていますか？

MP カセットで用紙サイズを自動検知できるのは、A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、官製ハガキのみです。それ以外のサイズの用紙をセットする場合は、操作パネルで［MP ヨウシサイズ］を設定してください。

☞ 本書 216 ページ「MP ヨウシサイズ」

USB 接続時のトラブル

インストールできない（Windows）

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP プレインストールマシンまたは Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

Windows 95 から Windows 98/Me/2000 へアップグレードしたコンピュータや USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

☞ スタートアップガイド 20 ページ「OS およびコンピュータの条件」

印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

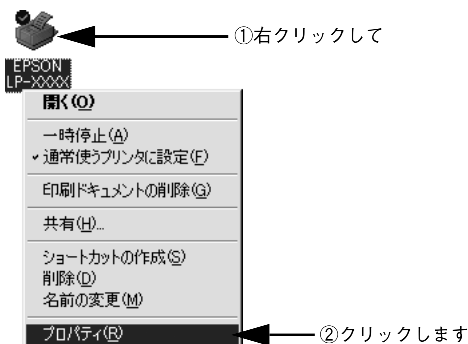
- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

  ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
  ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
  ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
  ③［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-7900/LP-9100 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。



3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷先のポート］/［印刷するポート］を確認します。

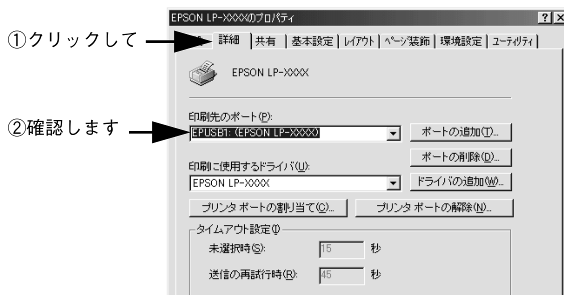
- **Windows 98/Me の場合**

① ［詳細］タブをクリックします。
② ［印刷先のポート］で［EPUSBx: (EPSON LP-7900/LP-9100)］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

- **Windows 2000/XP の場合**

① ［ポート］タブをクリックします。
② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

＜例＞ Windows 98 の場合




ポイント

- パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。
- Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは、USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。
本書 136 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

使用するプリンタ名が印刷先のポートに表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

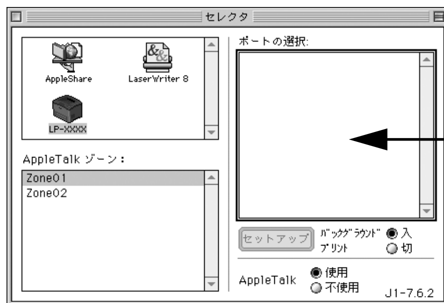
プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Windows の場合

正しく表示されていない



Macintosh の場合



ポート名が表示されていない

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、1 段目の接続を推奨します。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

Windows が USB ハブを正しく認識していますか？

Windows の [デバイスマネージャ] の＜ユニバーサルシリアルバス＞の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。


ポイント

- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

印刷に時間がかかる

TrueType フォントを使用して印刷していませんか？

TrueType フォントはグラフィックとして処理されますので、印刷が遅くなる場合があります。TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷してください。

Windows：本書 80 ページ「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

Macintosh：本書 153 ページ「画面の表示フォントをプリンタフォントに置き換えるには」

Macintosh をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Macintosh をお使いの場合、[バックグラウンドプリント]を[入]にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、[バックグラウンドプリント]を[入]にしておくと印刷に時間がかかることがあります。[バックグラウンドプリント]を[切]に設定して印刷してください。

本書 198 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない

アプリケーションソフトの部単位印刷を指定していませんか？

アプリケーションソフトで部単位印刷の指定を行わないで、プリンタドライバで部単位印刷を指定してください。

Windows：本書 47 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Windows：本書 54 ページ「[レイアウト] ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「[プリント] ダイアログ」
Macintosh：本書 168 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

プログラムリスト / ハードコピーがとれない

エプソン PC シリーズ、NECPC-9800 シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

- エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
- NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

液晶ディスプレイの表示が見にくい

液晶ディスプレイのコントラストを調整しましたか？

操作パネルの設定モードで、液晶ディスプレイのコントラストを調整してください。

本書 224 ページ「LCD コントラスト」

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

ステータスシートを印刷します。
パネル設定の［テストインサツメニュー］から［ステータスシート］を選択して実行します。

印刷できる　　印刷できない

プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？（DOS を除く） プリンタ本体に問題はありません。		**保守契約をされていますか？** プリンタ本体のトラブルです。	
できる	できない	している	していない
			
エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。	• ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。 • ネットワーク接続している場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。	保守契約店にご相談ください。	以下のページをご覧ください。 本書 366 ページ「保守サービスのご案内」 ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。



お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 *1 してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。*2

*2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。お問い合わせはスタートアップガイド巻末の一覧をご覧ください。

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。


ポイント

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソン販売（株）のホームページにてご確認ください。ホームページの詳細については、スタートアップガイドの巻末にてご案内しております。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮*1 ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍*2してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。



ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows：本書 136 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

Macintosh：本書 202 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。



画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがございます。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造停止後6年間です。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
  （スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください）
  受付日時：月曜日〜金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間：9:00 〜 17:30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、以下の保守サービスを用意しております。使用頻度や使用目的に合せてお選びください。詳細については、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金と支払方法</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代･部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代･部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
* 消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>LP-7900：
有償
（出張料のみ）
LP-9100：
無償</td><td>出張料+技術料+部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>• 故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料+技術料+部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドアto ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア toドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドアto ドアサービス料金 + 修理代）</td></tr>
</table>

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査+乾式一成分電子写真方式
解像度	300dpi/600dpi dpi：25.4mm（1 インチ）あたりのドット数 （Dots Per Inch）
プリント速度	片面印刷時　：LP-7900　25.4PPM（A4） LP-9100　30.6PPM（A4） 両面印刷時　：LP-7900　17.4PPM（A4） LP-9100　18.5PPM（A4） PPM ＝枚 / 分（Pages Per Minute）
ウォームアップ時間	電源投入時　：14 秒以下（室温 22 度、湿度 55%、定格電圧にて） 低電力モードからの復帰時　：10 秒以下（室温 22 度、湿度 55%、定格電圧にて）
ファーストプリント	MP カセット　：8.2 秒（A4） 用紙カセット　：8.6 秒（A4）
稼働音（本体のみ）	待機時　：約 33.0dB（A） 稼働時　：約 53.0dB（A）

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990 準拠
書体	欧文 ローマン、サンセリフ Windows 対応TrueType 互換 14 書体 • DutchTM 801 （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • SwissTM 721 （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Courier （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Symbol • WingBats 和文 • 明朝、ゴシック

用紙仕様

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

用紙種類	普通紙 • 60 ～ 90g/㎡ • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、ボンド紙、色つき、レターヘッド 特殊紙 • ラベル紙、官製ハガキ（往復ハガキ、四面連刷ハガキ）、封筒、OHP シート、厚紙（91～216g/m^2）、不定形紙、長尺紙（オプションの手差しトレイが必要）
排紙容量	フェイスダウントレイ　：最大 250 枚（普通紙 64g/m^2）

給紙装置と用紙（種類、容量、サイズ）

給紙装置		用紙種類	容量 *1	用紙サイズ （　）内は、プリンタドライバでの表記です。
標準	MP カセット	普通紙	200枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4、不定形紙 *4
		厚紙	17.5mm*3	
		ラベル紙	75 枚	A4、Letter（LT）
		OHP シート	100 枚	
		封筒 *5	10 枚 *6	洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号
		官製ハガキ	60 枚 *7	100 × 148mm
		官製往復ハガキ		148 × 200mm
		官製四面連刷ハガキ		200 × 296mm
	用紙カセット （用紙カセット 1*8）	普通紙	250枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
オプション	手差しトレイ *9（LPA3TT1）	普通紙、特殊紙 *10	1 枚	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4、官製往復 / 官製四面連刷ハガキ、封筒（長形 3 号、角形 2 号）、不定形紙 *4
		長尺紙	1 枚	最大 297mm（用紙幅）× 900mm（用紙長）
	用紙カセット *11（LPA3YC1）	普通紙	250枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
	250 枚ユニバーサルカセットユニット（LPA3UC1）			
	550 枚ユニバーサルカセットユニット（LPA3UC2）	普通紙	550枚*2	

*1 MP カセットや用紙カセット（標準およびオプション）にセットできる用紙の高さは、用紙ガイドの最大枚数（矢印表示）までです。矢印表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。
*2 紙厚 64g/m^2 の場合です。
*3 厚紙（91 ～ 216g/m^2）のセットできる高さを示します。セットできる枚数は、紙厚によって異なります。
*4 用紙長が 431.8 ～ 508mm の不定形紙は、MP カセットのカバーを外してセットしてください。または、オプションの手差しトレイにセットしてください（最大用紙幅 297mm）。
*5 定形サイズ以外の封筒を使用する場合は、使用する封筒のサイズをプリンタドライバのユーザー定義サイズで設定して使用してください。
*6 開封直後の未使用状態で封筒にふくらみがない場合です。
*7 190g/m^2 の場合です。
*8 プリンタドライバでは、標準の用紙カセットを「用紙カセット 1」と表示します。また 2 段まで増設できるオプションの用紙カセットは、上から「用紙カセット 2」、「用紙カセット 3」と表示します。
*9 標準の MP カセットと取り替えて使用します（同時使用はできません）。なお、取り替えた場合は、プリンタの電源をオフ・オンする必要があります。
*10 官製ハガキ、封筒（洋形 0/4 号）は除きます。
*11 標準の用紙カセットまたはオプションの 250 枚ユニバーサルカセットユニットの用紙カセットと同じです。

用紙サイズと給紙方法 / 両面印刷の可否

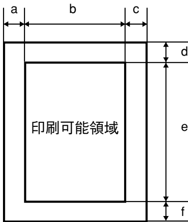
○：使用可能　×：使用不可能

用紙サイズ		MP カセット	用紙カセット *1	手差しユニット *2	用紙セット方向 *3	両面印刷の可否 *4
A3	297 × 420mm	○	○	○	縦長	○
A4	210 × 297mm	○	○	○	横長	○
A5	148 × 210mm	○	○	○	横長	○
B4	257 × 364mm	○	○	○	縦長	○
B5	182 × 257mm	○	○	○	横長	○
Letter（LT）	215.9 × 279.4mm（8.5 × 11 インチ）	○	○	○	横長	○
Half-Letter（HLT）	139.7 × 215.9mm（5.5 × 8.5インチ）	○	×	×	横長	○
Legal（LGL）	215.9 × 355.6mm（8.5 × 14 インチ）	○	○	○	縦長	○
Executive（EXE）	184.15 × 266.7mm（7.25 × 10.5インチ）	○	×	○	横長	○
Government Legal（GLG）	215.9 × 330.2mm（8.5 × 13 インチ）	○	×	○	縦長	○
Government Letter（GLT）	203.2 × 266.7mm（8 × 10.5 インチ）	○	×	○	横長	×
Ledger（B）	279.4 × 432mm（11 × 17インチ）	○	×	○	縦長	○
F4	210 × 330mm	○	×	○	縦長	×
不定形紙	用紙幅 87 ～ 304.8mm 用紙長 100 ～ 508mm	○ *5	×	○ *5	縦長 / 横長 *6	×
長尺紙	用紙幅 100 ～ 297mm 用紙長 148 ～ 900mm	×	×	○ *5	縦長	×
官製ハガキ	100 × 148mm	○	×	×	横長	×
官製往復ハガキ	148 × 200mm	○	×	○	横長	×
官製四面連刷ハガキ	296 × 200mm	○	×	○	横長	×
封筒 洋形０号	120 × 235mm	○	×	×	横長	×
封筒 洋形４号	105 × 235mm	○	×	×	横長	×
封筒 長形３号	235 × 120mm	○	×	○	縦長	×
封筒 角形２号	332 × 240mm	○	×	○	縦長	×

*1 標準の用紙カセット、オプションの 250 枚ユニバーサルカセットユニット（型番：LPA3UC1）/550 枚ユニバーサルカセットユニット（型番：LPA3UC2）の用紙カセット、およびオプションの用紙カセット（型番：LPA3YC1）です。
*2 オプションの手差しトレイ（型番：LPA3TT1）です（標準の MP カセットと取り替えて装着します）。
*3 用紙の給紙方向に対して、縦長・横長どちらの向きに用紙をセットするかを示します。
*4 オプションの両面印刷ユニット（型番：LPDSP4）です。
*5 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。用紙長が 431.8 ～ 508mm の不定形紙は、MP カセットのカバーを外してセットしてください。または、オプションの手差しトレイにセットしてください（用紙幅 100 ～ 297mm ×用紙長 148 ～ 900mm）。
*6 不定形紙の場合、用紙サイズによって用紙セット方向は異なります。
本書 39 ページ「不定形紙への印刷」

印刷可能領域

用紙の各端面から 5mm
を除く領域に印刷可能



定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名 称		a	b	c	d	e	f
A3		120	6776	120	120	9680	120
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B4		120	5832	120	120	8360	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half-Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）		120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
Ledger（B）		120	6360	120	120	9960	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
官製往復ハガキ		120	3256	120	120	4484	120
官製四面連刷ハガキ		120	4484	120	120	6752	120
封筒	洋形 0 号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形 4 号	120	2240	120	120	5310	120
	長形 3 号	120	2594	120	120	5310	120
	角形 2 号	120	5430	120	120	7602	120

不定形紙 / 長尺紙（単位：mm）

最小用紙幅	最大用紙幅	最小用紙長	最大用紙長
87.0	304.8	100.0	900.0*1

*1 用紙長が 508mm を超える場合は、300dpi でのみ印刷可能です。


ポイント

アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	11A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz（国内向）	
消費電力	最大	：920W
	印刷時平均	：LP-7900　578Wh LP-9100　600Wh
	待機時平均	：LP-7900　119Wh（ヒータオン時） LP-9100　112Wh（ヒータオン時）
	低電力モード時	：LP-7900　5Wh（ヒータオフ時） LP-9100　6Wh（ヒータオフ時）
	電源オフ時	：0Wh

環境使用条件

動作時	温度	：5 ～ 35 度
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：76.0 ～ 101.0kpa（3500m 以下）
	水平度	：傾き 5 度以下
	照度	：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	：上方 400mm、左側方 200mm、右側方 100mm、 前方 760mm、後方 300mm（表記寸法以上を保つこと）
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35 度
	湿度	：15 ～ 80%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

RAM	標準	：LP-7900　8MB LP-9100　16MB
	オプション増設時（1 ソケット）	：LP-7900　最大 136MB LP-9100　最大 144MB
インターフェイス	標準	：パラレル IEEE1284 準拠双方向（ECP モード、ニブルモード）、 USB 1.1
	オプション	：Type B I/F（1 スロット）
内蔵モード	標準	：ESC/Page モード（双方向機能） ESC/P モード（VP-1000 エミュレーション） ESC/PS モード（PC-PR201H エミュレーションと ESC/P を自動判別）
	その他	：EJL モード（双方向機能）

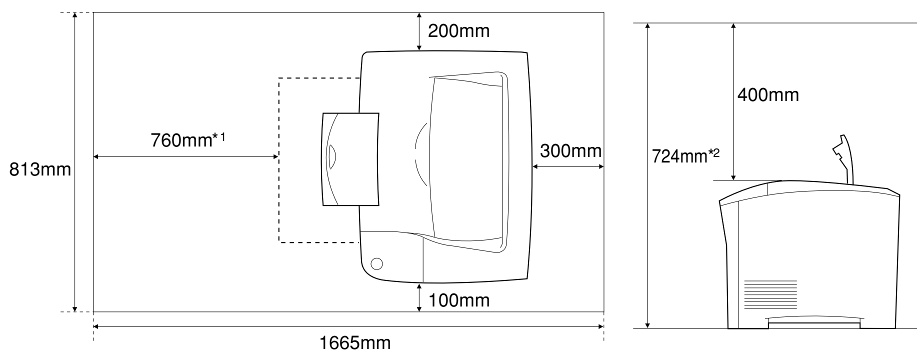
外観仕様（小数点以下四捨五入）

	品名	幅	奥行き	高さ	重量
標準	プリンタ本体のみ	513mm	395mm*1 605mm*2	324mm	19.5kg*3
オプション	両面印刷ユニット	435mm	68.5mm	203.5mm	1.7kg
	250 枚ユニバーサルカセットユニット	505mm	373mm	112mm	5.5kg
	550 枚ユニバーサルカセットユニット	505mm	373mm	143mm	6.0kg
	手差しトレイ	470mm	365mm	50mm	1.3kg

*1 MP カセット、用紙カセットとも最小縮小時
*2 MP カセットもしくは用紙カセットが最大伸長時時
*3 消耗品、オプション類は含まない

設置スペース（小数点以下四捨五入）

下図のスペースを確保してください。



*1 用紙カセットを最大延長して装着した状態での必要スペース

*2 オプションのユニバーサルカセットユニット未装着での必要スペース

索引

数字

A

C

D

E

F

G

I

J

L

M

く

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

の

は

ほ

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

わ

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0054_00	全て	新規制定	